建築と社會

昭和二十四年三月十九日第三種郵便物認可　昭和三十一年八月二十日印刷　昭和三十一年八月二十五日発行　第三十七巻第八号（毎月一回二十五日発行）

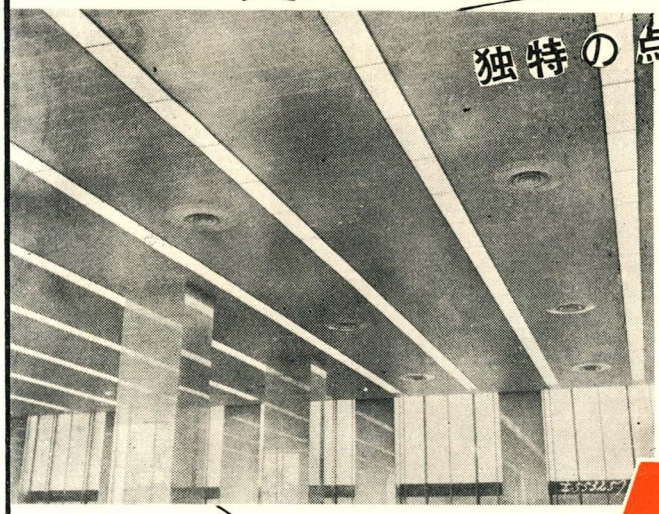
日本建築協会　1956

8

電化で築く家庭の幸福

最も新しい

独特の点灯方式！



日立スーパラピッド螢光灯は……

○ガラス管内面に特殊透明導電膜処理を施してありますので、湿度の影響を受けることなく、且つ導電板の必要もなく確実に点灯いたします。

○陰極は四重コイルフィラメントを有しており強靱で、十分な量の電子放射物質を備えておりますので、損耗し難く長寿命です。

○一般グローランプ式回路にも使用出来ます。

スーパーラピット **日立螢光灯**

日立家庭電器販賣株式會社　日立製作所

TRADE MARK



DOG

地下鉄道、高架鉄道の如き激しい震動箇所でも弊社製品は完璧の防水効果を発揮して居ります

型録・見本・仕様書
御報呈上

メンブレン式防水

の補強材料は30年の経厂を誇る

ドッグ印で!!

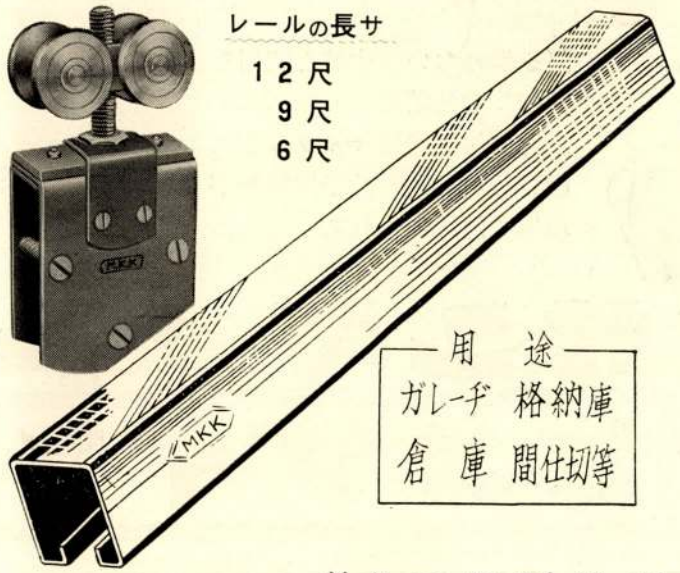
ドツグ印	アスファルトルーフィング
〃	アスファルトフエルト
〃	砂付ルーフィング
〃	メルタイトルーフィング
〃	キンマレアタィト（高級瀝青金麻布）
〃	ヘツシヤンファブリツク（瀝青黄麻布）
〃	コツトンファブリツク（瀝青綿布）
〃	白麻ファブリツク（瀝青苧麻布）
〃	ゲオンタイト（伸縮目地板）

日本工業規格表示許可工場

株式会社 **工英社**

大阪市西成区橘通9丁目24番地　電話天下茶屋㊽8861・8862番

設計の時からドアーハンガーは M.K.K



レールの長サ
12尺
9尺
6尺

用途
ガレーヂ 格納庫
倉庫 間仕切等

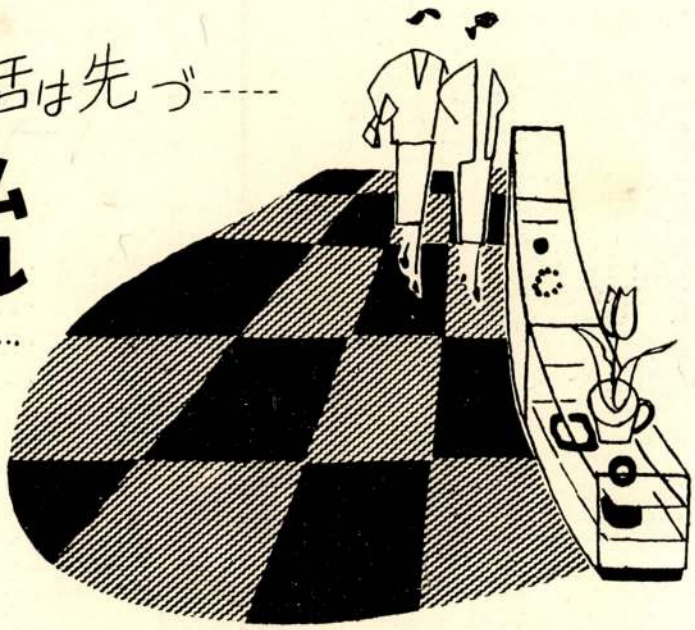
★御用命は下記代理店へ
お願いします

株式会社 石倉商店
小野藤金物株式会社
合資会社 和田末商店
月虎金属株式会社
株式会社中村多喜弥商店
松本金物株式会社
株式会社 丸喜商店
深見金物株式会社
湯浅金物株式会社
清水金物株式会社
株式会社 日垣本社
株式会社 平尾商店

東京 株式會社 三谷製作所

文化的な生活は先づ……

リノリューム
リノタイル
の使用から……



東洋リノリューム株式會社

本社工場 伊丹市伊丹五五八電伊丹(代)3531
東京支店 中央区銀座西・三和ビル 電京橋1701
大阪事務所 東区瓦町二・三和ビル 電北浜375・376



テックスを貼るには……

釘を使わない　化粧と実用を兼ねた
特殊強力接着剤
木枠は勿論直接モルタル面に
吸音板 岩綿板 硝子繊維板が
現場で簡単に貼れる

カタログ進呈

サンライト
セメダイン

セメダイン株式会社大阪支店　南区大宝寺町東之丁41　TEL ㉗ 3456～9

Yodowal

琺瑯化粧板



平板・事務所外装に使用例

ヨドウオル

波・平・厚・黒板

特徴
- 軽くて美しい
- 耐火・耐水で永久仕上
- 汚れはすぐ取れ衛生的
- 施工迅速で経済的

用途
- 平板は建築物の外装・間仕切・天井壁庇下及家具・船舶・車輛に
- 波板は工場・倉庫・プラットホーム等の屋根・壁に
- 厚板はサンドイッチパネル等としてビル等の外装仕上材に
- 黒板は学校・事務所・官公庁・家庭用に

（カタログ御希望の方は誌名御記入の上御申込下さい）

株式會社 淀川製鋼所

本　社　大阪市東区博労町4の30　電話㊿0351
東京支社　東京都中央区西八丁堀3の8　電話㊿1171

8月　会と催

アサヒビール吹田工場見学会
11日（土）午後2時

講演会
15日（水）午後3時

アサヒビール吹田工場見学会

とき　8月11日（土）午後2時～4時

集合所　大阪駅西口広場午後2時集合（時間厳守）
（大阪駅西口（往復）アサヒビール吹田工場貸切バス利用）

申込　会費（50円・バス代）を添えてお申込み下さい，但し定員（100名）に達した時は期日前でも〆切ります。

夏の見学と懇親の会の懇親会のみ中止について

（アサヒビール吹田工場見学会のみ開催）

標記見学と懇親の会は発表（7月号建築と社会及会と催ハガキ）以来諸般の準備を進めておりましたが，その後工場と打合せ致しました処，最近は工場の操業終了時間が早いために見学の時間を早める必要のあることが判りました。見学時間を繰り上げますと次の懇親会との間に相当の余裕時間が生じて見学者には大変迷惑をおかけすることとなり又更に懇親会の時間を繰り上げますと懇親会が暑気まだ去らない夕刻に終了となる怖もありますので一応他所に応親会場を移すことを考えて会場を求めましたが適当な場所が見当りません。それで已むを得ず本年の夏期懇親会はこれを取り止めてビール工場の見学会だけを行うことに決定致しました。

つきましては期日もありませんので見学会参加御希望の方は折返しお申込み下さい。

メキシコとアメリカの建築講演会

とき　8月15日（水）午後3時～6時

ところ　今橋クラブ（東区今橋1―15日経ビル5階）

申込　会場の都合がありますので前以て電話で御申込み下さい。

題目及講師　（順不同）

メキシコ建築を見る（天然色映画・スライド併用）
村野森建築事務所　森　忠一氏

アメリカ建築瞥見（天然色スライド併用）
株式会社竹中工務店工事長　中出定夫氏

アメリカ雑感
浅海電気株式会社社長　浅海正雄氏

アメリカの電気工事の現況
近畿電気工事株式会社常務取締役　今元康彦氏

標記講演会は7月開催のところ都合により期日変更上記により開催いたします。何卒多数御出席下さるよう御案内申上げます。

防水剤ウォータイトB号　優良証明発行

昭和31年5月18日附証明期間延長申越に接した上記製品につき審査の結果下記特徴を再確認し6月20日附を以つて向う一ケ年間優良証明を発行した。

記

品　　名　　ウォータイトB号　防水剤
製造会社名　　KK日本セメント防水剤製造所
特　　徴

1. 吸水度は大凡そ混入せざるものの三分ノ一程度。
2. 耐圧強度への影響は殆んど認めぬ。
3. 浸透水を遮断する事は相当高いものと認める。

昭和31年6月20日

社団法人　日本建築協会々長　竹　腰　健　造
建材審査委員会委員長　置　塩　　章

追而本品は既に数年前本審査委員会分科会にて長期に亘りテストした結果詳細なデーターを得て優良と認めたものである。

サーモペーン複層硝子　優良証明発行

上記資材は昭和31年5月7日附を以て建材審査の申込みを受けたので爾来本委員会分科会にて調査検討中の所本年7月13日審査委員会で審査の結果下記特徴に依り優良証明を発行した。

品　　名　　サーモペーン　複層硝子
製造会社名　　日本板硝子株式会社
特　　徴

1. 硝子の間に乾燥空気が完全に密封されている。
2. 硝子面に曇りが生じない。
3. 硝子面に露が流れないのでサツシユが腐蝕しない。
4. 密封されている内面は汚れない。

昭和31年7月13日

社団法人　日本建築協会々長　竹　腰　健　造
建材審査委員会委員長　置　塩　　章

建　材　審　査　概　評

本品は米国で大戦後使われているサーモペーンという板ガラスの間に乾燥空気を封じこんだものの日本版である。保温や遮音のために二重ガラス窓を使うと、ガラスとガラスの間の面が結露してみつともないだけでなくサツシユが腐朽し易くて困るものであるが、この製品を使えばそういうことがない。空気を封じこむための周囲の密封材は腐蝕し難い金属で延性展性もあるのでガラスの歪みにもかなり耐えるし、製品は一個一個低温による結露試験をして出荷しているので充分信用のおけるもののようである。当然乍らガラスの大きさは注文によつて作るもので、あとから切つたり、削つたり、は出来ない。今の所値段の相当高いのが欠点であるが、ガラスとガラスの間の面は汚れないから清掃の手間は減る筈である。　（W委員記）

郵便はがき

郵便料金
受取人払
大阪中央局
承認第175号

（受取人）

大阪中央局区内
北区中ノ島三丁目三　朝日ビル内

社団法人 **日本建築協会**

行

註文書

註文書籍名　(不用のものは消して下さい)	一般売価	会員売価	一冊当り送料	要求冊数
左官工法指針　(新刊)	120円	110円		
建物及び設備の保全 (改訂再版)	110円	100円		
漏電とビルのダクト火災とその対策	50円	50円		
大阪附近地質図表	1200円	1000円	50円	

上記の書籍を要求冊数記入通り註文致します。

昭和　　年　　月　　日

送り先住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

払込金額￥＿＿＿＿＿＿　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. 直ちに送金します。　2. 後で送金します。　3. 後で集金にこられたい。　(○で囲むこと)

会　　告

梅田阪神ビル井筒基礎工事
見　　学　　会
13日（月）午後3時

梅田阪神ビル増改築工事の井筒基礎工事見学

と　き　8月13日（月）午後3時－5時

集合所　大林組阪神ビル工事事務所前（但し阪神ビル南側）

申　込　開催日切迫の為**電話により**お申込み下さい。尚予定人員（100名）に達した時は〆切ります。

概　記　場　所　大阪市北区梅田町一番地

井　筒　鉄筋コンクリート造　外径3m－4m

深24m－25m　33ケ所

標記見学会は株式会社大林組殿の御斡旋により開催するものであります。基礎工事の見学会は久々のものでありますから，会員各位の得るところ大であろうこと存じます。何卒早く御申込み下さい。

新刊案内
パンフレット発行

実際すぐ役立つ

左官工法指針

附JIS建築材料規格集（日本建築学会発行）抜萃

A5版140頁　定価 120円　但会員 110円

左官工事は建物最後の仕上げで建築に携る者としては重要部門の一つであるが，これに関する図書は比較的少いようであり，有つても専門にわたり相当部厚なものである。今般本会においては，現場経験者や左官業者ならびに関係材料業者などよりの貴重な資料や日常実際体験されている事項をパンフレットに集約し日本壁と洋壁についての虎の巻ともいうべき**建築家必携書**を世におくることとした。関係者にとつては手軽で大変便利なものと信じ是非一本を備えられることをお奨めする。

建物及び設備の保全

（パンフレット）　改訂再版出来

A5版　約60頁　定価 110円　但会員 100円

1954年度発行の初版は非常な好評を得て旧冬品切れとなつた。その後各方面より再版を要望されていたので本委員会において今春来補筆整備して本月改訂版を発行したところ，ビルディング協会を始め，事務所，銀行並に諸会社営繕方面よりつぎつぎと申込を受けている。建築関係はもとより一般家庭にもよろこばれるものと信じ，各方面の方々に御奨めする。

災害委員会編集パンフレット

「漏電とビルのダクト火災とその対策」

定価 50円　郵料 8円

我国で火災による損害が年々莫大な額に上り，その原因の中には電気関係によるものが少くないことは，周知の事実でありまた最近不燃建築のコンクリート造ビル内で，ダクトに関する火災の実例が二三あつて，建築家は盲点を衝かれた思で驚いたものである。本会災害委員会では，かねて以上の問題について検討を重ねて結論を得たので，出版委員会に於てこれをパンフレットとして刊行し，関係者各位の御参考に資することとした。建築家，設備業者の専門家ばかりでなく，ビルの管理者やその他一般の人々にも大変資する処多いと考えられるので，汎く一読されることを期待しお薦めする。

社団法人　日本建築協会出版委員会

暑中御見舞申上げます　昭和31年盛夏　(50音順)

青木友一
大阪市天王寺区大道3丁目　東洋洋瓦株式会社

浅海治平
宝塚市切畑字長尾山2の161

浅海正雄
宝塚市切畑字長尾山2の161

浅田繁男
所員一同
株式会社 松田平田設計事務所 大阪出張所

麻村徳一
麻村サッシュ工業株式会社
大阪市城東区野江東之町1—12

安達二三男
大阪市東区横堀4—43　株式会社 岡本工務店

井上民治
大阪市西区京町堀上通2—4　井上工材株式会社

今村騰
大阪市北区曽根崎上1丁目41　中央電気工業株式会社

五十嵐芳雄
芦屋市打出翠ケ丘148

石田憲二
大阪市北区中之島4—39　株式会社朝日工業社

池上勝郎
大阪市北区堂島浜通1—66　池上建築設計事務所

諫早信夫
日本住宅公団大阪支所次長
大阪市東区備後町4丁目15

石浜秀雄
中之島製鋼株式会社 社長

糸井直太郎
株式会社内外土木建材社
大阪市西区土佐堀船町23(大阪商工ビル)

稲垣皎三
宝塚市大字切畑字長尾山1—62

岩崎甚太郎
兵庫県川西市栄根字豆板1—11

岩元熊雄
大阪市東成区東今里町4—40　岩元工業株式会社

浦辺鎭太郎
倉敷レイヨン株式会社

尾崎久助
京都市左京区下鴨梅ノ木町38

大林芳郎
神戸市灘区御影町御影字上ノ山1682

暑中御見舞申上げます　昭和31年盛夏　(50音順)

中野順次郎
豊中市岡町南7—10

宮飼克二
明石市人丸町亀ノ水

西沢藤生
芦屋市宮塚町35

向井保晴
兵庫県伊丹市伊丹558 東洋リノリューム株式会社

西脇秀太郎
昭和31年7月転居
大阪市阿倍野区松崎町3—85　三井倉庫寮内

村石秋吉
大阪市浪速区幸町通リ3—20　浪速合板株式会社

神田正平
株式会社 日本シャッター製作所
大阪市東淀川区三津屋南通3—7 電話㊲439

八木繁志
大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目25 株式会社八木工務店
電話 ㊼ 1626・5772・9256
大阪市阿倍野区阿倍野筋2丁目7　㊼8990

福田好雄
堺市松屋196　大阪建材工業株式会社取締役社長

山口吾郎
大阪市西区江戸堀南4　不二建設株式会社

藤木正一
大阪市東区両替町　株式会社藤木工務店社長

山本武雄
大阪市西区西長堀南通リ1—10　株式会社山本建材社

藤本庄之助
大阪市城東区西鴫野町6—43　株式会社工盛社

横田喜一郎
大阪市西成区橘通9—24　株式会社 工英社

船津稔
大阪市阿倍野区北畠1—32　三舟窯業大阪営業所

吉田信武
財団法人 兵庫県住宅協会

宝来佐市郎
大阪市東区京橋3—75　株式会社 大林組

若田久作
大阪市東区京橋3—75　株式会社 大林組

松井邦彦
耐酸化学工業株式会社取締役社長
大阪市北区高垣町80

鷲尾健三
大阪大学工学部 構築工学教室

暑中御見舞申上げます　昭和31年盛夏　(50音順)

河　合　貞　一　郎
京都市北区小山上内河原町26

河　津　喜　之　助
河津装飾株式会社　取締役社長
大阪市北区堂島上1—24　電話㉞1351～3

金　丸　喜　八　郎
大阪市福島区鷺洲中2丁目32
共栄アパート内2—3
上記の通り住所変更致しましたから御承知願います

辛　木　貞　夫
東海興業株式会社大阪支店
大阪市北区梅田町27(産業会館ビル8階)

小　西　岬
田中・小西建築事務所　電話㉑5740番
大阪市西区京町堀通3丁目30

小　早　川　美　武
大阪市東区南久宝寺町4丁目　亀井株式会社
電話代表　㉕1353

小　林　清
大阪市北区堂島上2—11　株式会社新住宅社

鴻　池　藤　一
大阪市住吉区浜口町402—21

駒　敬　三
駒一級建築士事務所　電話㉗4419
大阪市天王寺区椎寺町46

佐　藤　太
近畿電気工事株式会社社長
大阪府豊能郡箕面町桜ケ丘341

志　垣　正　次
大阪市北区堂島浜通1　株式会社　明正社

鈴　木　末　尾
尼崎市生津武庫之荘2—57

鈴　木　清　市
株式会社ケントク
大阪市北区桜橋産経ビル前　㉞1536・3507

田島応用化工株式会社大阪出張所
主任　**笠原梯治郎**
営業1係　富永次男・佐伯久勝
同　2係　小山年光・松本太平・山崎晃一・平松利一
会　計　浅村正男

田　村　史　郎
三和プラスチック工芸株式会社
大阪市都島区東野田8—61

田　辺　信
大阪市阿倍野区昭和町中5—3

竹　越　健　造
西宮市松園町133

津　村　芳　一
オリエンタルメタル製造株式会社
尼崎市長洲字稲川新田44　電話㊽4947～4949

東　畑　謙　三
大阪市東区今橋4　株式会社東畑建築事務所

友　田　俊　夫
友田工業株式会社　代表取締役
大阪市都島区都島中通6丁目41

建築と社會

8

小住宅・小店舗号

1956年8月号目次

作品

鉄筋住宅・楽しい生活と住宅博・入選作・
F4グループ……18

鉄筋住宅・楽しい生活と住宅博・入選作・
北原武文……20

鉄筋住宅・楽しい生活と住宅博・入選作・
池田忠彦……21

鉄筋住宅・楽しい生活と住宅博・出品作・
山口文象……22

建築の眼……17

本文……24

関西の住宅について--上野伊三郎氏と語る……24

座談会——小住宅……27

ローコスト住宅　日本建築協会住宅委員会……30

関西の住宅に……清家清……35

技術講座

住宅の通風と換気……石原正雄……37

スケッチブック　大阪府立図書館新館……45

店舗と建築——日本建築協会編集委員会……47

会合便り……55

訂正　6月号記載の「水族館計画に関する資料」（加藤大雄）のうち，30頁の表の魚槽数，海水「51」は「38」が正，調和水槽「11」は「12」が正。33頁C水槽はC置水槽が正です。筆者のお申入れがありましたので，つつしんでお訂正いたします。

建築と社会
第37集・第8号
定価1部100円・送料共
昭和31年8月20日印刷
昭和31年8月25日発行
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市北区中ノ島3—3朝日ビル
電話北浜㉓1334～9番
振替口座大阪39975番
編集発行人　沖田誠一
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話㊱2091～3番
印刷者　網野栄

◉新発売

タフライト※ドアー

Tong Mark（吊り跡）がフレームの下にかくされている無疵の強化ガラスドアーができました。



※商標登録出願中

日本板硝子株式会社

本　店　大阪市東区北浜五丁目（住友ビル）
支　店　東京・大阪・小倉・名古屋・小樽
工　場　若松・四日市・舞鶴　研究所　尼崎



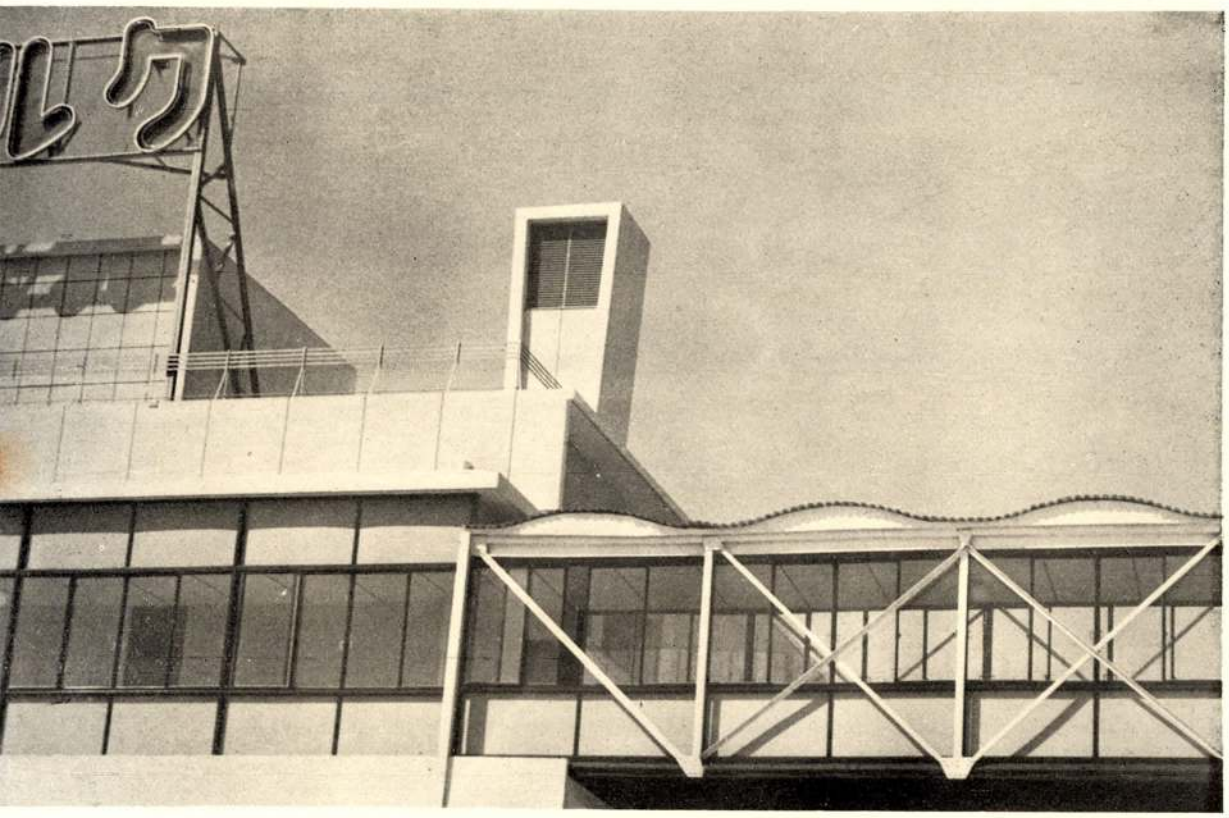
北海道バター株式会社大阪市乳工場　　設計　山下寿郎設計事務所　　施工　東海興業株式会社大阪支店

東海興業株式會社

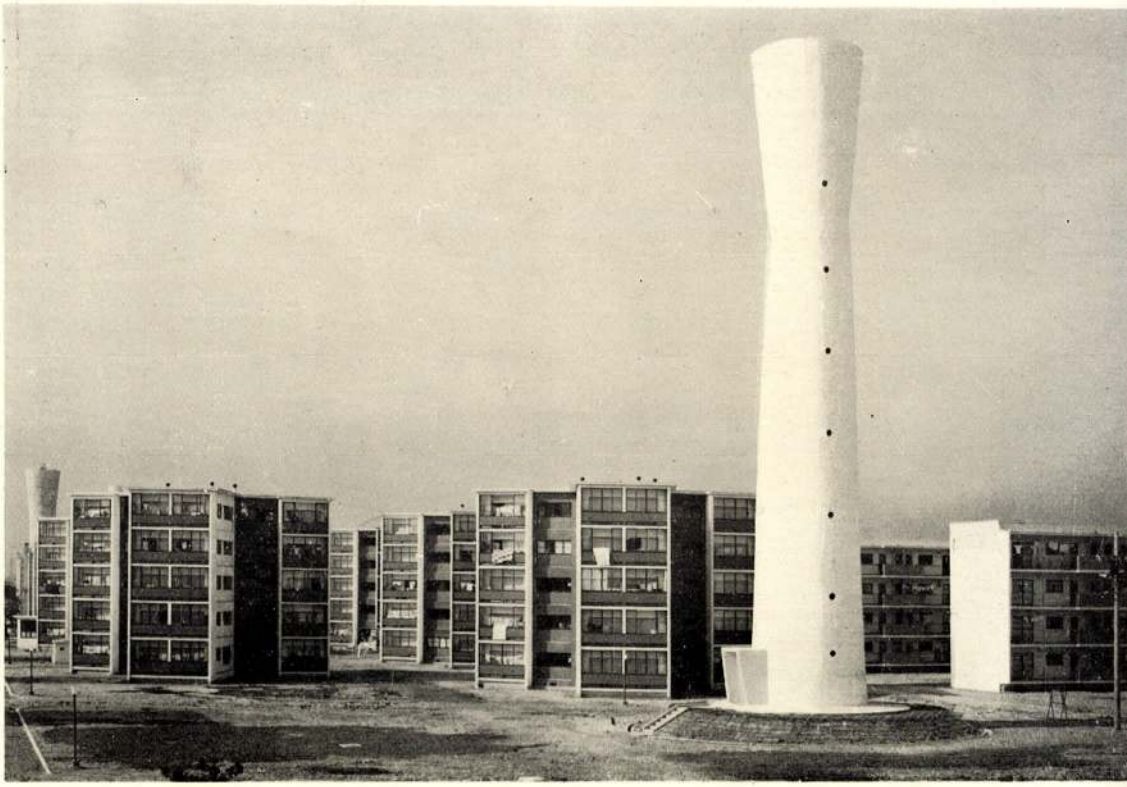


南　　面

北海道バター株式会社大阪市乳工場・施工　東海興業株式会社大阪支店



渡廊下と排気塔



日本住宅公団アパート金岡団地

外壁・廂にウオータイトB号使用

高架水槽の上部及び地下水槽部は

ウオータイト式防水工事施工

株式会社　日本セメント防水剤製造所



武田薬品工業株式会社夙川寮

位　置	西宮市神垣町27		
敷　地	1,000坪	建築面積	236.6坪
軒　高	46尺	延面積	642.6坪
構　造	鉄筋コンクリート4階建		

設計監理　双星社 竹腰建築事務所

施　工　株式会社 銭　高　組



広　間

電　気　設　備

浅海電気株式会社

（家　具）

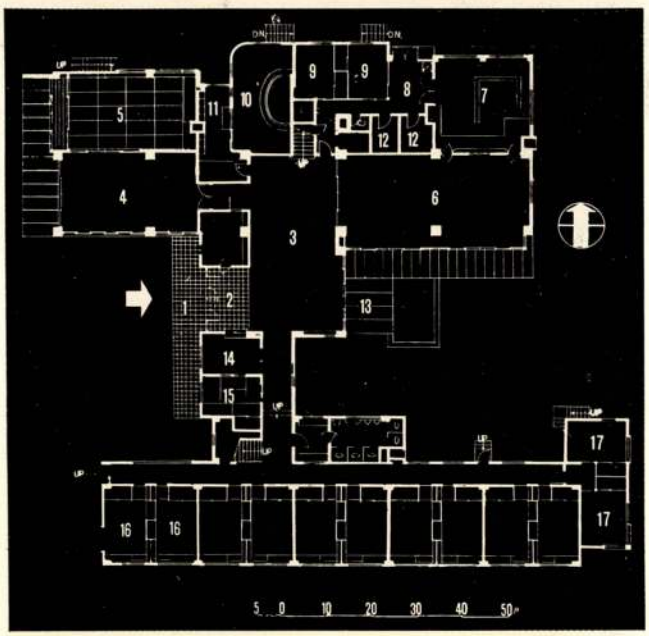
稲田株式会社

（サツシユ）

大阪建材工業株式会社

（床　）

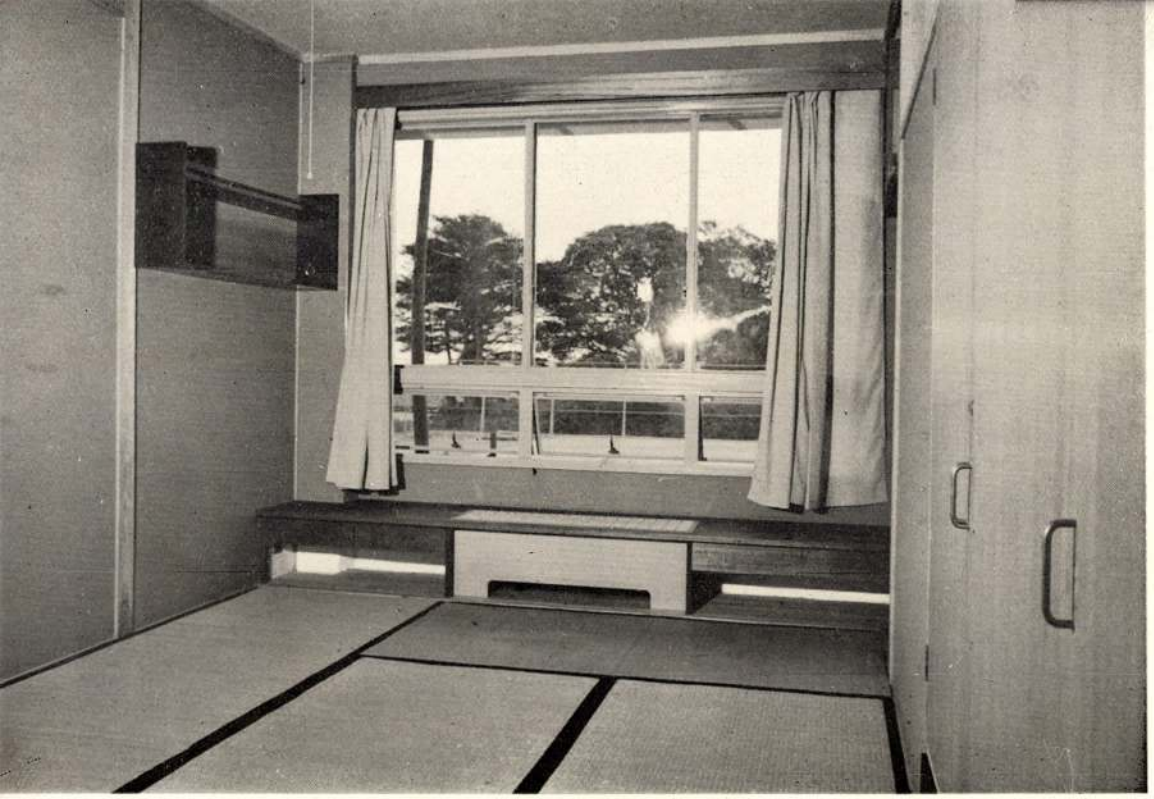
田島応用化工株式会社





平　面　図　説　明

1. ポーチ	10. 浴　室
2. 玄　関	11. 脱衣室
3. 広　間	12. 倉　庫
4. 談話室	13. テラス
5. 集会室	14. 事務室
6. 食　堂	15. 管理人室
7. 厨　房	16. 寮　室
8. 勝手口	17. 休養室
9. 女中室	



寮　室

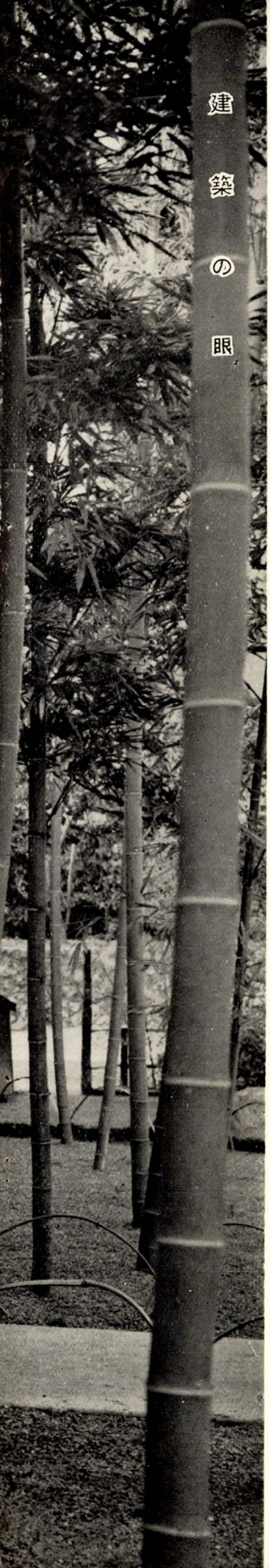
衛生設備：株式会社栄興商会　　塗装：竹林塗装株式会社　　造園：阪急園芸株式会社



テラス



正　門



クイズとデザイン

クイズばやりである。いつまでつづくかは知らないが，宝くじの流行や，パチンコの流行よりは知的でよろしい。それほど高級な頭を使うわけでないから，老幼男女がわいわいがやがやするに適する。ある程度の推理力を丹念に働かせば自力でゴマンという賞金獲得の夢も悪くない。

このクイズの正解なるもの，必ずしも世間一般の解答の最大公約数がどう出ようとにかかわらず，あらかじめ出題者側がこしらえてある正解に，ズバリ一致させなければならぬところがミソである。正解はこうでしたとあとで聞かされて，それよりもオレの回答の方が名文だといつてみたところではじまらない。異議申立てはできない仕組である。試験とか検査とかいうものは，大体において，最後の判定では審査側の一方的主観に押しきられるのが常で，受験者の立場は悲哀極まるものだ。クイズの場合なんかは何万だか何十万だかの応募回答がことごとく出題者の思惑と違つたときは，賞金が次に持ち越されるというチエックバルブがついているだけ救いがあるというものだ。

しかしこの話，建築のデザインのよしあしの判定を受ける場合にあてはめるとただごとでなくなる。一体建築の社会で良否の判定基準というものがあるのかどうか。クイズの正解のように明白にいかないことは確かであるが，世間がどう見ていようと判定者が一方的主観で勝ち負けをきめる権利をもつている点はクイズに酷似している。応募者が自分なりに世界一の名案と確信してぶつかつてゆく点もそつくりだ。

クイズの規定は改善の余地があるが，デザインの判定のルールはだれがどうして改善してくれるだろう。

(SY)

収縮亀裂

コンクリートは硬化時に収縮して必ず亀裂を生ずる。その亀裂の大小はセメントの種類と施工時の注意により異なるがセッテイングによる亀裂以外は未解決のままである。この現況を直視するならば，種々の点において改良しなければならない。第一に弾性理論に基づく強度計算も学界規準以外に，壁の剪断力の分布係数または収縮による応力状態も検討を要し，シヤーレ，床版なども成立しないこととなる故，この事実を取入れて考慮すべきである。また屋根の防水モルタルは屋版と遊離せるごとき詳細を考案しなければならないし，内装外装の塗物も一考を要し，伸縮の非常に大なる物かあるいは塗物を廃すべきである。しかし亀裂の進行は3ケ月が甚しく一年でほぼ完了し，以後十年単位の僅少な物らしいようであるが，亀裂後は温度による伸縮もあつて，その場所により一概にはいえない。以上，硬化時収縮亀裂は厄介なものでコンクリートの最大欠陥であるが，完全なるものができる以前はこれに対処する方法を採られるべきであると思う。

(SD)

夜の郊外電車

ネオンの夜空を後に、涼風にホット生き返つた思いをする。が，これも束の間，電車が暗い水田の面をスピードを誇る頃には，顔の半分が冷たくなり，パーマネントは逆さに吹き上げられる。しかし誰も開け放された窓を調節しようとはしない。日本人はあきらめが良いのだろうか。いや，電車の窓はそんなに簡単には開閉出来ないことを知つているからであろう。荷物を置いて両手で力んでみてもビクともしなかつたりした日には，引込みのつかないような気になつたりもするからであろう。

建築屋さんは思う，片手で容易に調節する窓ぐらい設計出来そうなもんだ。戦後の電車は進歩した。重量は大巾に減じた。流線型になつた。色彩調節とやらもした。しかし，もう少し乗る人間のことも考えてもらいたい，と。

だが他人ごとではない。建築はどうであろうか。

(SK)

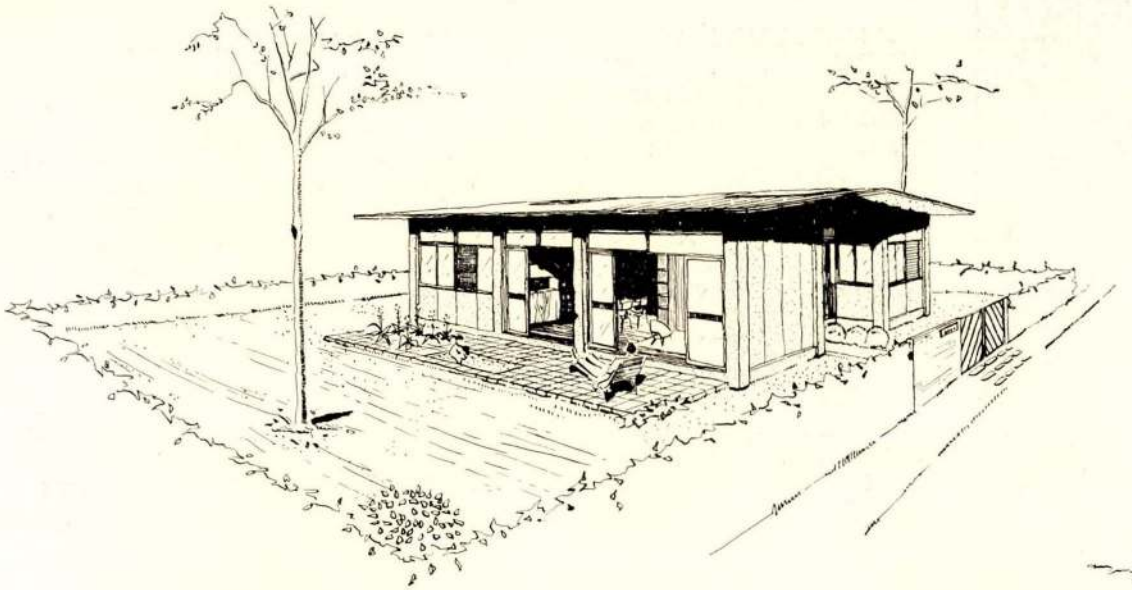
よく似た話

A氏は，生活のすべての行為を肯定と否定，善と悪といつた合理的反立の観点から眺め、他人は唯，彼の主義が適用される，一律的な，非個性的な対象に過ぎない。B氏は，対称や正確を好み，万事は数学に帰着するとし，人間の体が幾何学に還元し得るなら，完全な形は球形だから，最高の美は球形の体にあると考えており，常に建物の堅固さを疑い，壁が真直かどうかの強迫観念を持つている。両氏は，余りにも論理的であり，生命に不可欠の直観の庇護や生の豊饒さを失い，純粋知性だけしかない荒寥たる心理的世界に住む点で共通している。A氏は合理主義の，B氏は幾何学主義の分裂病者である。

この頃，「それは趣味の問題だ」と簡単に片付ける風があるが，勢いのあまり，人間にとつての"大切なもの"を見落さなければよいがなと，老爺心ながら，一寸気懸りである。

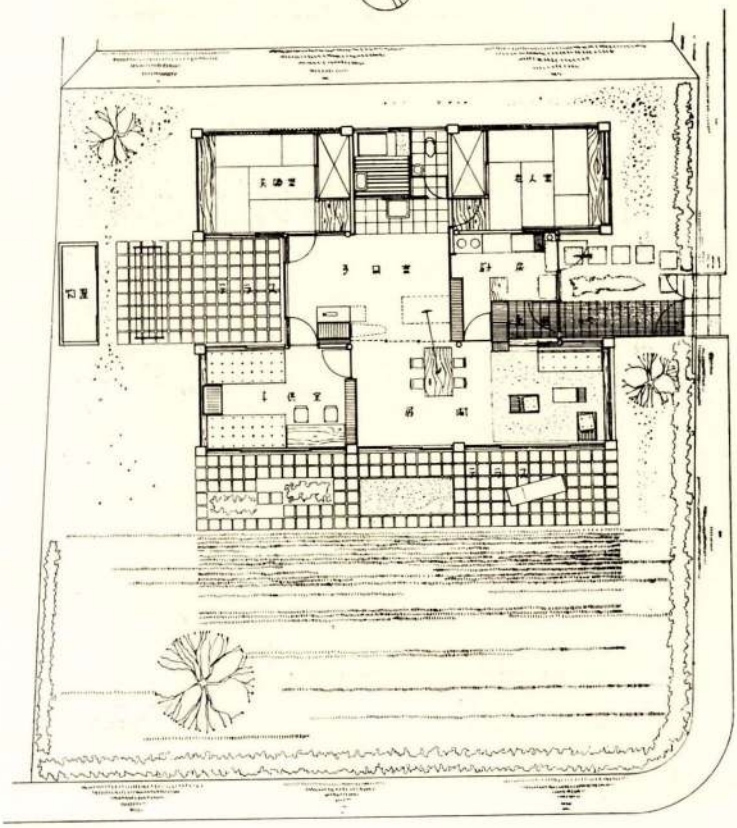
(TK)

建築の眼・担当50音順・足立 孝・岡橋 作太郎・佐野 正一・深尾 実郎・陶浪 貞彦・建築の眼









F 4 グループ

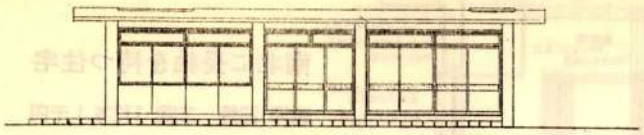
高橋 靖一 氏
中里 英二 氏
佐藤 伸利 氏
田口 好孝 氏

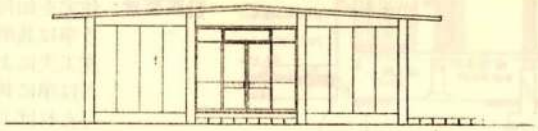
設計要旨

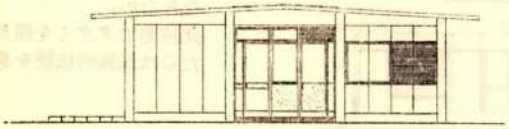
○想　定……計画に当つて想定した家族構成は，夫婦，子供2人及び老人1人の複合世帯である。

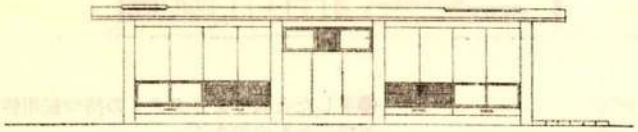
○面　積……22.77坪である。屋外の物置は単価の安い木造で作るべきであると考えたので，この面積には含んでいない。

○各室の繋がり……下図の様に多用室を中心にして各室を配置した。この場合多用室は主婦の家事労働，育児等の活動の場所として動線をここに集中した。亦この室と居間とはL型に配置して食卓の移動，三枚引の建具等で相互のつながりを flexible にした。

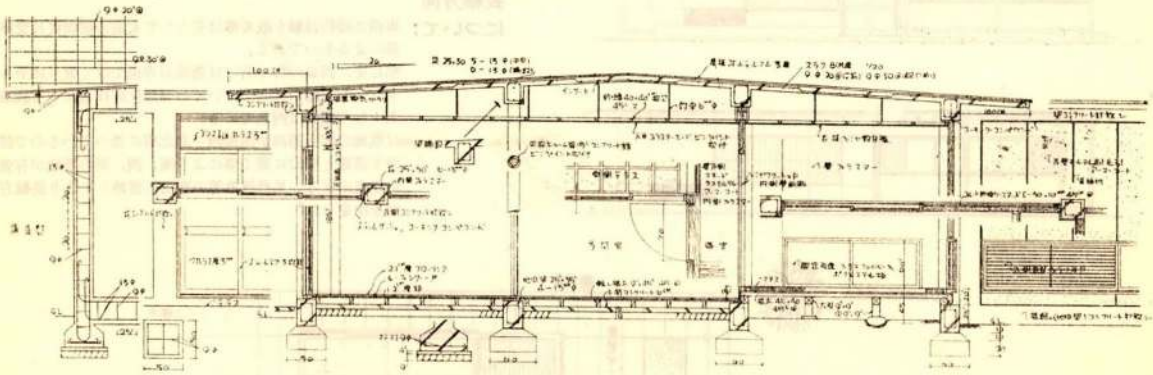








建　坪　22.77坪　　工　費　126万円

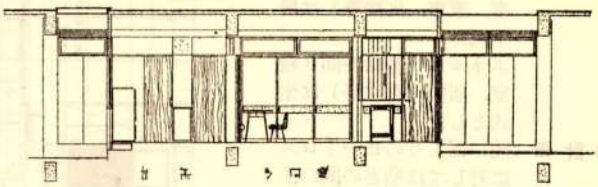


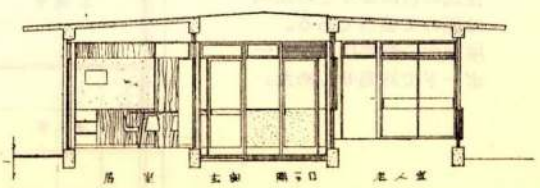
○privacy ……寝室は三隅にとり相互の独立性を持たせた。

○互換性……三つの寝室と居間とは同一の space にして互換性を持たせた。

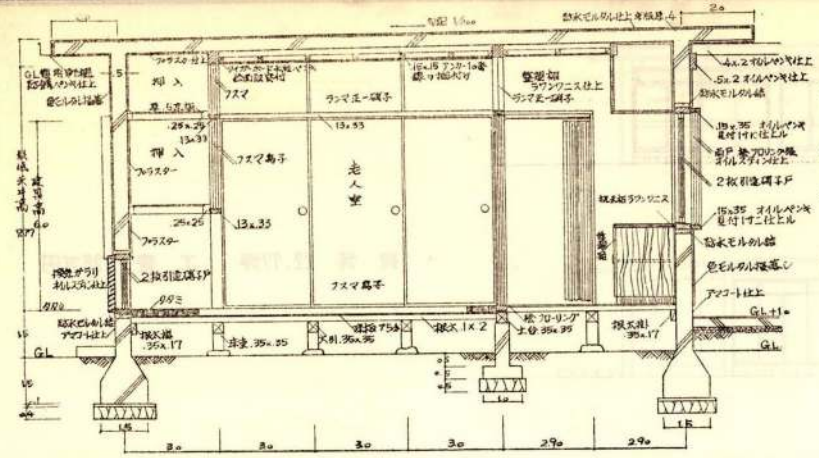
○通　風……居室はすべて二面に開口を設けて夏季の通風を計つた。

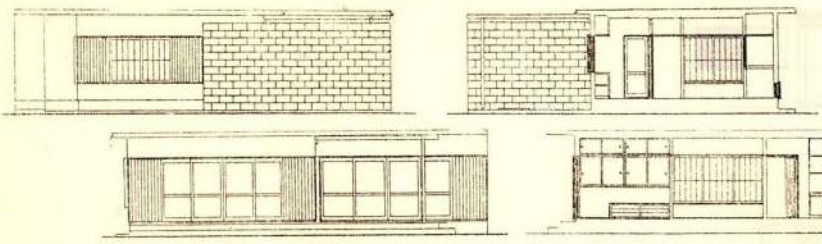
○構　造……平面の flexibility を尊重してラーメン構造とした。室内の柱はピンとして梁を支持し，柱梁の断面及配筋は水平力と垂直力とが互に balance する様に経済的に計画されている。





断面図



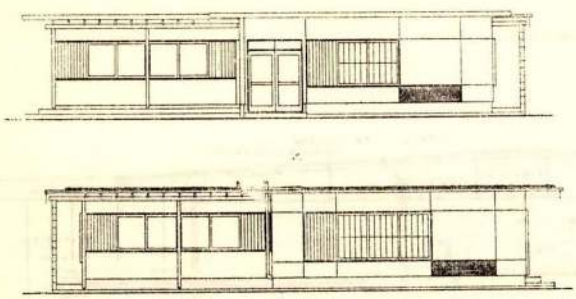


南北に長軸を持つ住宅

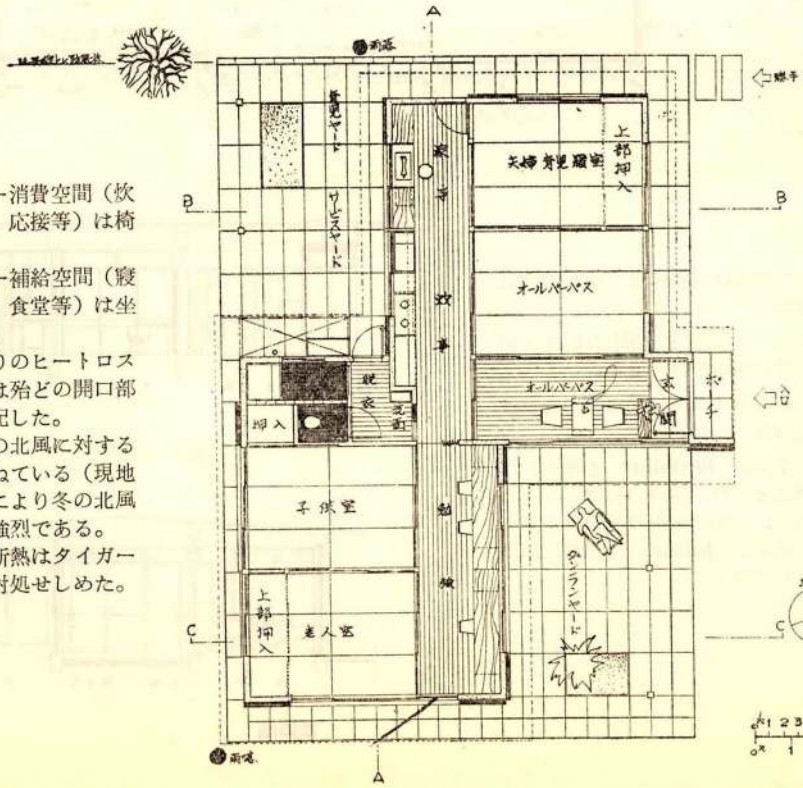
建坪 23坪　工費 112万1千円

家族構成： 夫婦，老人1名，学童2名，育児1名、計6名

計画要旨： 住宅を如何に住むかと云う事は其所に住む人の創意工夫によるべきで設計者は単に其モチーフのみ与えればよい。
此意味で住宅の平面は融通性に富んでいなければならない。
此住宅でタタミを採用したのは民族的伝統を尊重したと云うよりタタミの持つ転用性を重視したものである。

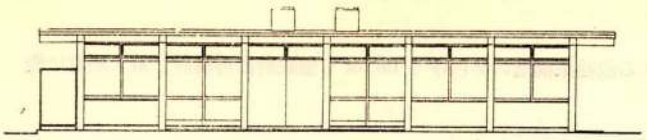


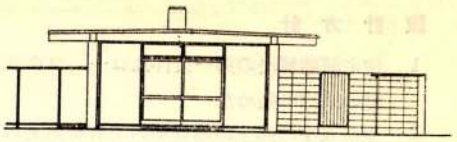
長軸方向について： 東西に建物長軸を取る事は主として太陽の壁面終日受熱量によるものである。
然し夏，西風の吹く所では通風が容易でなく暑さにやりきれない（夏の風向については現地住民15名につき調査主として西又は西北である）
又敷地の前面道路が南南西－北北東に通っているので建物を道路と平行に置く事により南，西，東の敷地が有効に使用出来る。其他風熱等の理由（省略）により長軸方向を決定した。

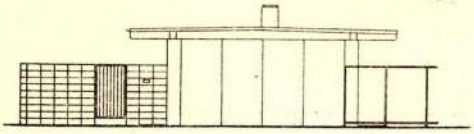


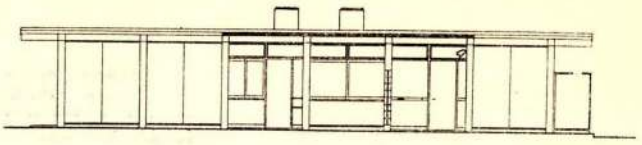
生活様式の整理： エネルギー消費空間（炊事，家事，応接等）は椅子式。
エネルギー補給空間（寝室，居間，食堂等）は坐式とした。

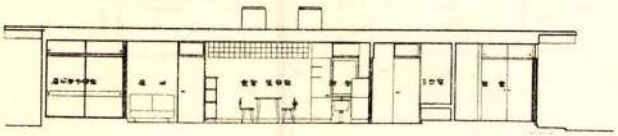
熱計画： 開口部よりのヒートロスに対しては殆どの開口部に雨戸を配した。
雨戸は冬の北風に対する防禦を兼ねている（現地住民の言により冬の北風は極めて強烈である。
屋根面の断熱はタイガーボードで対処せしめた。

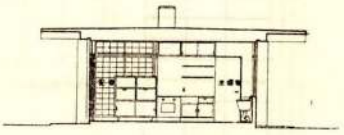


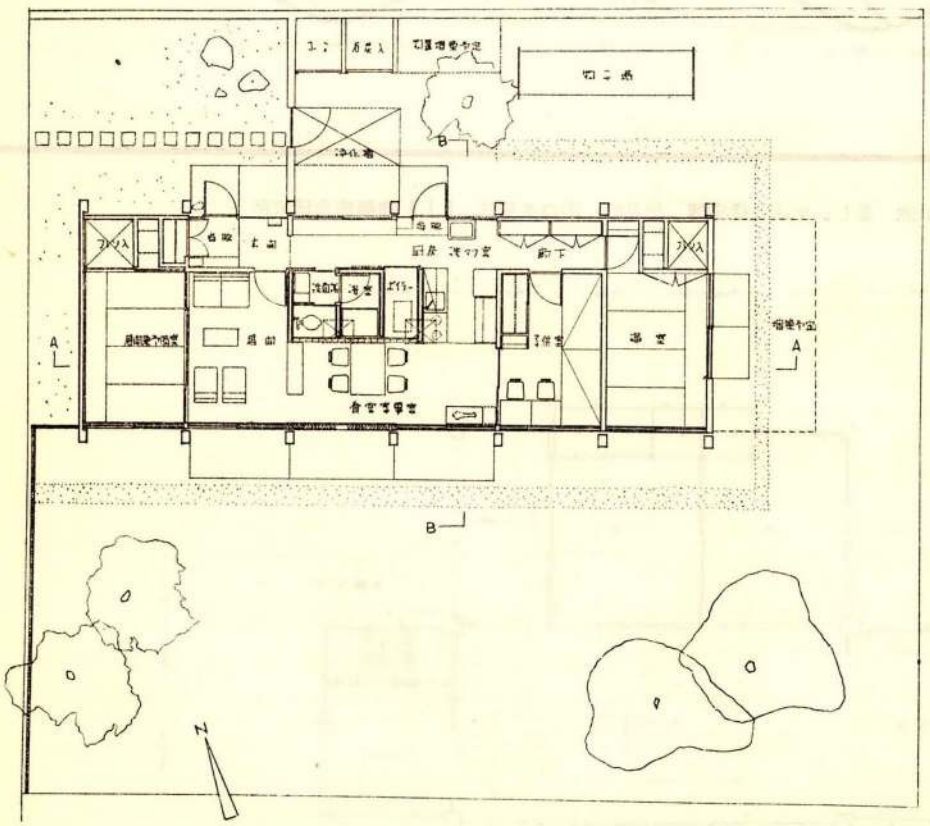












建坪　20.9坪

工費　119万7千円

設計概要

1　敷　地　約111坪

2　家族構成　夫婦及び学童2人

3　構　造　ラーメン構造（プレキャスト化可能）

4　仕　上　コンクリート打放し外壁間仕切パネル構造

5　設　備　温水暖房

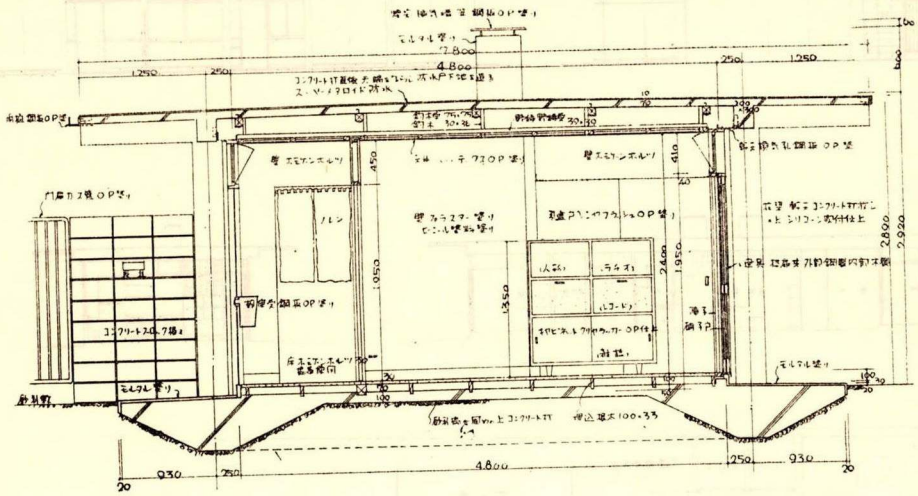
設計方針

1　住宅問題解決の第一条件はロー，コウストである故建築構造のあらゆるfactorを徹底的に再検討し最大限度に資材の節約に勉めた

2　生活水準の向上の為建築の実質を出来得る限り高度のものとした

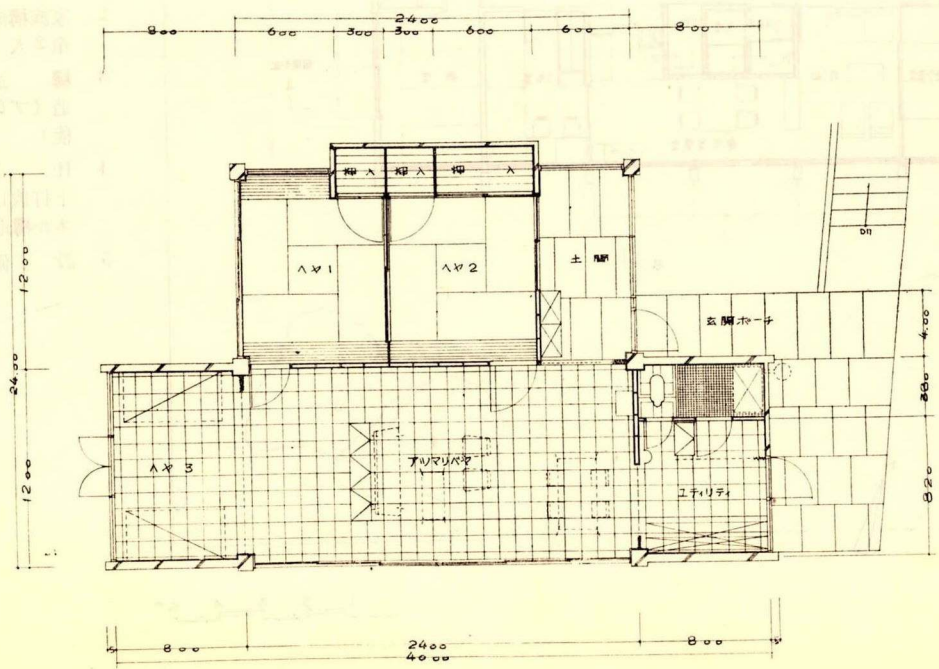
3　建築は夫に収容する家族の生長発展に対して最大限度の flexibilityを持たねばならない。本計画にでは新婚夫婦２人より子供４人に至る各段階に於て遂次増築可能なる様に考慮した。

4　プランに於ては主婦の生活空間を中心とした eguipment core の型式を採用した。

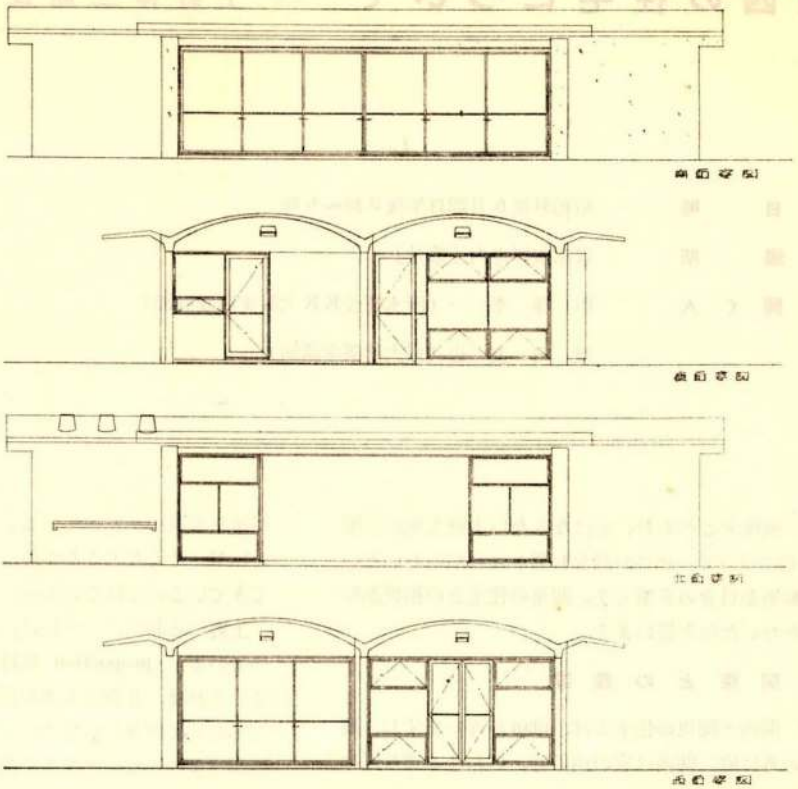


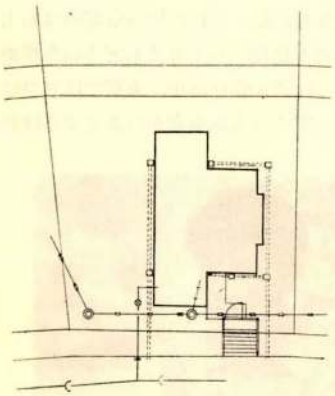
詳細図

鉄筋住宅　近鉄あやめが池　楽しい生活と住宅博　出品作　山口文象氏　R.I.A 建築綜合研究所



工　　費　125万円
建築面積　22.52坪
建築床面積　21.85坪





配置図

外　　装

外壁及軒裏・防水剤入コンクリート素地仕上、シリコーン吹付処理
屋　　根・シエル屋根部・防水剤入コンクリートセメント防水鏝仕上
庇及谷樋、セメント防水、

内　　装

土　　間・コンクリートモルタル塗　壁・栓2分ベニヤクリヤラッカー塗、天井・木毛板
部屋・床　暗色アスタイル　壁・栓2分ベニヤ杉板張クリヤーラッカー及シックイ塗　天井・木毛板及シックイ一部杉板正4分

関西の住宅について ＝上野伊三郎氏と語る＝

日　時　昭和31年6月22日午後3時～6時
場　所　京都南禅寺内「茶月」
聞く人　伊藤幸一（清水建設KK大阪支店設計部）
　　増田友也（京大建築学講師）

伊藤　戦後どこへもおいでにならない上野先生に，関西の住宅について，ぜひお話をお聞かせねがいたいというのが編集委員会の希望です。関東の住宅との相異からみていただいたらと思います。

関東との差違

上野　関西と関東の住宅では，planが違いますね。関東は家の外に庭，関西は家の内の庭，いわゆる通り庭の形式になつている。

伊藤　長屋もそうですね。

上野　それは貧弱な一種のジードルングですね。それから，京都の住宅には通り庭に炊事設備を設け，それに向い合つて食堂兼居間の所謂「台所」がある関係上，炊事場と居間とが一緒になつているWohnküche に相当する機能のあるものが多い。東京などは，台所と食堂とを区別して考えているようです。仕事の面になると，関西の住宅は，経済がいいのかも知れないが，仕事がきれいでガツチリしている。

伊藤　増田先生にも聞き役として，問題をだしていただいて結構ですので，どうぞ。

増田　私が思いますには，関東は武家屋敷式で，京都は町人の家のようですね…そうすると…。

上野　そう，京都の住宅は町人として圧縮されて住ませられてる感じがつよい。

増田　一般に，日本の住宅を考えるとき，田ノ字ノ間を考えるが，生活性とか，そういつたものは少なく，形式的な面だけがつよい。京都では使えないというような部屋はない。どの部屋でも子供がでてきて遊ぶ所がある。

また，京都は空気が湿つている。京都以外では，空気が無茶苦茶にかわいている。これは別に科学的な根拠がないが，そんなところから，京都の住宅の特質などがでてきているのではないか…。

上野　それに，一つには，京都の大工はいい伝統をもつている。proportion には京都のよい伝統が流れている。これは，非常に大きな問題だと思いますね。いい大工がなくては美しい住宅はできない。きゃしゃな木割なんかできつこないですよ。関東では一般的にいい大工がいない様ですね。とにかく大工の素質が，関西と関東との大きな質の差をつくつていると思いますね。

また，京都の中庭は風雅な感じがするが，関東は乾燥した感じだ。殺風景ですね。

伊藤　屋根も関東では瓦がないものが多いし，軒の出にしてもそうですね。

上野　そう，軒の出も少ない。また関東は土が悪い。火山灰のバサバサしたものだ。それに比べ京都のは粘土がよい。さらに腰板や下見板のハリ方でもどういう根拠かしらないが，関西ではタテ張りだが，東京ではヨコに張る。第一に，建築に関する本が東京からよくでるけれ



関東がイキなら，野暮なのは関西だ……増田友也氏



要するに建築家の主体性の問題だ…上野伊三郎氏

ど，関西の建物についての本はでていないじやないですか。そこで，こういつたところから近代数寄屋建築というものをみても関東式となつている。

增田　関東の近代数寄屋がイキだとしたら，桂離宮はイキじやない。関東がイキなら，それに対して野暮なのは関西だ。勿論この頃はイキなものもあるが。

上野　コンクリート住宅で私が始めてやつたのは島津の家ですが，私は純日本式をコンクリートでやるという気持でやつた。ローマネスクでという注文のものを，向うのいう通りの形と，私のいう形など模型を三度つくりながらやつた。

增田　あの島津の家はヨーロツパの感じがしますよ。

上野　その後の岡野邸，黒正邸においても純日本式の感じにしたかつた。庇の見付面の傾斜や，庇の出を深くすることなど行つた。

日本の家はたとえコンクリートであつても，気候風土からどうしても庇を深くする必要がある。いまでは庇をだす人がでてきたが，あの当時では庇を4尺5寸も深くだす人はいなかつた。こういうことを今の人にも考えてもらいたい。島津邸の窓には防虫網戸をつけたが，当時例が無かつたので島津源蔵氏にヒドク叱られたのを思い出す。

関　西　気　質

增田　一体，建築をやつている人で，関東の建築，関西の建築の違いを感じとつてやつている人がいますか。日本人は，バウハウスにも，コルビジェにも，同じように受けとつている。同じ人の作品がとたんにコルビジェ式になつたり，とたんにバウハウス式になつたりしているような気がする。

伊藤　亡くなられた藤井先生には，関西気質というものがあつたようですね。

上野　藤井さんのいき方と，インターナショナルのいき方とは目指すところは同じだつたが，出発点は違つていたですがね。

增田　お茶趣味とか，ワビ趣味とか，建築のふみこらえるところを知つておられたと思う。今の人は野放しになつている。

伊藤　関西住宅についての上野先生の製作態度などについてひとつ…。

上野　私は土地の条件に合うようにして機能的な面から考えてきただけだ。しかし予算の点で思うようにいかなかつたが。島津家の場合は比較的楽だつた。

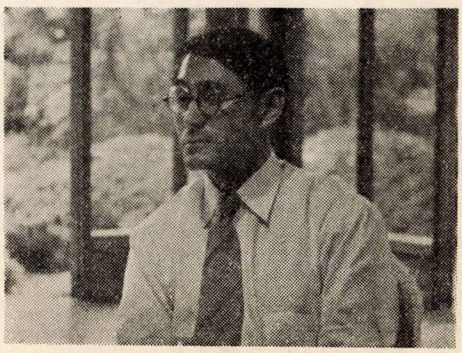
私は新しい材料の選択はむつかしいと思う。アメリカのテックスを島津家の天井につかつてみたが失敗した。実際老巧な人は，新しい材料をつかうのに愼重になる。また建築を建てる人と住む人との違いがあることにも気をつけている。

增田　近頃の住宅になつてくると，関東と関西との一家の主婦の発言権の違いがあるのではないですか。

上野　それはあるようですね。関西の主婦はおとなしいが，関東の方はハッキリいう。だからそれだけ関東の方が設計がし易いともいえる。もちろん，関西の方も最近はハッキリいうようになつてきたが…。

これは，また「タタミ」の問題につらなるものだ。タタミの部屋をつくるときは，むしろいい大工があればまかしておいた方がよいと思う。

增田　植民地みたいに，革命だ，革命だとさわいでいるところには，平凡なものしかでてこない。落着いたところには，むしろ革命的なものがでているといえるのぢやないですか。



関東関西の間に自主性がでていない…伊藤幸一氏

上野　京都はそういうところだ。非常に伝統的な町だとか，落着いたところにはひよつといいものができる。

增田　京都のは，京都気質がでていませんか。

上野　そうですね。私がやつた「スター食堂」などは非常に喜んでくれた。京都気質がでている。

公営住宅について

伊藤　戦後の問題ですが，公共住宅がでてきたが関東関西の間に自主性がでていない嫌いがある。先生のいわれるジードルングとにらみ合せて……。

上野　関東，関西の区別が土地，湿度，温度の差で多

少の違いはでてくるでしょう。しかし，私が不満に思つているのは国家的なジードルングの構想がないことです。共同施設ができていない。本当の意味のジードルングは，共同体で生活単位という考え方だ。これらをまとめて明確にしなければ本当のジードルングにならないと思う。

增田　実際日本人が一軒一軒家を建てるが，共同的な生活をするのが不得手ですね。

上野　それを教育するためにも，共同施設が必要だ。現在ではそういうことをしても駄目だから回避している向きもある。日本人を野放しにしていたら，政府の役人から下々のヤミ屋にいたるまで，上下を通じてなつていない。国全体が沖縄問題みたいになる。このままだと日本は将来駄目だ。植民地ではいけない。植民地ということは，国民は使用人におとされてしまうことだ。

增田　実際の生活と，建築家がねらつているものとギャップがある。

伊藤　これからのジードルングのいき方については，関東，関西では小さい範囲の locality もあるし，日本全体としても locality がでてくる。規格された点の問題もでてくる。住まう人の心掛もでてくる。材料の点もでてくるでしよう。

上野　ハッキリした locality はでないでしようが，いまの地方公共団体がやつているのは，始めから設計する労を惜しんでいる。建設省からでている設計に「右へナラエ」している。建てる場所や，環境など地方に応じた形に検討してやつたらよいと思うのに。実際，事なかれ主義だ。もつと建築家は良心的であつてもよいと思いますね。

增田　いまの建築家は極端かもしれないが，二つのいき方がある。一つは作品だけ残つて作家が残らない。もう一つは逆に作家だけあつて作品が残らない。

上野　雑誌の口絵にのせるような写真効果をねらつた建築があるし…。

建築家の主体性

增田　関西の住宅に関するクライエントは，型に対する遊びはよいと思わない。もつと堅実です。経済というものの本当の意味に非常に敏感だ。軒の出なんかにしても，これは金だけの問題ぢやないといえば納得する。

上野　その点東京人は見栄坊が多い。

增田　現在の新しい住宅は人間臭さがない。品物みたいになつている。それに対して京都の住宅は人間臭い。一般に画でいえばこういうことがいえるのぢやないですか。梅原・安井は関西的，猪熊・東郷は関東的。

上野　桃山文化と江戸文化と比較してもよい。

增田　僕は今の建築家は色気が多すぎると思う。ローエにも気に入るようにコルビジェにも気にいるように設計する。グロピウスが来日したとき，ローエのことなど舌打ちして話していた。それぐらいの気がまえが必要だ。

上野　それは要するに，建築家の主体性の問題だ。やりたいことは，思う存分やつたらいいのですよ。

增田　日本はアカデミィ亡国だ。外国文化を輸入したのは作家というよりむしろ，語学の人がホンヤクして入つてきている。

上野　学校の制度でも実際の仕事をさすべきだ。建築家でも，大工仕事も左官仕事もやらせばよい。今の大学では恐らく卒業しても机にすわつて図面をひつぱつているだけだ。だから日本の建築家は形だけの建築家が多い。外国の大学では実務をやつている。また日本の建築家は多すぎる。南米では建築家同志のやきもち争いはないですよ。

增田　日本はやきもち文化だ。

上野　とくに建築家はやきもちが多い。外国では仕事の上で堂々と争う。日本では蔭でいう。こんな日本にはいてもしようがないですよ。外国へ行つて存分やつてみたい。外国へいくなら私は南米へいきたいと思つている。

色の問題

伊藤　大分時間がたちましたので，色の問題に移りたいのですが，京都の住宅の色について。

上野　京都の色は落着いている。関東は乾燥した色で深味がない。勿論，最近の建築家の設計したものにはそんなことはないが。桂離宮の外塗は玄関廻りと庭に面した部分と色を替えているが，特に民家に使うものとの区別はなく安建築にもよい伝統が流れている。

伊藤　先生の作品の上での色のとりあげ方は…

上野　伝統的な建築の場合，襖と腰張り位しか色を自由に扱える場所は残されていないようですが，近代風のものには近代の軽快な色のうちから，室の用途に従つて落付いたものや陽気なもの等それぞれ調和のとれた素直な色がよいと考えている。

增田　ヨーロッパから帰つてきて，建築や色の見方に違うことがありますか。

上野　それはありますね。帰つた当座は駄目だが2，3年ぐらいすると，前よりハッキリとよく分る。

関西の建築家のあり方

伊藤　最後に関西の住宅の今後のあり方に関連して，関西の建築家のあり方など…。

上野　建築家に，もつと勉強して真面目になれ，ということだ。もつと，とりくんでくれ，ということだ。

增田　もつと建築家は誠実でなければならないと思うな。神様みたいになつている。

上野　今頃の建築家は「神主」顔だよ。（笑声）

伊藤　ではこの辺で……いろいろと有難うございました。

（文責編集部）

座談会 小住宅

時　31. 6. 23
所　大阪　天心楼
主催　日本建築協会編集委員会

出席者（順不同 敬称略）
池辺　陽（東京大学）
西沢文隆（坂倉建築研究所）
川島宙次（大林組住宅部）
諫早信夫（日本住宅公団大阪支所）
今西茂雄（今西デザインルーム）
佐野正一（編集委員）

佐野　御忙しいところ，わざわざお集り下さつて有難く存じます。今日は「関西の小住宅」というテーマで極く自由にお話願えれば幸です。最初にそもそも住宅に関西独特のものがあるのかどうか，その辺から川島さん如何です。



佐野正一氏

関東と関西

川島　関東，関西の新築される住宅については，計画上大局的にみて大して違いはないのではないか。戦後は特にそのような気がする。世上に東京方面で主として紹介されるものと，関西で主として紹介されるものでは意識的に大ぶん違つているように扱われているが，雑誌にのらない大多数の小住宅が日々生産される経過ではそれほどの差があるとは思えない。

今西　戦前には関西の普通の住宅はどこか所謂関西風というものがあつて，それに戦後になつて関東風というか少しスタイルの違うものが流れこんで来たのではないか。戦災の影響がずいぶん仇いているように思う。

池辺　私はどこか違うところがあるという考えだ。戦後いろいろなスタイルが入りまじつて，本来あつた町家の雰囲気が薄くなつているのは事実だろうけれども，関西には都市住宅という特別な伝統がよく守られていて，東京などで明治以後に都市住宅の扱い方が変つてきたのとくらべると，考え方の点で相違はあると思つている。独立住宅を計画する場合にも関西には現代的な意味ですぐれたものをつくるための基盤が備えられているように感じている。

佐野　関東と関西の気候の違いが影響しているということは…。

川島　小住宅の間取りとか，設備，寸法といつたものでは別に差違はないだろう。気候が違うといつても全国的に同一の官舎や，アパート，テレスハウスの類がそのままに受け入れられているところからみても，それほど影響がないことになるのではないか。特に最近は鉄筋コンクリート造やコンクリートブロック造の家がふえていて，これらにはローカルカラーが薄いように思う。郷土色というと多分に趣味的な問題に陥りやすいと考えるのだが。

池辺　趣味というような個人的な問題ではなく，都市の敷地割とか，経済の問題にからんでいるのだと思う。個々の住宅というより全体としてまとめて見た場合にそうだというのだ。

西沢　町家のよさが郊外の住宅にもまたがつている点があるように思う。そこがいいのだろう。

川島　一つの見方としては関東の住宅は武家風で，関西の住宅は町人風というところか。

諫早　大阪の郊外などで，石垣を積んで生籬などのある住宅，あるいは都市の一部にある板塀でかこんで，外側に生籬を廻している住宅群など，なかなかいい雰囲気だ。

池辺　自分の家だけのことでなく街としての秩序を守ろうという意識が伝統的にあつたのだと思う。



池辺陽氏

関西風のよさ

佐野　関西風の独特な形式というと，どんなことになりますか…。

昭和10年ごろ関西では住宅論が盛んで，和洋折衷式なんていうものが生れている。歴史的にかなり複雑な経過があつたのだと思うのだが。



今西茂雄氏

今西　電鉄会社あたりで土地付きの分譲住宅が流行して，洋間が玄関脇についたのがよく建つた。和洋折衷といつても，実施されたのは「洋間」という一種のアクセサリーだつた。今日の実用的な洋間とは意味が違う。

川島　材料上の制約からの一つのスタイルもある。昔から外地材は余り使わずに，豊富な内地材を使つた。銘木になるようなものも数が多かつた。そんなことから数寄屋風が伸びたのではないかと思う。現在よくいわれる数寄屋風は余り軽快瀟洒ばかりにとらわれすぎて，却つて虚飾が多いが，本来は土産の倭小な材料を最大限に使つて，極度に簡略されたきびしい美しさを要求しているものだと考える。

池辺　最近，全国の小住宅のプランについて，大きな会社の社宅などの最近例を組織的に 300例ほどをしらべてみた結果では，関東の例に戦時中の統制的な匂いが今なお強く残つていることを発見した。住い方をよく考えた例が関西のものに多かつたように思つた。住むということを観念的にでなく実際的に割切つているという感じで結構なことだと思つた。

川島　形よりも質に重点を置いてリアルに割切る考えが相当根強いと思う。内部的に充実させ，外観は地味にしようという傾向で，極端になると外部にはまるでデザインの考慮されたあとがないようなものも多い。一種の町人根性かもしれない。

池辺　東京には頭でつくりあげたデザインがかなり目立つ。こちらの場合には住い方が先祖代々継承されていて，都会地に対して田舎から転宅するにしても，あまり遠い移動ではないから，住い方の態度というものが都会地へ入つて激変することが少いということも考えられる。

川島　非常な大規模な住宅の場合にも家族が日常使用する部屋は実際に維持費や光熱費の点から意外なほど狭く限定して無駄をへらそうという頭だ。大住宅といつても小住宅がそのまま大規模になつたのでなく，宿泊だとか来客の接待用スペースが複雑に附加されたものだから本来の住宅部分としては小住宅と変りがない。

諫早　芦屋あたりの大住宅は，今作れば大変な費用だが，今日では経済的な理由からも，住い方の点から住宅に本来必要なものだけ残すという意味で，余り大きなものは今後はあまり生れないだろう。

川島　関東では大震災と，今度の戦災と二度も被害を受けた。それだけあたらしいものを積極的に追求しようとすることになるのぢやないか。

諫早　やはり全体としては被害毎に低下するのではないか。関西では被害も少なかつたし，被害を受けたのちに建つたのは応急的なバラツクだつたから昔の考え方はそのまま温存されているようだ。

池辺　大きな被害と一緒に大工の技術がすつかり低下したことが致命的だつたと思う。スタイルがないから大工が勝手な仕事をする。木割という思想がもう少しでも徹底していれば過ちが少いのだが，それも今は薄れているというところだろう。ただし今日の東京では二男坊や三男坊の連中があたらしい試みをどんどん受け入れやすい立場でこなしてゆくから，あたらしい要素は多くなつてきている。

佐野　関西の住宅では比較的地味な要素が，そのまま温存されてきたというわけだ。それだけ放つておくと折角の良い点もなくなりはしないかと懸念される。

内法主義か心々主義か

川島　はつきり違うのは畳の大きさだろう。関東の心々12尺とか9尺という寸法でゆくと，同じ正方形でも8帖と 4.5帖の場合畳の大きさが違う。関西は内法主義だから畳，建具はどの部屋でも同じだ。これは優れた考え方だと思う。また同じ畳数の部屋で，使用木材も殆ど同じで電気等の設備も同等なのだから大きな畳を使つたものの方が広く使えるだけ京間の方が経済的だといえる。



川島宙次氏

池辺　外国の部屋は内法主義が基本だ。ところが近頃日本ではアパートのように本来インダストリアルな性格の建物でも心々主義が浸透してきて，畳を適当に寸法を直して使つたりしている。これはおかしいと思う。関西での畳の内法主義にもかなり最近変化があるのではないか。

今西　営利主義がそうさせているのだと思う。同じ坪数の住宅なら疊を小型にしてでも部屋数を増やそうというやり方だ。坪数の制限が大きな影響を残している。

川島　コマーシヤリズムの方から京間というモデユールが壊されてゆく傾向はある。

池辺　建築屋などで京間にすると坪数計算が簡単にゆかないとか，坪当りの規準価格を出すときに大工手間の計算が複雑だとかの理由もあつて京間が昔のように経済的に有利とならなくなつた点もあるだろう。

西沢　内法主義でゆくと技術的にはこまかな寸法がでて仲々複雑にはなる。そうかといつて心々主義で基準が6尺，3尺では廊下でも，便所でも狭くなつて仕方がない。心々主義なら6尺3寸というところだろう。

今西　古い時代の建物では平面が簡単で，心々主義と内法主義と同じだつたわけだ。

諫早　近ごろ鉄筋コンクリート造などで，自由に寸法が選べるというところから，逆にいろんなマイナスが起つたようだ。

池辺　学生の中に京間というものを知らない人もいる内法主義でゆくと，どんな風に寸法をとつてゆくのかをいろんな機会に教えてゆく必要がある。

住宅のように身近かなものの設計で，案外に大事なことが教育上落されているように思う。そのために頭の中だけの判断で，適当な平面と，適当な立面とをいい加減に組合せるような設計が生れる危険も起つてくる。

佐野　一つ一つのデータを綿密にしらべて，つみ重ねてゆく努力が必要だ。そうでないといいものはできない

住　宅→アパート

諫早　私のところでは公営住宅を扱つているが，土地によつて気候も，材料も違う。色にも好みが違つているので，その土地の環境に合せて独特なものが産れなければならぬと思つている。



諫早信夫氏

池辺　中央官庁では，日本全国をとかく一率に考えやすい。地方的に出来るだけ堀り下げる努力を払わねばならない。規準図があるために高級な技術が地方にはやく伝わつたのはいいことだが，地方によつては安易に頼つてしまつて独自のものに積極的に発展させない傾向も反面に起つている。もつと地方の建築家に責任を負わせてゆく方法でもいいのではないか。

諫早　関西で住宅協会がやつたアパート建設には仲々すてがたい味のものがある。団地の計画に親切味というか，例えば地形や樹木など在来のものを巧みに生かし，入口や門，灯具，掲示板等の外部構造等の配置など工夫すれば郷土性も生きてくる。

池辺　大阪附近では劃一的な東西方向の配置より西風をとり入れる配置や窓計画がいるのではないか。

西沢　西窓を明ける計画は非常に難しい。冷媛房なしの前提ではやはり冬は太陽，夏は西風をとり入れねばならぬのだが。



西沢文隆氏

諫早　計画を大きくして少くとも1万坪以上の団地計画をしないと特色のあるものは難しいようだ。空地を探して1棟づつ入れるような考え方ではいいものはなかなか出来ない。団地が仮に広いのが得られる場合でも，1棟づつ建て増すようなときは余程計画に気をつけないと統一のないものになる。短期間で仕上げるようになるべくしたいし，そうできない場合も全体としての計画が先行することが最も大事だ。

川島　いまの状態では住宅を数量的に多数供給するのが精一杯だろうけれども，何でもかんでも同じものをやたらに建てるよりは，変化をもたせていろいろな規模や配列の住宅の組合せでゆく方法を考えてみたらよい。家賃に差が出てもいいと思う。

池辺　色々の種類があるのは良いことだ。永久に自分の住むものときめるのはおかしいことでもあるし，現在のような需給状態でも，家賃のきめ方をアメリカの例にあるように最初高く余分に回収できるようにするならば，人によつて新らしいものが出来たら転宅することができる道が開ける。

川島　このごろでは家の規模は小さくても鉄筋コンクリート造やブロツク造にしてほしい希望が多くなつてきている。

佐野　郷土性を生かした良い住宅を造りたいものだ。近代化の線に向つているアパート形式に，如何に郷土的な良さをもりこむかが，これからのわれわれに対する課題だろうと思う。ではこの辺で…。いろいろと有難うございました。

ロ ー コ ス ト の 住 宅

日本建築協会住宅委員会
委員長　中 野 順 次 郎

序

29年度，30年度に亘つて，住宅委員会がとり上げた題目はローコスト住宅に関するものが多かつた。

常識語としての「ローコスト」なるものが種々に解釈されているので，これを整理し，一本の意味を与えようとしたこと。或はローコストにするための，相関連する多くの問題の位置を明らかにしようとしたこと。

終りになつて，ローコストを実現するための方法等を討議している間に，幾つかの実例（試み）や案が提示され，これらの検討も行つてみた。またそのための見学もやつてみた。

結論的には非常にむづかしいが，もつと研究すべきだということで，第三年目の31年度住宅委員会にも継承されることになつている。

下記のものは，これまでの討議に出された多くの意見の中から拾い集めて編集したものに過ぎない。

建築専門家にというよりも，一般の人に常識化された「ローコストハウス」なるものをかくの如く理解されたいことを述べようとしたものである。

住宅委員会の報告の一部となればさらに幸いである。

ローコスト住宅を求める心理

百貨店で買物をする人の気持を分けてみると三つの型があるようです。

「Aの型」…値段はともかく，品質が上等で永年の使用に耐えるものを買う人。

「Bの型」…品質は悪くても，値段の低いものを買う人。

「Cの型」…品質は合格品以上で，しかも値段の低いものを，探して買う人。

「A」は金に困らない極く少数の人に限られますが，「B」は金と時間に余裕のない者で，大部分の人はこの型にあてはまるようです。

ところで「C」の方は丹念に調べたり，比較したり，その上懐ろ具合も考えるから，非常に努力する買い方です。家を建てる場合の心理もこれとよく似ています。

同じように住宅が欲しいといつても，A型の人は資金に困らないから，家の広さや強さあるいは設備から装飾に至るまで充分なものを建てることができますが，これは極く僅かの限られた人だけです。

多くの人は雨風が防げて一応住まえさえすればよいから建築費のかからない家を欲しいと考えているようで，これがB型の心理だと云えましよう。

ところがC型の方はそう簡単には解決し難いところがあります。家族数に応じた家の広さがあり，建物の強さや設備も一応合格点でなければならないが，それかといつて建築費は切りつめられるだけ切りつめたいという制限があります。このような心理を満足させるにはどのような方法があるかということなのです。

もしうまい方法があるとすれば，B型の人でもC型に変るかも知れませんし，或はA型の人でもこの方を希望するかもわかりません。

とすれば，C型の心理は，個人個人の場合でもありますが，同時にこの国の住宅政策に対する共通の要求とも考えられます。

ローコストハウス（low cost house）の問題になつた因は戦後の世界的な住宅難に加うるにこのような事情によるものだと思います。

「ローコストの家とは」

いうまでもなく住宅建築を合理化してある程度の質を保ちながら低い建築費で建てられる家のことですが，この中には相関連した四つの大きな課題があります。

――第一は，今日の住宅として合格品としての最低限度は何かということ。

――第二は，上のような家をいかにすれば低建築費で建てられるか。

――別に第三は，日本の現状では，一般住宅の建築費は最高どの程度までに押えなければならないか。

――第四は，その範囲ではどの程度の住宅が建てられるか。

前の二つは住宅の質から考えようとするものですし，後の二つは住宅建設資金の限度の方から考えようとするものです。

実際はどちらのやり方が多いかといえば，どうも後の方が多いように思います。その理由は金融公庫資金の制度とか公営住宅による住宅建築が多いためかも知れません。何しろ多額の経費を要する仕事ですから，どうしても予算の方が先に問題となるのも止むを得ないのではな

いでしようか。

このように建設資金の枠を定めて，その中で最大限の効果を挙げるやり方はすでに公営アパートの建設にとり入れているローコストの方法ですが，まだまだ研究の足りないところがあるようです。要するに住宅としてこれ以上のものを望むことができないかというところに問題があります。

規格を定め，量産的の建設方法をとつてもなお合格線に達しないとすれば，次は建築費の額を検討しなければならないでしよう。

何れにしても，この方法で公営以外の住宅のローコストを解決することは不自然でもあり，合目的ではないので，反対に（第一）→（第二）の順序で工夫することがよいと思います。この場合は住宅としての最低の質をどこに置くかということを検討しなければなりません。それに基いて，今日の建築技術によつてどれだけ低い建築費で建てられるかを工夫するのであります。

勿論建築学そのものがより経済的により合理的に研究しようとする学問ですから，ローコストの研究とはいつても別個の技術をつくり出そうというものではありません。

むしろ学問によつて与えられるプリンシプルを活用することによつて，最大の効果を得ようとするデザインであり，製造方法の問題なのであります。

そのためには当然思い切つた決断が必要です。今迄の住い方や，今迄の住宅様式をそのまゝ肯定して，これをローコストにしようとしても，それは不可能の問題です。

したがつて，ローコストの家を実現するには単に技術的な手段の工夫だけでなく，その家に住む人々の生活形式の変化をも予定しなければなりません。

「最低の質とは」

経済的に恵まれないとはいえ，文化国家をたてまえとする国民の住宅はどの程度以上のものでありたいか。あるいは，もつと豊かな経済力を創りだすための，もつと高度の文化を創りだすための，その基礎となる国民の「すまい」の最低線を何処に引けばよいでしようか。

といつてもこの判断は大変むづかしいことで，秤で計るようなわけにはいきません。

安全，保健，衛生，保育，能率，社交，だんらん，娯楽，修養……等凡そ文化的な家庭生活の要求から割り出して，家の強さ，耐用年数，そして防暑，防寒，採光，換気等の効果，家の広さ，設備の程度，建具や家具の程度等に至るまで住宅の機能（はたらき）に対する最低限の要求というものがあるわけです。

これらがすべてはつきりすれば，住宅の最低の質なるものが把めるのですが，今日のところではそこまでの研究が出来ておりません。学問的にも技術的にも研究されつつありますが結論を出すことはなかなか難かしい問題です。

そこで，大ざつぱの見当をつけて，差当りローコストの家はどのような工夫をしなければならないかの拠りどころを挙げてみたいと思います。

○家の強さについては

地震や台風のような強い破壊力は過去の経験から割出して，その程度には充分耐えられるようにする。

火災に対しても安全であることが望ましい。

雨に対しては屋根や外壁で防水できるようにする。

その他家の内部で，人や荷物の重さの見当をつけて壁や床，梁などが充分耐えられるようにする。

○防暑，防寒については

建物の構造や材料だけで効果をたかめるのには限度があるから，むしろ従来の建物より程度を落さないようにする。

○採光，換気については

主として窓の取扱いになるが，これは格別の条件は設けない。

○家の広さや室の数は

共用部分の外に少くとも両親の寝室及び男女別の子女の寝室を設けねばならぬ。

○設備の程度は

次のようであることが望ましい。

水道，ガス，電気の設備。

水洗式の便所。

洗濯場の設置。

煖房は炭火だけでなくガスや石炭による煖房ができるようにする。

物入れは，ほこりと湿気を防ぎ，虫やねずみを侵入させないもので，しかもその家の人数や年令に応じた必要量を設け，同時に収納物の形状や性質に応じた形式のものにする。

まだまだ多くの条件がありますが，以上のような程度を定めますと一応「最低の質」なるものがはつきりしてきます。

「ローコストへの工夫」

次は建築費をどうすれば低くできるかの問題になりますが，多くの人はこの点にばかり注意しているともいえましよう。順序として建築費の内容とはどんなものかを検討してみると，

イ，家の骨組や表面仕上げとなる各種類の材料費

ロ，その材料を使つて家に造り上げるための労務費

ハ，建具，家具，設備類の購入費

ニ，家を建てるに必要な動力や機械，道具類の消耗費又は損料

ホ，工事を担当する者に必要な種々な経費（運搬費，人件費，税金等）

ヘ，どんな家を建てるかを計画し，設計し，その上工事の有様を管理する経費

ト，其の他の雑費（イ〜ヘに含まれないもの）

ローコストの家を実現するには以上のような各項目の費用が少くてすむようにしなければならないはづです。

これら七つの項目で大きな割合を占めるのは何といつても，イ，ロ，ハ，ニ，でこれを直接費といつています。残りの項目は間接経費で直接費に比べれば僅かになりますが，しかし絶対に必要な経費なのであります。

こうなると，まづ直接費の方を検討して，その部分のどこを節約するかということが問題ですが，それは何と云つても材料費を減らすことになります。

例えば，木造の柱や梁等の主要材料費を少くするとか，鉄筋コンクリートならば，セメントや鉄筋の量を少くするとかの問題になります。そのためには，少い材料で必要な強さが得られるように建築構造学の援けを得なければなりませんし，また狭い面積でも多くの用途に使用できるような建築計画学（特に能率的な計画）の研究に頼らなければならないのであります。

さて，このような工夫は一体誰がやるかといえば，への項目に示した計画や設計のための経費というところで処理することになります。

ところが，昔から住宅を建てるのは殆んど大工さんに頼むといつた習慣があつて，上のような目的で専門技術家が必要とされることは少なかつたようであります。

その場合には設計のための経費は必要なかつたから，それだけでも建築費が少くなると考えるとすれば，これこそ大変な見当違いでローコストとは反対の方で家を建てることになりましょう。

次は直接費の(ロ)で，労務費を少くする工夫も必要です。

勿論，材料費ほど大きくはないが，それでも大工，左官，土方，屋根葺工……等といわゆる各種の手間賃は材料費に次いで取り上げる問題です。これらの費用は一人一日分が300円〜1,000円位いまでの間にあつて，その延人員が多いか少いかによつて建築費の額に影響することになります。一人一日分の労務費は要するに職工の生活費で，これを減らすことは不可能ですから，要はより少い人数で家をつくり上げるにはどうすればよいかの問題なのです。

こうなると，これらの職工を管理したり，指図したりする，いわゆる総括的な立場に立つ人の頭脳や才能に頼らなければなりますまい。

ということは，工事の計画や工事の現場の管理が合理的で能率的に行われるように工夫することなのであります。職人を遊ばせないとか，仕事の手順をよくするとか，仕事がたやすくできるようにするとか，すべてに無駄を省いて，最も少い人数で家をつくり上げる方法を研究しなければなりません。

例えば，木造の骨組を組立てるにしても，難しく，時間のかかる大工仕事を改良して簡単で速くできるようにするとか，或は工事現場でこつこつと手間のかかるような仕事を少くして，それよりも工作場で大量に機械作業でつくつてしまうとか，いわば家を製造する仕組全体の工夫が必要だと思います。

多量生産とか，規格統一とか，加工の単純化（機械加工）何れも産業合理化のポイントとして，これが家を製造する場合に適用されてこそ，いわゆる「ローコスト」へ近づくものと思います。

そこで，昔からのおかゝえ大工まかせ，棟梁まかせのやり方はきつぱりと捨てなければなりません。かかるだけの手間は仕方がないとするような余裕のある時代ではなく，これだけの手間（労務費）で出来るはづだと，計算された数字の通りに仕事を取り運ぶこと，これがローコストへの工夫だといえましよう。

教育された「科学的な生産人」としての施工技術家こそ，かつての親方や棟梁に代る，あるいはそれらの上に立つて指図する資格があり，そのような技術家によつてこそはじめてローコストの家を実現することが可能だと思います。

この意味から，工事計画を立てたり，あるいは工事現場の管理をすることのできる工事者が担当するのでなければローコストの家を求めることはできません。

従つてこのような資格のある工事業者はそうざらにあるとは限りませんし，また適格な能力をもつた技術者も数多くはないかも知れません。従つて，しっかりした研究的な設計者によつて計画し，また同様にこの問題と取り組んで解決能力のあるしっかりとした施工業者に依頼することが大切だと思います。

ローコストを可能にするその他の條件

一つの家をローコストにするための，つまり家自体についての工夫は前項④の通りですが，その他に工夫しなければならないことがあります。

イ，建てる時の選び方

例えば，百貨店でシーズンオフの見切品（格安品）を買う態度ですが，台風直後の材料値上り季節を選ぶことは最も不利なことになります。

また，正月前後の日の短かい，作業のし難い時も適当ではありません。

ロ，敷地の選び方

水洗便所を設けるとしても，その家に浄化槽を設けるよりも，放流下水のある地域を利用した方が遙かに有利です。また地盤がよくて基礎が簡易にできるところ。交通の便がよくて，運搬費が少くてすむところ。

排水が便利で排水工事費が少いところ。電気，水道，ガスの引込みが手近にできて，附帯工事費が僅かですむところ。

このような外的条件は建物自体をローコストにする努力と同様に工夫しなければならないと思います。

ハ，設計者や施工者の選定

このことは前にも述べた通り，ローコストにするための技術的な能力や工事能力のあるものを選ぶことは当然ですが，そのような能力はやはり筋の通つた専門職でなければなりません。

だから，ただ作図ができるとか，あるいは職人を使つて家を建てられるとかの程度でよいはづはなく，設計にしても工事にしても，まづローコストなるものを理解し，それを実現する条件を備えていなければならないのであります。

ニ，支拂條件の影響

設計や工事には多額の費用が必要ですから，これがスムースに処理されない時には，すべてのことが計画通り進まないのは当然です。

例えば所定（質において）の材料が入荷しなかつたり所定の人件費が割当てられなかつたりするのも要するに工事と金がバランスをとつていない際に起りやすいのです。ローコストへの計画がどんなに優れていてもこれを動かす金の面が澁滞してしまえばローコストどころかかえつて反対の結果を招くことになります。

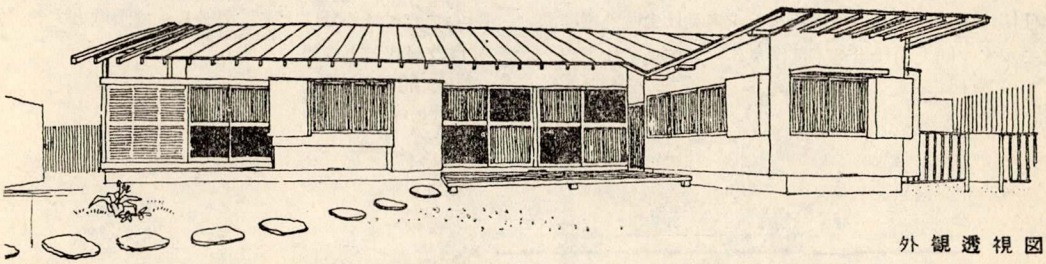
以上の四つは何れも直接コストを定めるものではないにしても，総括的にはでき上りの住宅建築費がローコストになるための重要な条件です。

この他にも，同様な必要条件があると思うので充分の調査と研究をしなければなりません。

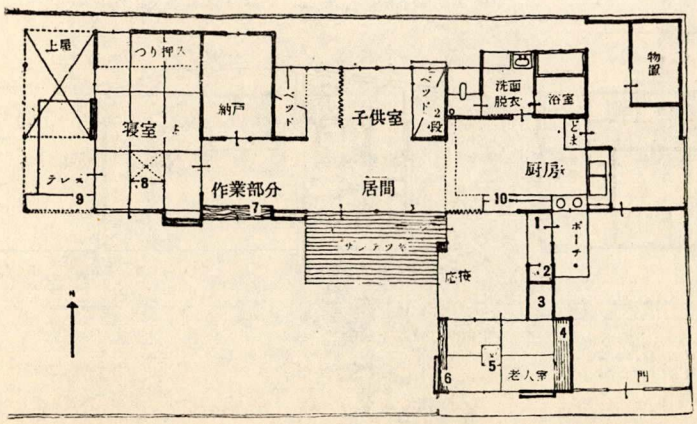
「ローコストハウスの実例について」

私の手許に木造と軽鉄筋コンクリート造等の研究例があります。いづれも一つの案でこの外にも優れた案がありますがしかし，どの研究も前に述べたように注意深く計画して，細かいところにまで工夫をこらしている点で参考になりましょう。

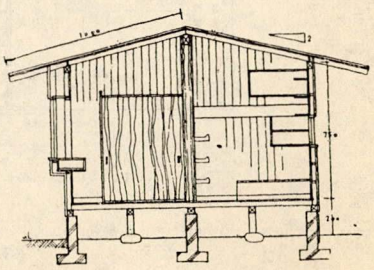
傾向として注目すべき点は，



外観透視図



平面図　　建坪…22.5坪・物置上家…4.0坪



断面図

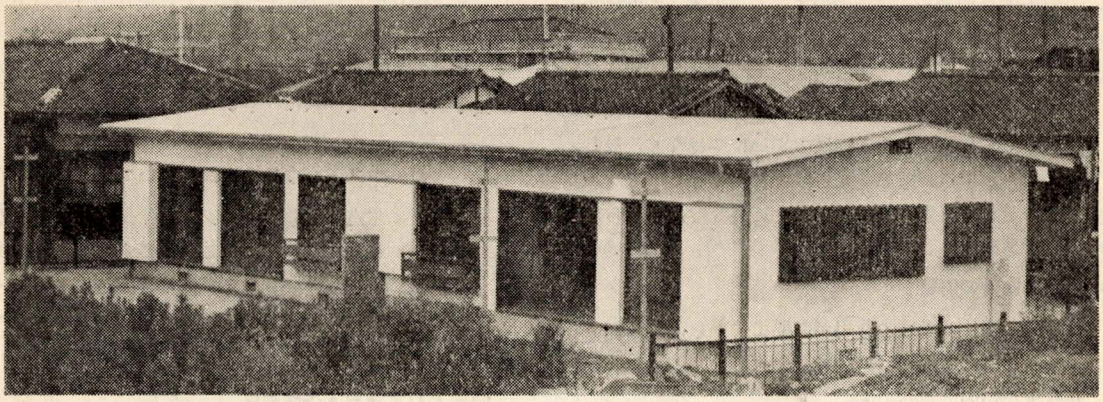
○木造の例

従来の2間又は1.5間の柱を用いないで，1間の柱によつて建物の高さを低くし，吊天井を設けないで屋根裏をそのまま見せるやり方をとつていること。

こうすることによつて，柱の長さは勿論ですが小屋材を節約し，壁の面積を減らしますので，使用材料費と手間賃を節約する結果になつています。

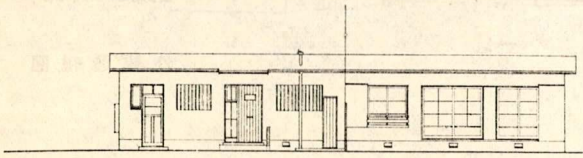
○コンクリートの例

耐震耐火構造を軽量のコンクリートでまかなう方法で，コンクリート量と鉄筋量が少くなるから木造と同様に材料費や労務費が節約されています。

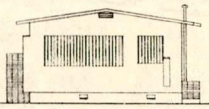


写真説明

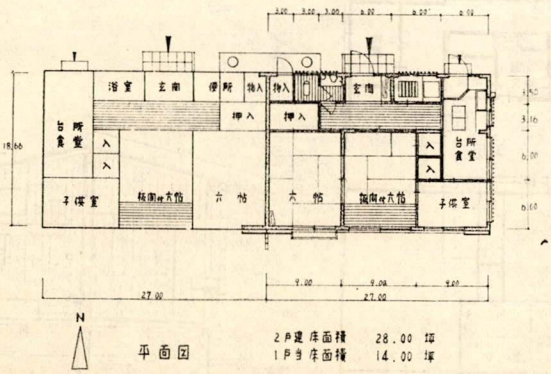
屋根・壁等の主体は鉄筋コンクリート造とし其他の間仕切は木造とする。屋根防水モルタル仕上，外壁は色モルタル刷毛引仕上，木部はオイルステイン仕上内部の居室部は天井サンライト素地仕上大津壁とし其他のサービス部分は天井木毛板打上漆喰壁とする。便所は改良式，ガス風呂とする。



北面図　南面図



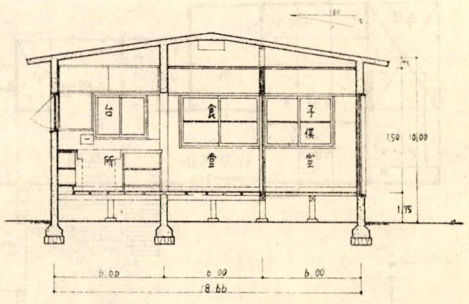
側面図



N

平面図

2戸建床面積　28.00 坪
1戸当床面積　14.00 坪



断面図

関西の住宅に

清家清

建築に限らないが伝統の問題と一緒に地方性の問題が考えられている。これは建築の場合，この何十年かの間の大義明分であつた国際性や，工業主義あるいは機械主義の反動として，考えられてきたように思える。それぞれの地方には，それぞれ地方的な特色をもつた建築があるべきだとされている。

明治政府が中央集権を強化してから方言などと一緒に地方色がうすれかけたのだが，戦後はますますその傾向がひどくなつて，東京の優越性が文化の面でも支配的になつてしまつた。

アメリカ南部ではよく "TEXAS AND UNITED STATES" ということばを聞く。テキサス一州にしても日本よりも大きいのだから，一州が独立した文化をもち，州の優越を誇らしげに語るのは，子供じみてはいるけれども当然なのかも知れない。しかしそれぞれの州，都市そういつたもの，例えばロスアンジェルスはロスアンジェルスの，シカゴはシカゴの，ニューヨークはニューヨークの文化をもつている。もちろんこの国でも，大阪には大阪のにおいがする。しかしその香りはだんだんうすらいできて，悪臭だけが残つている。建築だけについて考えてみても，関西のそれは一流でなくて二流の作品でしかない。数多くの一流の古建築にめぐまれた京都市民が，祇園通りに醜悪な高層の広告塔を建てて恥じない。私は東京の建築家が優れているといつているのではない。東京にも大阪にも負けないヒドイのもある。しかし，それにもかかわらず，東京の優位は誰も否定しない。地方と東京の差，ポテンシャルのちがいがますますひどくなつていくように思われる。これは東京がまた世界の田舎であつて，東京対大阪がニューヨーク対東京というような感じをおこさせないでもない。

日本と条件の似ている旧枢軸側の諸国にはこの弊害が少い。これは香り高いそれぞれのゲルマンあるいはラテン文化を基礎において，国民のひとりひとりがそれをよく認識もし，各都市それぞれが強い独立精神をもつているからだと思う。フランクフルトはフランクフルトであり，ミラノはミラノであつて，決してベルリン文化あるいはローマ文化に圧倒されるようなことはない。逆に首都を指導さえしているのではなかろうか。これ等の国々では，ひとつの都市へいくともうガラリと都市の景観（CITYSCAPE）まで変つてしまうのだから，すべてが東京文化，一辺倒になりがちな日本と比較して，日本人の事大性を嘆かないではおられない。

日本でもひとむかし前まではこれ程はひどくはなかつた。さらに明治以前の伝統を考えても，金沢には金沢の，倉敷には倉敷の文化があつて，こういう非戦災都市は今でもそういう雰囲気を残している。

それが，今神戸へいつても，大阪へいつても，東京と少しも変らない傾向のしかも二流の建築しか建つていないのは悲しい。

戦前は数多くのよい住宅が阪神間に建てられもし，そうした住宅がこの国の住宅建築の進歩にどれほど多くの刺戟を与えたかは計り知れない。

日本の建築そのものが欧米の建築の亜流であり，その裡で，大阪が東京の亜流であるというならば，また何もいう必要はない。しかし日本には，日本の気候，社会，材料があるように，大阪には大阪の気候，京都には京都の気候があることも否めない。それならば，大阪と京都と東京と，こう並べてみて，それぞれの異つた住宅がなければならない。

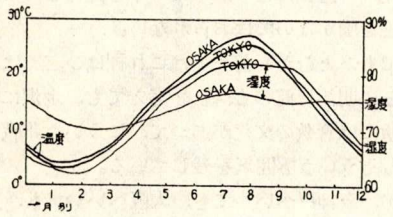
といつて住宅設計の方法を抽象的に片ずけてしまうことは容易なことである。しかし残念ながら私は阪神地方の住宅がこうあるべきだと具体的に断言する能力をもたない。先般開催された大阪府建築士会の講演会において私はルネッサンス的な方法をとることは避けたいと述べたが（大阪府建築士会報に拙稿があるから参照）最も安易な地方性を作家が執るならば，関西風に焼板や杉皮を外壁の仕上げに使つたり，大和地方や畿内各地に建つている民家のディテールを盗用して，それを使つてエレベーションを飾ることも亦地方性を表徴するひとつの方法であろう。

しかしこのような方法は創作活動をするひとの執るべき態度ではない。

この国に本当に根をおろすことのなかつたよい意味での都市ブルジョアジーが大阪にはまだいくらか残つているように思われるが，それも既に主体性を東京に奪われて，大阪に優れた建築を建てるだけの力を失つている。歴史的に考えても堺に発生しかけた近代都市のめばえが17世紀のはじめに徳川幕府の完全な弾圧によつて崩壊した後は，大阪商人が江戸政府に対して，経済的な実権だけを握るようになつた。その間が大阪文化の黄金時代であつたといえよう。

東京の巨大都市化は交通費の家計に占める割合が大きく，都市悪のひとつに交通難が挙げられているが，関西では優れた私鉄網とその経営の優秀さの故に阪神間のようなよい BED TOWN をつくり出している。

関西のよい居住条件に比して，住むに，こんな不愉快なところはないと思われるのが東京で，気候を比較しても判る。



住宅環境としての関西は東洋で一番よいといつても過言ではあるまい。特に日本第二の産業都市大阪の BED TOWN になつてしまつた六甲南麓は住宅地として特に優れている。

関西の電気鉄道の会社が大劇場（宝塚）や，野球場（甲子園）を経営して，市民も会社も何等かの受益者であるというような例は誠にうらやましい。多分，世界にもその類をみないよい企画といえよう。

これは一鉄道会社の企画だけではできないのであつて，東京においてもこれを真似た鉄道会社もあつたが，市民の支援がないから現在では成功したとは思えない状態にある。私はこのような政府や権力に頼らないで企画し成功させることのできる庶民層を持つているのが関西の強さであることを信じたい。

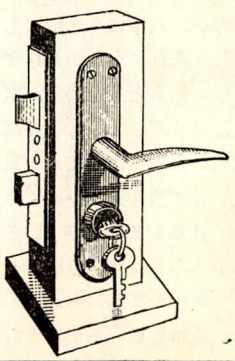
優れた庶民の住宅を，官給でなくつくり出すことのできるのが大阪の強さであると信じていたい。

それにもかかわらず建設省の標準設計でどこもかしこも同じアパートを建てたり，祇園に見るに耐えないような高いだけの建物を建ててそれに何も，ものいいをつけない，庶民の気の弱さを何とかしなければならないのではなかろうか。最近関西へ来ると東京語の語彙で話す人に会うことが多い。東京語とて標準語ではない。建築も東京のが標準ではないと思う。大阪弁で近代建築が語れないことはないはずだのに。あんじょうやっておくんなはれといいたい。

私は京都で生れ，少年時代を神戸で過しただけに，郷愁をこの小論に託し，関西には関西の地方性があり，それを生むのは関西の建築家，創ることは夫子自らが為さなければならないということを強調して擱筆する。

（筆者　東京工大教授）

TRADE YALE MARK
世界のエール錠前
米国エールエンドタウン製造会社
関西販売代理店
株式会社 菅商店
大阪市西区南堀江通三の二〇
電話 ㊿ 7 3 7 1 ～ 3
支店 福岡・名古屋



住宅の通風と換気

石　原　正　雄

序　風というものは変動するもの，不規則なものと普通には考えられている。“風のように”ということはとらえどころのないもの，あてにならないものを意味している。しかし他方，永年住みなれた住宅については，どの場所が一番風通しがよいかということを我々は経験的に知つている。これは風がでたらめなものでなく最も頻度の多い風向・風速の範囲があることを示すものである。勿論それが土地により，場所により，住いの内の位置により異なることも知られている。しかし住宅の設計をする際に，予め開口の位置，大きさ，数などにもとづく通風の程度を知ること，即ち通風の評価をすることは，開口に対する多くの要求をにらみ合せて設計する現在の設計過程を合理化する上に有効なことであるが，なかなか容易なことではない。地域性，住宅周辺の条件（建てようとする住宅が逆にそれに影響を及ぼすことを含めて）住宅全体と空の関係，といつたいわば外部の条件と更に室の形・大ささ，開口の位置，大きさ，数，開口の開閉機構や附属物，室内の物体等，数えあげればきりのない程の内部条件がまた互いに関連しているわけで普遍的な計算方法を求めることは大変なことである。従つて通風・換気に関する研究は個別的なもの，類型的なものに限られてきた。特殊な工場，教室，アパートなどである。しかし他方では普遍的な法則を目標に夫々の条件の影響を検討している基礎的な方向もあるが，現在ではまだ2・3の条件の分析に過ぎず綜合的結果には程遠い。以下にはこれまで得られた結果と将来のプログラムについて概観してみよう。

自然風と設計風

風の吹き渡る田甫の面をみていると，ところどころ稲の一群がかたむいて模様を作り，それが動いて行く。これは風速の大きい空気塊の存在を示すもので，風の息といわれるものである。自然風は地面，物体に関する熱的原因と機械的原因とによつて種々の大きさの渦とみなされる空気塊を作る。夏の昼間は特に活潑である。従つてある位置で風速・風向を忠実に測定すると時々刻々に変動する値がえられる。しかしこの記録はそのまゝでは役にたたない。建築物の換気・通風の目的に対して適当な整理をしなければならない。現在では各地の気象台・測候所の資料（ロビンソン風力計により定時前10分間の平均及び1分間の平均風向）を利用して適当な整理をしようという段階にある。これは課題の1つである。風速をダインス風力計や熱線風速計によつて測定すると風の周期と振巾が種々記録される。これらの大きさは気象によつて変るが，数秒から数分に亘るいくつかの周期が重合されており，なかでも数十秒の周期の風は一吹きしてはやみ止んでは一吹きする“一陣の涼風”として感ぜられるもので，通風・換気の点から重要な役割を持ち，人工風ではえられない爽快さはこの周期性のもつ刺戟によるものであろう。また瞬間最大風速は平均風速の1.3～1.7倍であつて一般に1.5倍をとつている。風の息は換気の効果を一定風速の場合に比較して大ならしめると考えられ，この方面の研究もあるが未だ一般的なものとはいえない。

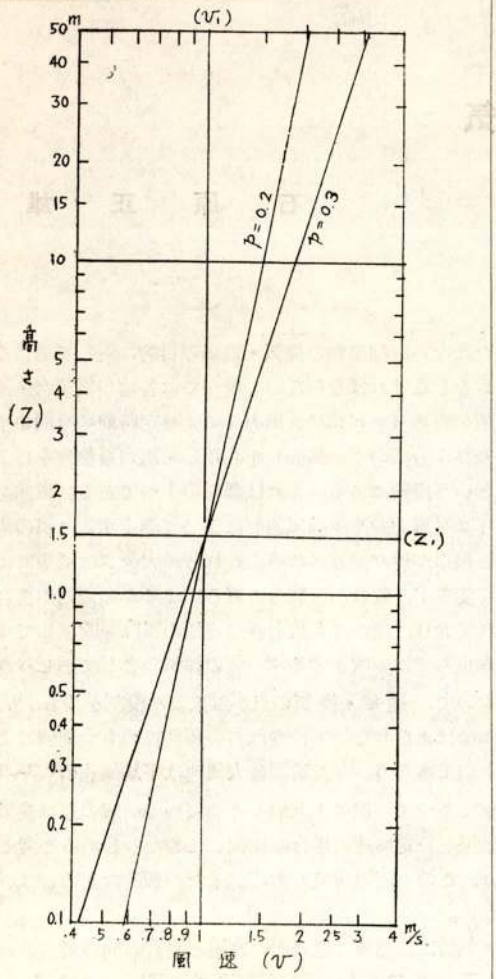
一般に自然風は地表面の摩擦と垂直方向の気温の分布によつて，垂直方向の分布を持つている。今高さ Z_1 の風速 v_1 を規準風速とすると一般に高さ Z の点の風速 v は

$$v = v_1 \left(\frac{Z}{Z_1}\right)^p \quad \cdots\cdots(1)$$

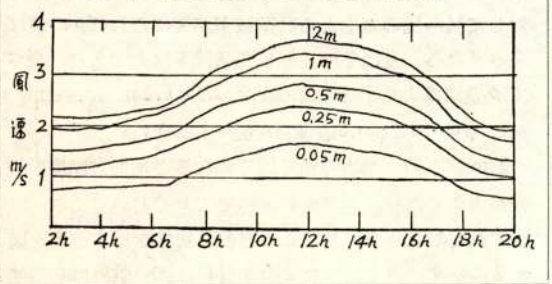
で表される。p は通常の気温の逓減率 0.55°C/100m に対して¼～⅕の値をとる。逓減率が大になれば p の値は小さくなる。夏は冬に比較して逓減率は大であり，従つて p の値はより小さくなる。今 $Z_1=1.5$m，$v_1=1$m/sec，$p=0.2$及び0.3の場合を図—1に示す。

数m以下の，地表の極く近くになると地面の摩擦の影響が大きくなり，地表面の状態で大きく変つてくる。牧場で測定した高さに対する風速の日変化を示す一例を図—2に示す。以上述べたような資料は広い敷地に立つ建物，あるいは孤立する高層建築には適用されるが，その他の場合にはあてはまらない。都市では建物と同程度の渦が発生し建物の間は風向も風速も上空のそれとはかなり違つてくる。その関係は複雑であるが垂直分布と乱れを綜合して簡単に1つの低下率で表すことが考えられ

図—1 風速の垂直分布



図—2 高さに対する風速の日変化



る。気象台風速に適用すべき低下率は建物の高さと間隔とにもとづくもの，あるいは建蔽率にもとづくものがある。一例を表—1[2]にあげる。

表 — 1

建物の間隔(D)と軒高(H)との比 D/H	風速低下率
5.0 以上	0.8～1.0
4.0	0.7
3.0	0.6
2.0	0.5
1.0	0.2
0.5	0.1

設計用風速・風向として，ある土地に対して1つの値をとることは，風のように変動の激しいものに対して必ずしも適当な方法ではない。何故なら最多風向の風速は他の風向に比べて低い場合もあるし，また設計の他の条件から最多風向の方位に開口をとることが出来ない場合もあるからである。従つてこの理由と更に通風量や室内風速を統計的に表すことによつて通風の評価を普遍的なものにすることが出来るから，設計用風速・風向はそれらの頻度分布の形で表しておく方が便利である。しかし季節はともかくも詳しくとれば毎時についてその風向頻度分布と風速頻度分布を表すことになり，大変な資料となり，使用するためにはかえつて不便である。このまとめ方については2,3の提案があるがそれを図—3a及び3bに示す。3aはwindrose typeであり，一見して最多風向が理解されるが日変化は明かでない。各時刻毎にとれば一つの土地で24コの図になるが，夜間の変動は少いから21～24時，及び1時～6時の2コで示し，昼間は，3時間毎の4コ程度，計6コの図で表せば充分であろう。代表時をとるなら，6(3)，9，12，15，18，21(24)時の6コでよい。

なお中央の円はその半径が静穏（0.4 m/sec 以下）の頻度を示すものとする。%をよみとるためには横軸に風向をとり縦軸に頻度をとつたCoordinate typeにした方が便利である[3]。次に3bはCoordinate typeで横軸に1日の時刻をとり，縦軸に頻度（%）をとつたもので，これは各風向について16コ出来る。しかし通風の場合には相対する風向をまとめてよいから（例えばNとSは一緒にする）8コ，更に頻度の極く小さい風向は除外することも考えられ，やはり6コ程度に整理される。abを通じて風速のrangeを定めることも問題であるが，やはり5～6部分位に分ける程度でよいと思われる。

通風量の計算

通風量の計算が出来れば，室内の風速分布は分らなくても通風の評価には役立つ。今，図-4aに示すように風上窓i，風下窓Oがあつてその間にn個の間仕切開口があるとするとその通風量Qは次式で表される。

$$Q=\frac{A_l}{\left\{\varphi_l+\sum_{p=1}^{p=n}\varphi_p(A_l/A_p)^2+\varphi_o'(A_l/A_o)^2\right\}^{1/2}}(C_l-C_o)^{1/2}V.\cos\alpha \quad \cdots\cdots(2)$$

ここに

A_l, A_p, A_o：風上，間仕切，風下窓の面積（m²）

φ_l, φ_p, φ_o'：風上，間仕切，風下窓の抵抗係数
但し $\varphi_o' \fallingdotseq \varphi_o+1$ で φ_o は風下窓の縮流のみによる抵抗係数

C_l, C_o：風上及び風下窓の風圧係数

V：屋外自由風速，気象台風速に低下率をかけたもの（m/sec）

α：窓面の法線と風向とのなす角

上式は開口が直列に結合された場合であるがもし1つの間仕切開口が n' 個に分れている並列結合の場合（図—4b）は

$$\frac{A_1'}{\varphi_1'^{1/2}}+\frac{A_2'}{\varphi_2'^{1/2}}+\cdots\cdots+\frac{A_n'}{\varphi_n'^{1/2}}=\frac{A_p}{\varphi_p^{1/2}} \quad \cdots\cdots(3)$$

となる n' 個の開口と等価な1つの開口 A_p を考えることが出来る。いま考えている間仕切より風上開口までの距離が長い場合には，一般に $\varphi_1'=\varphi_2'=\varphi_n'$ となり A_p が各開口の面積の合計になれば，即ち $A_p=A_1'+A_2'+\cdots+A_n'$ なれば $\varphi_1'=\varphi_2'=\varphi_n'=\varphi_p$，結局，抵抗係数の等しい開口が並列している場合は各開口面積の和に等しい開口とみなしてよい。

風 圧 係 数

流れが物体によつてせき止められ，その速度が0になる場合には，速度のエネルギーはすべて静圧に変る。実際に速度が0になることは殆んどないから速度エネルギーを表す動圧のうち静圧に変る割合をもつて表すと便利である。この割合を風圧係数という。

$$p_s=C\left(\frac{\gamma}{2g}v^2\right)\fallingdotseq C\left(\frac{1}{16}v^2\right)\cdots\cdots(4)$$

ここに

p_s：静圧，建物外面に作用する圧力

C：風圧係数

γ：空気の比重（kg/m³）

g：重力の加速度（9.8m/sec²）

C は風上壁面に対しては正の，風下壁面，側壁面，では負の値をとり，その絶対値は0～1の範囲にある。上述の速度が0になる場合は $C=1$ である。C の値は建物の大きさ，形，風速，風向によつて変るし，また開口面が壁面の数十%にも及ぶ場合にはやはり変るが，実際に開口面積が壁面積の20%以上になることは殆んどなく，これ以下では殆んど変化なしとしてよい。従つて構造計算に使用する風圧係数をそのまゝ使用して差支えない。また略計算には $C_l-C_o=1$ をとればよい。

図 — 3a

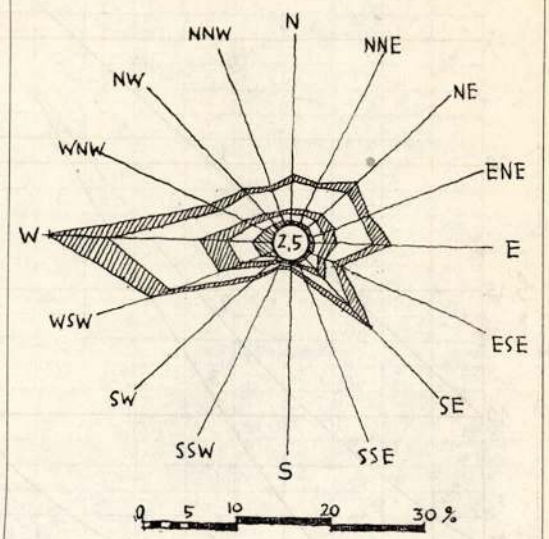
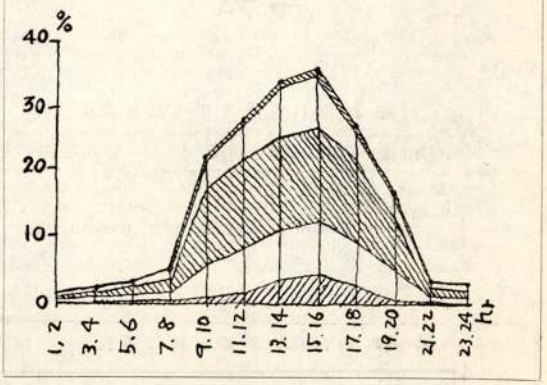
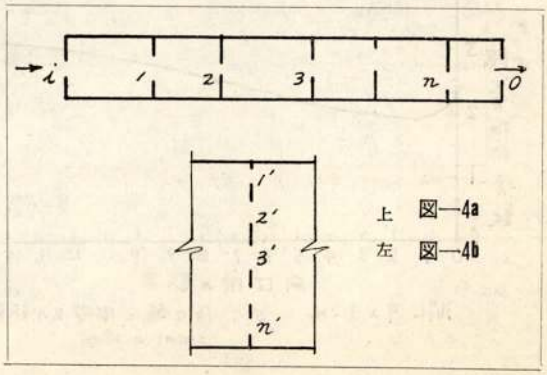


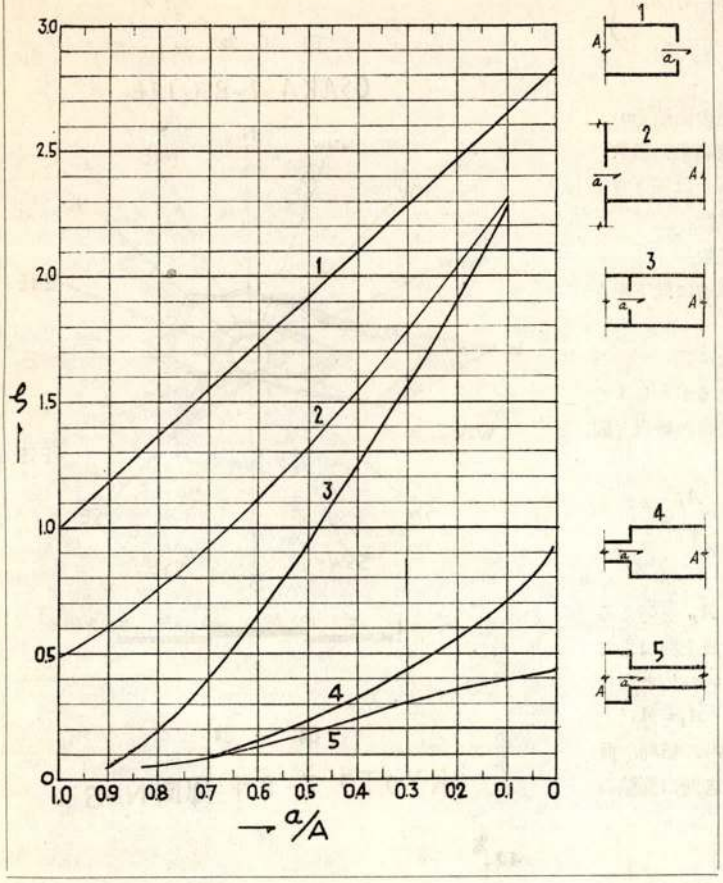
図 — 3b





上 図—4a
左 図—4b

図 — 5



表—2 開口周辺条件と抵抗係数

壁面に接する開口の辺数	な し	一 辺	二 辺	三 辺
綜 合 抵 抗 係 数	2.9	2.5	2.2	1.9

V=6m/s S=6cm 開口 6×6cm の場合

抵 抗 係 数

2式に与えた抵抗係数は開口に対するものだけであり，ダクトやパイプの抵抗の中での局部抵抗（形状抵抗ともいう。断面変化，曲り，等）に相当するもので，通風の場合にはダクトやパイプの内面における摩擦抵抗は室が著しく長くなつて流れが周壁に接するような場合を除いて，考慮する要はない。

抵抗係数とは開口の存在により，そこを通る速度圧の何割～何倍に相当する損失があるかを示す値で

$$\triangle p_r = \zeta \frac{\gamma}{2g} v_o^2 \quad \cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots (5)$$

で表される。ここに

$\triangle p_r$：圧力損失

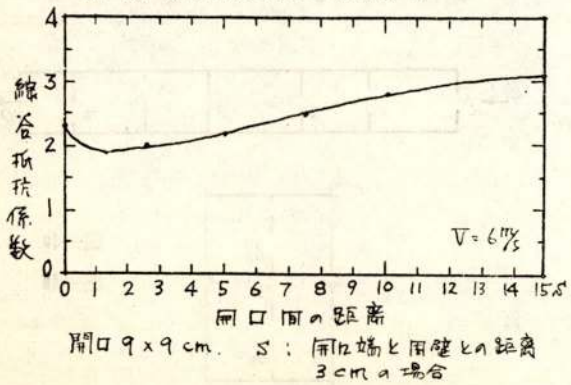
ζ ：抵抗係数

v_o ：開口風速

開口の抵抗係数も種々の条件，開口の断面の形，開口間の距離，流れの方向等により変る。断面の形による値を**図—5**に示した。図中Aは大きい断面の，a は小さい断面の面積を示す。開口の距離が窓の縁と周壁面との距離（窓台の高さ等）の10倍以上の場合，あるいは開口中心を結ぶ線が風向と30°以上になる場合は夫々の開口の抵抗係数を加えたものを綜合抵抗係数としてよい。

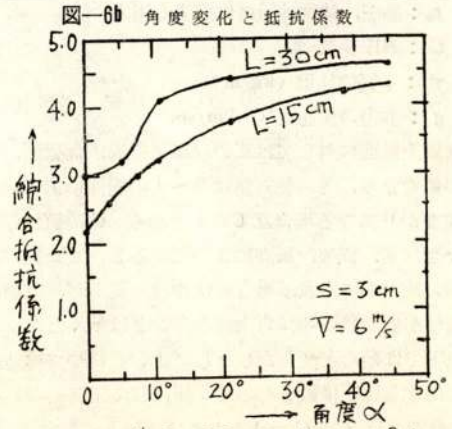
開口間の距離が短い場合の抵抗係数を**図—6a**に，開口中心を結ぶ線と風向とのなす角度（α）に対する抵抗係数の一例を**図—6b**に示す。図—6*a* から明らかなように距離が短くなると，その綜合抵抗係数の値は一個の開口の値に近づく。

図—6a 開口間の距離と抵抗係数



開口 9×9cm. S：開口端と周壁との距離 3cm の場合

図—6b 角度変化と抵抗係数



L：室長 開口 6×6cm の場合

開口の縁が周壁に接する場合，（住宅の縁側の開口，天井一杯まであけた窓など）は一般に抵抗係数は小さくなる。その一例を**表-2**に示す。以上述べたように普通の室と開口の寸法に対する抵抗係数は種々の条件によつて変り，配管設計のように簡単にはゆかない。しかし風圧係数と同じく抵抗係数もその平方根の値が通風量に比例するわけであるから，それ程厳密に決める要はない。しかし抵抗の法則をそのまゝ検討せずに使うことは危険である。いくつかの開口が短い距離で直列に並ぶような場合は殆んど一個の開口の抵抗係数とみなして差支えない。この場合に各開口の抵抗係数の和をとつたならば，大きな違いが出てくる。

室内に障害物がある場合は，そこに抵抗損失があるが，これはダクト内の障害物に対する抵抗係数を使用することが出来る。その一例を図—6c[4]に示す。また開口に格子，ルーバー等のある場合，その抵抗係数ζは[5]

$$\zeta=\beta\,(t/b)^{4/3}Sin\theta \quad \cdots\cdots(6)$$

ここに　t：格子，ルーバーの幅

β：格子，ルーバーの形による係数　図-6d 参照

b：格子，ルーバーの間隔

θ：図-6d に示す

上式は α(図示)$=0$ の場合で，他の場合についての1例は**表-3**に示す。

表—3　$\theta=90°$　$t/b=1/1.7$ の場合の ζ

格子の種類	矩形 l/t				円形	流線形	チマキ形	端部半円形 $5t$
	2.5	5.0	7.5	10				
$\alpha=0°$	1.13	〃	〃	〃	1.13	0.35	0.42	0.78
30°	1.81	1.46	1.53	1.62		0.22	0.68	0.71
45°	2.72	2.05	2.32	2.12		0.67	1.29	1.29
60°	4.26	4.26	3.43	3.88		1.84	3.05	2.81

室の隙間は自然換気の主な経路になるが，その抵抗係数は普通の開口より一般に大きい。

隙間の抵抗係数は，パイプやダクトの寸法の小さな，二次元的なものと考えて，綜合抵抗係数を求めることが出来る。今，綜合抵抗係数をξとすると

$$\xi=\Sigma\zeta+\lambda'\frac{l}{d} \quad \cdots\cdots(7)$$

ここに　ζ：局部抵抗係数，下表参照

λ'：摩擦係数で風速，管の粗度により変る。下表参照

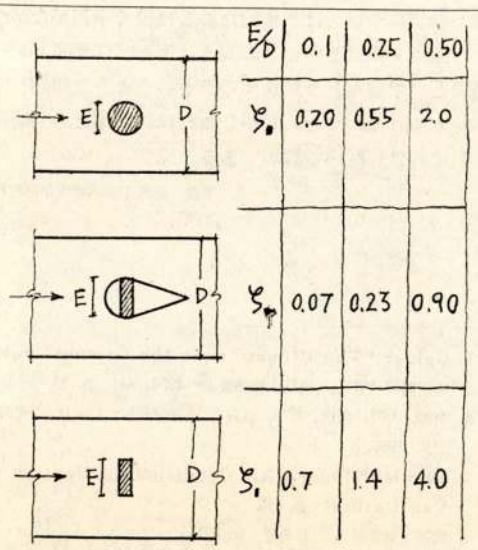
l：隙間の奥行（mm）

d：隙間の巾（mm）

λ'の値（木面，鉋中仕上）					
風速m/sec	1	2	3	4	5
λ'	0.3	0.15	0.1	0.075	0.06
ζ の値（風速1～5 m/sec）					
直角曲折部		入口		出口	
2.7～3.0		0.3～0.5		1.0	

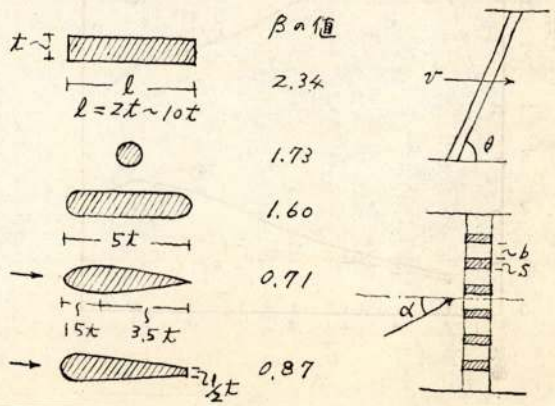
室内の風速分布

室内のある一点の風速は通風量に比例し，その関係は直線的比例関係であると近似的にみてよい。従つて前述の通風量の計算によつて，通風の評価は一応出来るが室内各点の風速がどの位になるかということは出てこない。室内の風速分布は前述の如く，室の形，大きさ，開口の形，大きさ，数，位置だけでなく，窓の附属物である庇，ルーバー，格子などによつても変つてくる。窓の開閉機構も影響をもつ。このような条件を含めた一般的な計算方法はまだ出来ていないが，これは模型実験例によつて一般的な性質を知ることが出来るので，2，3の例について説明しよう。実験した模型室は内法60×37.5×22.5cm の大きさで，開口は風上，風下窓に相当する7.5×7.5cm の寸法をもつている。（**図-7a**）開口の辺長をDで表せば8D×5D×3D の室である。開口面の法線方



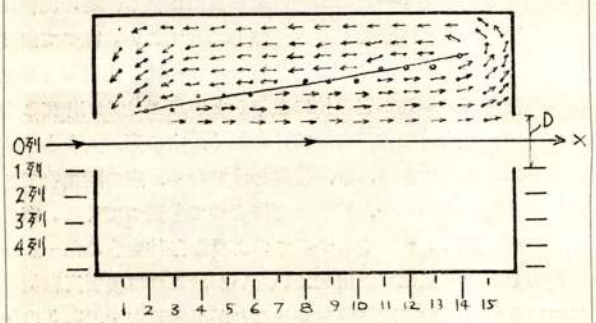
左：**図—6c**　室内障害物の抵抗係数

下：**図—6d**　格子・ルーバーの係数 β

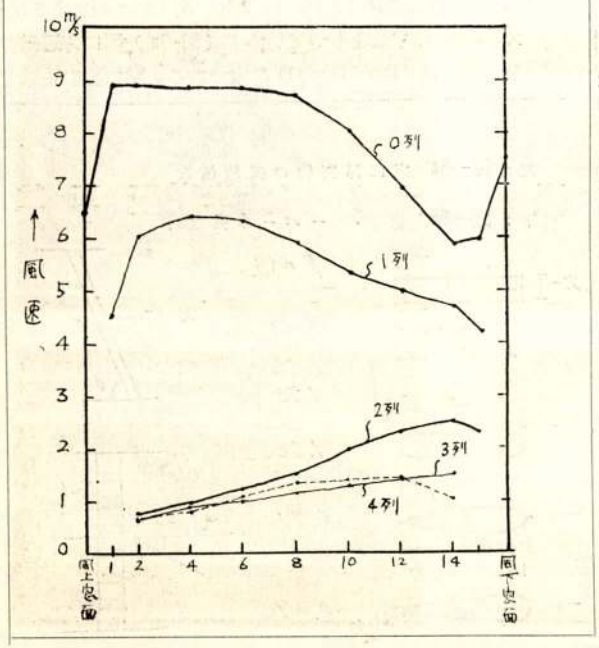


向から風を送つた場合，床上1.5Dにおける風速，風向の分布は図-7a 及び 7b に示すものであつた。中心線上の速度（0列）は規準と考えられるもので，図から分るように風上窓を入つた近くで風速は急に上り，そこから室中央までほゞ一定の速度を維持する。それ以後は漸次距離と共に低下して，風下窓近くで最低となり，再び風下窓面で急上昇する。（後にあげてある写真Aによつても理解されるであろう。）このように大別すれば4つの区域に分れる。第1の区域は開口の縮流にもとづくもので，主として開口の断面形によつてことなる。第2の定速の区域は，3.5D～6Dの長さを持つ。これは空気調整の吹出口にもみられるものでルイノルズ数（吹出口直径×速度÷動粘性係数）が小さい場合はこれに比例するが大きい場合（3×10⁴以上）では一定とみなされ6D～7Dをとるといわれている。開口の近傍（½D以内）を除いた中心線上の速度は吹出口からの jet の速度分布式を用いて大差はない。いま v_0 を中心線上速度とすると

図—7a 模型室の平面と風向の分布



図—7b 模型室の風向分布



$$v_v = K\frac{V_0}{X/D_0} \quad \cdots\cdots(8)$$

$K=4.0\sim6.0$

次に流れ（jet）の横断面の速度分布は確率正規分布になることが知られているから

$$v = K\frac{V_0}{X/D_0}\ exp\left\{-a\left(K\frac{Y}{X}\right)^2\right\} \quad \cdots\cdots(9)$$

ここに　v：jet 中の任意の点の速度

V_0：吹出口の平均速度

X：吹出口より流れの方向への距離

Y：X点より y 方向への距離

D_0：開口の直径，正方形ならその辺長

a：標準偏差にもとづく係数

この模型実験では2.3～3.0

これまで述べたところは，窓面に垂直な風向で，風速最大の線が直観して分る場合であつたが，風向がことなり，一般に開口の状態が複雑な場合については未だ処理する方法が出来ていない。ともかく近い将来には戸外風速，風向分布を知れば，室内の任意の場所の風速，風向分布を大体つかみうるようになるであろう。これが当面する通風の一課題である。

最後に煙風洞で観測した，数種の通風型の**写真**をもつて複雑な場合の大まかな傾向を知つて頂くこととする。煙風洞というのは二次元な室（高さと，奥行のみで室巾が殆んどない）とみられるもので，また速度は高くすることが出来ない。（高くすると乱れてしまつて分らなくなる。）実際はこの写真のようにきれいな線で流れるわけではなく，ひどく乱れているのであるが大体の傾向はこの写真から理解される。一般に流線の間隔がせまいところの風速は大で，広いところは小である。

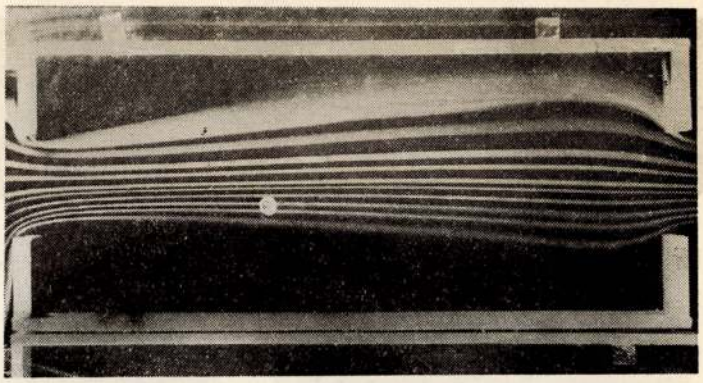
結び　住宅の通風・換気という題で書き出したが，一般的な通風の話をよせあつめたことになつてしまつた。また換気については具体的なことは書く余裕がなかつたし，通風・換気と住生活の関連（例えばプライバシーと通風との矛盾をどう解決するかというような問題　についてもふれなかつた。しかしこれは設計家との共同研究として残されている課題であると思う。(1956. 6. 23)

（筆者　京都工芸繊維大学助教授）

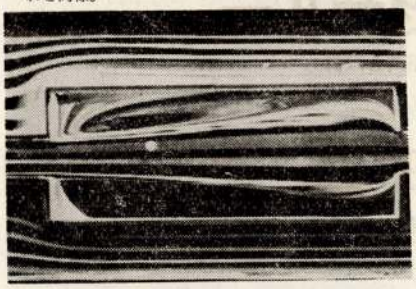
1. Geiger "The Climate near the Ground" p. 108
2. 勝田高司 "住宅の換気" 建築雑誌 1954. 8月 p. 22
3. 京都，大阪，神戸三都市の風向，風速分布については "建築と社会" 1954. 8月 p. 34
4. Carrier 'Modern Air Conditioning, Heating and Ventilating' p. 251
5. 機械工学便覧 第4分冊 p. 821

煙風洞で観測した数種の通風型

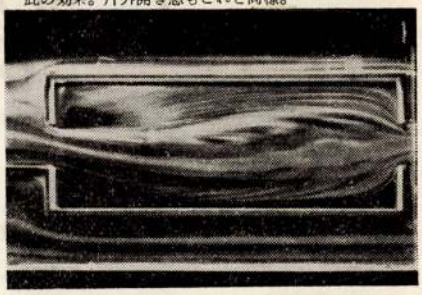
A 基本型
地盤上にある
平家建



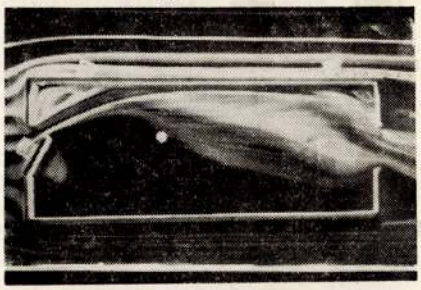
B 出窓型：風上窓での縮流は大きくない。外開き窓もこれと同様。



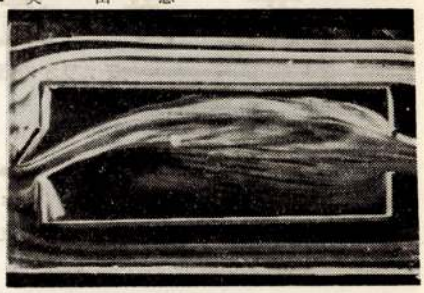
C 窓台のみ：あるいは逆にみれば窓の上端から突出した庇の効果。片外開き窓もこれと同様。



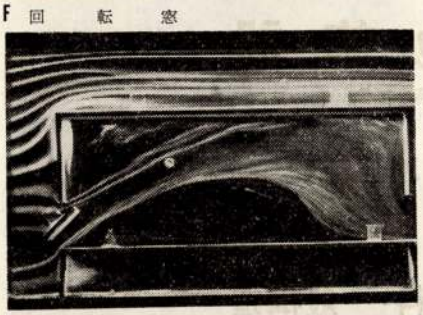
D ホッパー窓



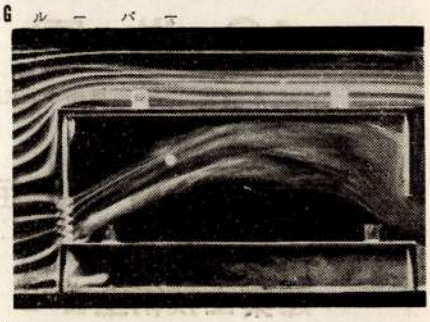
E 突出窓



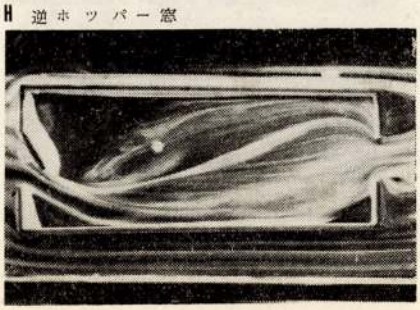
F 回転窓



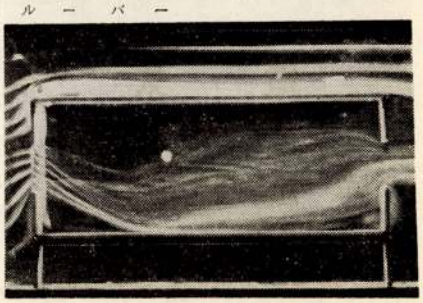
G ルーバー



H 逆ホッパー窓



I ルーバー



彰国社新刊案内

東京都千代田区平河町2　11・電 33 営業部　0293・2851　編集部　1745・4523・振替東京173401

新刊 **京都御所**

藤岡通夫著　本書は，世界に紹介するにたる日本住居文化の代表的な遺構である京都御所について，膨大な資料をもとにして，あらゆる角度から研究考察した大著作であります。
A 4変形464頁 特製　定価¥3600 書留〒200

ホーム・アクセサリー
（すまいの用具と設備）

桜井省吾著　新しいすまいはいろいろな設備が加つて始めて現代のものです。この本は家庭を豊かにし楽しくする生きたアクセサリーについて，判りやすく解説されたものです。
A 5 判168頁　上製　定価¥350　〒35

1. 一般詳細篇 I
現代建築の詳細　全3巻

中善寺登喜次著　本書は仮設・基礎・床・壁など，あらゆる建築詳細図を収録してあり，いずれも同一縮尺でメートル寸法を記入してある，すぐに活用できるデーターブックです
A 4 判98頁 クロース装函入 定価¥900〒100

西洋造園史
（ファラオの庭から戸外室まで）

針ケ谷鐘吉著　本書は，古代より20世紀初めまでの庭園の推移やその時代における庭園の意味をとおして，これからの庭園の在り方に示唆を与える一大著作として価値があります
A 5 判410頁　上製　定価¥1200〒100

35. 襖と障子
建築写真文庫　第2期全30巻

彰国社編　本書は　あらゆる建築空間に新たな脚光を浴びる襖と障子の多種の意匠を写真により収録したもので，建物の新築・改装には欠くことのできない写真図集であります。
B 6 判88頁　総アート上製　定価¥300 〒35

40. 遊園地施設
建築写真文庫　第2期全30巻

彰国社編　本書は，遊園地の諸施設を多種にわたつて，いろいろの角度から写真により具体的に展示したもので，これからの緑地建設に充分役立つものとして編集されております
B 6 判88頁　総アート上製　定価¥300 〒35

重版 **建築学大系 1. 住居論**

執筆は太田博太郎，渡辺保忠，吉阪隆正，浜口ミホと各々その専門分野を著した逸本です
A 5 判380頁　特製函入　定価¥950 〒50

建築士技術全書 3. 材料・一般構造

編集・森徹　好評のうちに，このたび第5版を重ねる建築士試験の好参考書であります。
A 5 判758頁　布装上製函入 定価¥900 〒50

電気冷蔵庫

桜井省吾・木村亥之助著　最後の冷凍法・冷蔵庫の構造を実用的に詳述した好資料です。
B 5 判370頁　上製函入　定価¥1,500 〒100

応用ラプラス変換

R.V.チャーチル著　洪四方次訳　本書はラプラス変換の応用についての最新の教科書です
A 5 判330頁　上製　定価¥650 〒50

最高の品質　最大の生産を誇る!

伊奈の
タイル・衛生陶器

Inaseito 印 附属金具

伊奈の鳩印衛生陶器には Inaseito 印附属金具をセットで御利用下さいます様おすゝめ申上げます。



本誌で見たと御報知次第カタログ進呈

伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電話常滑(代表)700
東京事務所　中央区西八丁堀2—8　電話築地㊺5261・5262

FUJI

最も進歩した建築には最も進歩した床材

アスタイル



新製品 ビニアスタイル が
使用される

藤森工業株式会社

大阪　大阪市西区土佐堀通1－1大同生命ビル709　電話㊹0225・7569
東京　東京都中央区日本橋通1－2西河岸ビル　電話㉗6432～5

MOR

NHN

日・米・英・独特許

ニッカナ
ドアーチエック





型状優美

故障絶無

日本金具製作所
ダイハツ工業株式會社

建築は生きてゐる。魂のある文化材

剝落絶無・亀裂防禦

ヤケンラス

信用と賢実を期し大量製産
備装建材工業・布施工場

気泡で出来た
吸音天井張
保温冷壁に

スロール

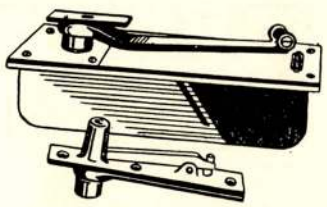
屋上の断熱と
防水工事の
一石二鳥

新案特許出願(山本武雄)

4分厚×2尺角　(9枚1坪重量1.1キロ)　8分厚　1坪分2.2キロ

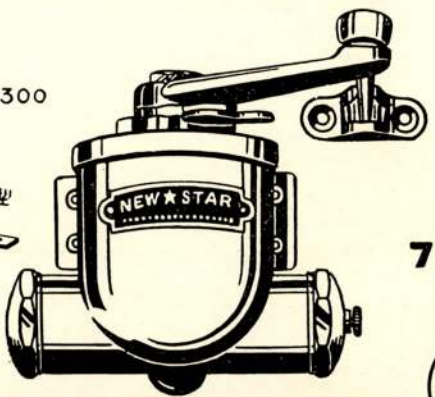
大阪(西)四ツ橋　株式会社 山本建材社　電(53) 2936—7 / 4518—9 / 2843

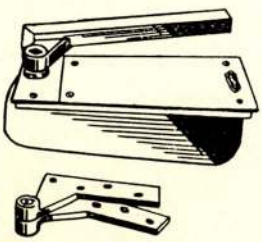
NEW★STAR



ドアーチエック

フロアーヒンヂ No.1300





フロアーヒンヂ No.1200



ラバトリーヒンヂ

輸出　ニューヨーク・ロスアンゼルス・マニラ・台湾　好評

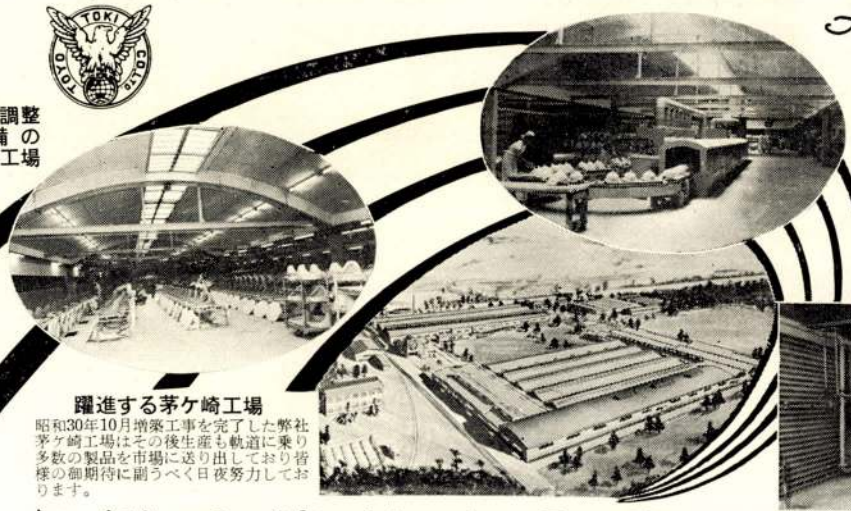
日本ドアーチエック製造株式会社

社長　出向井啓蔵　　前社長　出向井佐次郎

布施市横沼町三丁目十一番地　　電話布施1135

衛生陶器と附属金具

Toyotoki



温湿調整完備の成形工場

コンベアーによるクスリ掛作業場



輻射熱利用の金属板張トンネル窯（ドイツケラー式）

躍進する茅ケ崎工場

昭和30年10月増築工事を完了した弊社茅ケ崎工場はその後生産も軌道に乗り多数の製品を市場に送り出しており皆様の御期待に副うべく日夜努力しております。

東洋陶器株式會社

茅ケ崎　2105～8　　大阪営業所　大阪市東区伏見町５ノ３　TEL㉓ 4518 4519 1424

各地営業所　東京・名古屋・九州・広島・高松・札幌

ORIENTAL

ORIENTAL around the world

ASPHALT BLOCK

アスファルトブロック

"For Heavy Duty Floors & Pavements"



用途…橋梁用・プラットフオーム用及耐酸床用

厚サ20-25-38-50粍　巾 120粍 × 長サ 240粍

オリエンタルメタル製造株式会社

本社及工場	尼崎市長洲字稲川新田44番地	電話大阪㊃4947～4949
東京支店及工場	埼玉県北足立郡蕨町駅前	電話川口5978　蕨252
九州出張所	福岡県八幡市熊手町二丁目	電話八幡 723
東北出張所及工場	福島県郡山市外富久山町久保田142	電話郡山 267
名古屋営業所	名古屋市熱田区三本松通り2の35	電話名古屋⑧7674
延岡作業所	宮崎県延岡市東中川原町5059	電話延岡3632
岩国作業所	山口県岩国市今津川12	電話岩国 776

ORIENTAL

大阪府立図書館
新　　館

設計監理
　大阪府庁
　　建築部営繕課
施　　工
　株式会社　新工務所



位　　置
大阪市北区中之島１丁目27
構　　造
　鉄筋コンクリート３階建
建築面積
　82坪54　延面積220坪6





閲覧室

設備電気
　株式会社　紅屋商会
〃　水道
　山田工業株式会社
家具装飾
　大丸・三越
書　庫
　株式会社くろがね工作所
火災報知機
　能美防災工業株式会社



講演場

店舗と建築



店舗座談会
主催編集委員会

佐野　お忙がしいところお集り下さいましてありがとうございます。さて店舗の建築は専門的な要素が多いのでこれを一般の建築をやつている人にもわかりやすくしたいし，また別の問題として建築デザインが現在すすんでいる方向との調整を要するものがあると思う。そこで，“店舗と建築”というテーマで話していただければ幸いだと思う。遠藤さんに進行司会をやつていただきたい。

店舗の問題点

遠藤　それでは，店舗と建築というテーマで，これからいろいろとみなさんから御意見を承りたい。最初に引出役として問題点をしぼつてみると，

1. 最近の購売傾向からみた店舗のあり方
   つまり，最近の購売傾向は従来の値段本位の買い方から，デザイン本位の買い方に変つてきつつあるが，こうした傾向にそなえて店舗はいかにあるべきかという点である。
2. 商店の経営効果からみた店舗のあり方
   商店の管理上からいつても，また一坪当りの販売効果からいつても，合理的な店舗のあり方が考えられるわけで，こうした点についても…。
3. 立地条件からみた店舗のあり方
   商店は住宅を中心に，また交通の基点を中心に，あるいは都心に，というようにそれぞれ立地条件が異る。こうした立地条件の違いからみて当然店舗の条件も異なると思われる。こうした点についても……。
4. 業種別，商店街の形態からみての店舗のあり方
   取扱い商品によつて当然店舗の条件は異る，特にその商店のある商店街が日用必需品を主とする店舗で構成されているか，流行商品のような買廻品を主体とするお店が中心となつて商店街が構成されているか，例えば市場といつた場合の店舗はこれまた違つた条件が必要であろう。こうした点からみても……。
5. サービス施設からみた店舗のあり方
   最近の店舗は立体的になる傾向もみられ，またサービス施設も冷暖房などが漸次とりつけられて来ている。また，その使用材料においても，色彩においてもフンイキをかもすように心が配られているざつと，こうした問題点が挙げられるが，こうした点についてご発言ねがいたい。

商品の色彩傾向からみた店舗

長行司　うちの商品はくつ下で他の商品に対する批判は



遠藤繁儀氏



松田逸郎氏



白羽政蔵氏

できにくいが，大体小売屋の傾向として店頭台取引ということになつているから商品のバラェティが関係してくる。大阪の繁華街における状態はまだゆきとどいているとは考えられない。一般的に，これからは美しい，目を楽しませるようなもの，バックなどに出来るだけ楽しんで店に入つていかれる条件を小売店がもつてほしいと思う。

遠藤　くつ下のデザインを色彩からみて，どういう経過をたどつているか，それが建築の面にどうひきずられているか……要するに商品のもつ色彩傾向がどう店舗にあらわれているかについて…。

長行司　色彩について全国的に調査をやつたが，その結果，年令の差異がなくなつて全般的にアクセサリーとしてはげしい色の靴下を楽しんでいる傾向がみられた。これに対して，原色調のあり方というのではなくて，文化的な匂いの中にはげしさをもつ色合へと変つて来ている，これは「音楽」と同じではないかと思う。「音楽」と商品は同じ傾向をたどるといわれているが，ぴつたりしていると思う。色は原色的にあくどいのではなく，目立つはげしい色彩も分量的な問題において美しさを感じるようにならなければならない。

佐野　商品そのものの美しさと，かざりつけの美しさも問題になるのではないか。

長行司　くつ下そのものが美しくみえる条件にならなければならないわけだ。柄物の傾向としても一般メーカーが考えるような複雑でなしに単純美でなければならない。単的に美しく感じる商品ならば簡単に求められるといつた傾向にむいて来ていると思う。

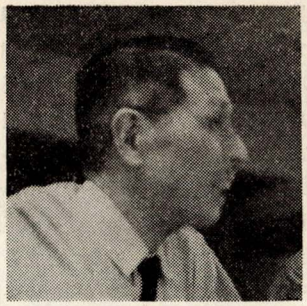
遠藤　これらは店舗を設計されるポイントであろうと思うが，これに関して店舗設計者である松田さんから伺いたい。

松田　くつ下という商品は大きさがきまつてしまつているから，いくら広げてみてもあれだけのものである。従つて，くつ下がもつている刺戟性はあれだけの大きさしかない。文化的なはげしい色を使つても，お客はくつ下ひとしなひとしなをみて入るのではなく，店頭に立つて，この店はくつ下の店らしいと感じるような，又そのくつ下が，オレの好みの品でありそうだといつた直感的な美しさを感じてお客は入つてくる。即ち，くつ下そのものをみて入つてくるのではなく，くつ下屋らしい雰囲気をみて入つてくる。そこで色彩の対比ということがとりあげられるが，この場合，建築が商品美を助長するよう考えるべきである。品物より建物が生きているという場合を特に警戒しなければならない。殊にくつ下のようにサイズが小さい場合，壁面の色彩的効果というものを考えなければならない。建築構成の手段によつて，少ない商品の豊富感を盛り上げることも考えられる。この間，私が広島でくつ下の小売店を設計した。商品は非常に少いがお客はたくさんあるといつている。ケースの中にバラッバラッとはづかしい位少なくひろげてあるだけで，ケースの上には全然商品がのつていない。しかし，真白の横にブルー，そして黄色といつた壁面やスポット灯光器は朱色といつた様な色彩効果が効いて商品が豊富に感じられる。原色調の低俗さを一部はオイルステインのパネルや煉瓦積などのしぶ色を使つて逃げた。

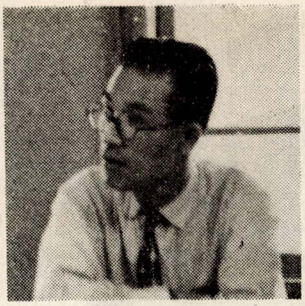
機能上からみた店舗のあり方

遠藤　商品と店舗ということにポイントが来たが，商品

と　き　昭和31年6月29日午後4時～6時半
ところ　建設会館（大阪市東区京橋3）
出席者　（50音順，敬称略）
遠藤　繁儀（大阪府立産業能率研究所商店管理部長）
蔭山　修良（株式会社ミヤコ社長）
白羽　政蔵（株式会社キンシ堂取締役社長）
長行司　武（株式会社蝶屋商会代表取締役）
松田　逸郎（マツダ店舗設計研究所所長）
八木　正喜（株式会社専門大店支配人）
聴き手
佐野　正一（編集委員長）
増田　多郎（編集委員）



薩山修良氏



長行司　武氏



八木正喜氏

もデザインであるという観点から，いろんな面を扱つておられる大阪駅専門大店の八木さんに，綜合商品としての意見をおききしたい。

八木　私のところはターミナルの店舗なので，心斉橋などとは趣きが違う。ああいう停車場では大部分の人が急いで買物をしたいといつた気持をもつているため，この店は何を売つているのかということを直感出来る店舗設計が必要なのではないかと思う。入口も出入りしやすいことが必要条件である。道路も迷路になつているのでなく直線型でないと困るし，店内の標示にしても，あそこに化粧品が，ここには本がというのがすぐわかることが必要である。お客さんも旅行者と通勤者がほとんどであるが，旅行される客は上得意ではないので，直感出来る標式，内容，入口，看板でなければならない。

遠藤　いま八木さんのいわれたことは，立地条件と店舗というのにあてはまるのではないだろうか。つまり機能からみたポイントを示されたと思う。つぎに楽器，貴金属を扱つておられる薩山さんからひとつ。

薩山　私のところは通りがかりの客が多いということと心斉橋の真中という立地条件から店内の通路を真直ぐにしたのでは，お客がすぐ出てしまうので，たまり場をつくらねばならない。そこで間口と奥行の関係が左右してくるが，この関係はある程度原則的にきまつたものだと思う。間口を広くすると奥に入つてくれないし，間口が狭いと又非常に入りにくい。以前に一度間口を半分にして2間半としたが，廊下をとおつて奥に入るような感じで客は全然入らなかつた。従つて適当な奥行というものが大切であるということが分つた。それからポスターと2階の高さであるが，以前に間口を7間，高さを9尺にしたところが客は奥まで入つてくれない。高さを12尺にすると奥行が短かく狭い店に感じるが客が入つてくれた。又，店内を明るくしたために商品のかげがうつるということも考慮しなければならない。

遠藤　今の問題にも解決点が出てくるが，同じような広い立場からキンシ堂の白羽さんにお聞きしたい。

白羽　ターミナルにおける店舗と都心における店舗を比べると，いろいろな商品はもう見飽いて来たが，なおより以上の要求度の高い人が集まるのが都心だといえる。都心では購売上より商品の流行性に重点をおいているため，ゆつくりしている，おちついているという方がいいのではないか。急速に物が買えるというより，“みられる”ということに重点をおいている。なるべく自分でみて，あわただしくない，それで自分の買物はさつさと出来るといつた特徴をもつている。これはインテリのよろこぶ買物の仕方だが…。それから，今の間口と奥行の問題であるが，黄金率よりもつと効果的な比があるのではないか。黄金率からわり出した坪数によつて間口と奥行の比を出すが，奥行が深くなつたりする欠点をどうして補つてゆくかが店舗設計者の役目でしよう。

商品と店舗のポイント

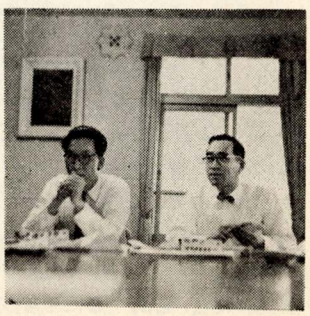
遠藤　ここで「商品と店舗」のポイントをしぼつてみると，

1. 商品のデザイン
2. 店舗の機能
3. 商品配置の面からみた店舗
4. 間口の広さと高さと効率，これをどうやつて調整するか。

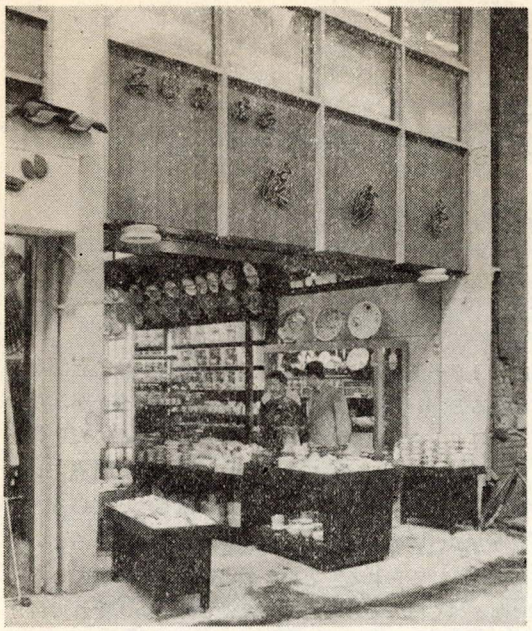
となるが。

間口奥行の広さと高さ，商品配置の問題

松田　「間口と奥行に対する公式があるのではないか」



右：佐野正一氏
左：増田多郎氏



ということだが，確かに，数字をはつきり示すことは出来なくても，設計がしやすくて，やつてみると店に客がよく入つてくれるという店がある。経験からいうと，関口と奥行が1対2である，一番やりにくいのが正方形である。八木さんのお説の通路を直線的にとつて，早いこと客を動かすということも，ミヤコさんのいわれる客だまりを作らねばならないというお話もどちらも正しいお説だと思う。専門大店のような百貨店形式の店の場合と，ミヤコさんの店の様な高級品を売る店とではお客の購売心理が違うのだから，これにあつたように設計しなければならない。要は，造型的な面白さよりも，客の購売心理を適確につかむことが必要である。心理学的に考えるといくら無造作に並べておいても客が必ず買いうる場と，買つてくれない場所がある。これはどういう場所かというと，建築は限られた空間を適当にしきるとか，いろんな物質を配置していつて，そこに調和点を見いだすということがあろうが，商品が主体として，その他の建築的素材で表に出てこない，空間をうめていつた場合，余白がのこる，この余白のあり具合によつて，（私はこれをスペィシングといつている）入りやすいとか入りにくいとかの感がでてくる。空間が多いとガラッとしていて入りにくい。空間が足りないと圧迫感を感じてゆううつである。市場とか食料品店などでは買物をする場を他から見られていても気にならないが，買廻り商品の場合は外側からみられないようにした方がよい。しかし外から全然みえなかつては警戒心をおこす。この店舗に入つたら，私はどこにおちつけるか，ということを直感させるように作る。これが構成美とあうようにもつていく。心理学では「場の心理学」とかいうらしいが，これは丁度，われわれが喫茶店に入つても真中には絶対座らない，というこの心理の応用である。どんなことでも買いやすい場をつくつてやることだ。お客の通路に事務的な面が露出していると，客はそれを避けて，その前を通らない。レヂが通路にとび出していたりすると，店内をぐるつとまわらないという心理がある。このために一番有利なのが間口1対奥行2であつて，1対3倍までが今までの経験ではお客を導入しうる限度であつて，奥行の深い店では，途中に島，つまりでつぱりを作つて，そこまでおびきよせておき，一息つけるといつた中継場所を設けて，又気分を新にして奥へ進むという風に段階的にわけて客を奥へ誘導する。10尺以上もの天井高になると，商品の展示に無理がある。高いところ（8尺以上）の展示商品は殆ど売れることがない。といつて，何もしないでほつておくと，店全体が下に沈んでみえる，教会やお寺に入つた感じがする。最近の若い人達を対照とした場合，お客の気持を安定させるより攪乱した方がよいのではないか。そのために天井の高さにも大いに影響がある。高すぎるよりむしろ低い方がよい。9～10尺が標準であろう。

遠藤　私の行つた実態調査の結果であるが，展示に45%，通路に45%，その他の附属箇所が残りの10%となつている。例を旅館にとつても，この比率があてはまる。通路に相当するところを少くして展示面（部屋数）に多くの比率を与えると，旅館の品がおちる，これは実態調査をしてもはつきり出ている。

設計者は，販売基点をどうもつか，ということを考えねばならない。販売基点を多くもつことを，設計家の方は，軽んじるという傾向がある。だから接客点が少なくなり，展示が中心となる傾向がある。

白羽　どうして販売人が客をつかまえるか，お客が又どうやつて買う物を店員にもつていこうかと迷う。買い廻り商品のお客はいろんなものをみてまわつているので，はつきり販売基点をもつて帰つてしまう。店員が並んでいるとよりつかない。誰もいないと，これがほしいと思うがかえない，従つて店員をどうして配置するかが問題だ。百貨店のような対面販売の場合はよいが，側面販売の場合はどこが販売場かわからない。わかると座れるようにしなければならない。対面販売の時は物がちらりちらりとみえたりみえなかつたりする販売場をこのまない。

遠藤　販売場はあることは必要だということを感じる。カウンターとケースを併用したようなステーヂの面が多くなる。これは接客点を多くもつということになるが，接客点をどこにとるかは系数的にはつきりしない

点がある。

白羽　ティーンエヂャーは座ることを嫌う。30を越した人には椅子が必要であり，立んぼのところは腰かけがないと困る。

八木　おちついて買物をしたいという場合と，呉服物，結婚調度品など多少，きいたり話したりして打合せて買物をする場合は椅子が必要である。又年輩の方は特に……。

蔭山　立つて買えるような式でない場合，カウンターが三ケ所か四ケ所ないと客がおちつかないように思う。

增田　間口と奥行の比率は商品によつてちがうのではないか。

白羽　高級品ほど奥行がある方がよい。高級呉服「ふじ」になると，はじめはぶらぶらみているが客は奥へ行こう行こうとする，奥に目かくしがあつて，客は知らず知らずにそこへ誘いこまれる。

松田　魚をとるしかけ網の調子ですね，私は店舗は泉水だ，川だといつている。

遠藤　おろし屋さんの場合，店舗の在り方はどうなりますか。

長行司　今まで拝聴した意見と同じだと思う，共通性がある。正面にカウンターがあつて，お客が入つてくると，監視せられている傾向があり，自由に買う場合いやがる。外からみても露出していないことも大切だ。これは現買がすたれて，かけ売の傾向があるということも一因している。

松田　同じらしいね，いくらここにおいても売れないというのがある。やはり買いやすいところに置かねばうられない。商品の質プラス値段ではなく，これにプラスXがあつて，これをつかむのが我々の役目だ。

長行司　3段目と4段目がよくうれ，上段はうれない。

增田　極端な話だが，問屋さんのショーウインドウは要るものか，要らないものか，前に洋服の問屋さんを設計したが，ショーウインドウは要らないという意見と，どうしても要るという意見があつたがどうか。

長行司　店舗の構成の在り方でしようね。明るい雰囲気



用語解説　**接客点とは**

客に物を売りうる場所。物の買いやすいコーナーに当る。接客点が多いということは物を多く売ることになつている。しかし，商店の方では接客点のつもりであつても，お客の方はそうとは感じない場合が往々にしてある。店舗設計に当つては，展示面と接客点とのコンビを絶対に忘れてはいけない。

販売基点とは

ある商品の特徴はどこにあるか，その特徴を客に知らせる point をいう。たとえば，このくつ下は丈夫で，半年はもつということができれば，そのくつ下は確かに他のくつ下より丈夫であるから容易に売れていく。この場合，丈夫であるということが，このくつ下の販売基点である。このように，商品にはそれぞれ販売基点がある。お客がこのネクタイは洗いが効くかということを知りたがる場合，よく売れているとか，流行色だとか，といつた返事をすることは的をはずれた返事である。この場合，洗いが効くということが販売基点なのである。販売基点は Selling Point の訳語。

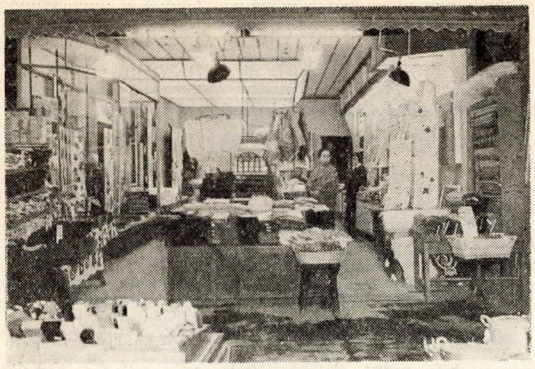
の中で，手にとつて，真近かに批判出来るのでなければ小売屋さんはいやがる。従つて陳列方法を考えねばならない。

白羽　ショーウインドウはあつた方がよいのではないか，問屋さんはいろいろあるが例をとると，カシヤマ，丸紅，伊藤万など，ショーウインドウを設けているが，あつた方がよいのではないか。某銀行でもこの頃やつている。美しいということは人間誰でも感じる心理なのだから。

美しいということは販売に直接影響はないが……装飾として。昔は，酒屋，足袋屋の標示をしたが，いくら大きなビルであつても標示はあつた方がよい。この間，一流の問屋さんによる，ニューデザイン展コンクールにこられた小売店の方が，展示法をみて，こんなのではよう売らない。問屋さんに来ると無造作に展示してあるのが気にかかる，この商品はこういう方法で売りなさいという指導性をもつたサンプルを示すといつた傾向へ進むべきだ。

設備の近代化・店舗の共同化の問題

遠藤　次の問題に移つて，冷房，暖房などの設備の近代化によつて，共同化，集団化，ということから共同販売への傾向にあり，商店街も平面的に横にのびたが，最近では，鉄筋商店街が出来つつある。立体化と平面化を考えた，これからの店舗ということを話していただきたい。施設，器具の面からも……。



八木　冷暖房施設は必要な条件であることを十分考慮している。ターミナルという環境では，過去3年間統計をとつてみたが，暑くて買物が出来ない。冷房をしてドアーをしめると，客が3～4割おちる。冷房効果からいうとこれでは高くつくので，ドアーは3年間明けつぱなしである。冷房効果をあげて，扉をあけておこうという意図で設備を考えている。

遠藤　ここに大阪の店と東京の店の違いがある。大阪は開放的であつて，もし東京であればドアーをしめても，売れ行きは変らないが。

八木　信頼して買えるという店は，ドアーがしまつていても売れるといえる。

蔭山　入口に戸をたてるということは35年間やつたことがない。厳寒には戸をたてるが，冷房は，あまり冷えこまないようにかるくやろうと思つている。暖房はやるつもりはない。

增田　冷房だけはぜひやりたいということはどうか，建築家として，予算の面からどちらをとつたらよいかという相談をよくうけるが……。

八木　どちらかといえば私は冷房の方が大事だと思う。

松田　暖房は原始的な方法でもやれるから。

白羽　簡単な暖房法を考えるべきだ。

增田　大ビルの設計の場合は暖冷房はやるが，小さなものはあまりやらない。

松田　キャビネットを使うとして色が一つにきまつているため，オフイスで使つているようなものを小さな喫茶店にもちこんだのではみられない。

佐野　入口の冷房ロスを減ずるためにエア・シャッターがあるが，かなり大規模な商店でないとやれない。小さな規模のものの設備としては現状ではまだ充分よいものがない。結局，小型のキャビネットをうまくつくることが必要だろう。

白羽　キャビネットを接客点におくとよい。

增田　購売効率のわるいところにおくとよいということになる。

八木　午前8時～午後5時までの統計であるが，通りがかりにちよつと入るといつた客が多いので，戸を閉めると網を張つていないことになる。

增田　例えば，都市計画で広くなつた道に面した店だが，とたんに客が入らなくなつた。従つて道路の広さなどは非常に関係があるのではないかと思う。

白羽　交通量からみると，心斉橋筋はもう一間広くしたい。普段はあれでよいが，何か事故が起ると困るのではないか。

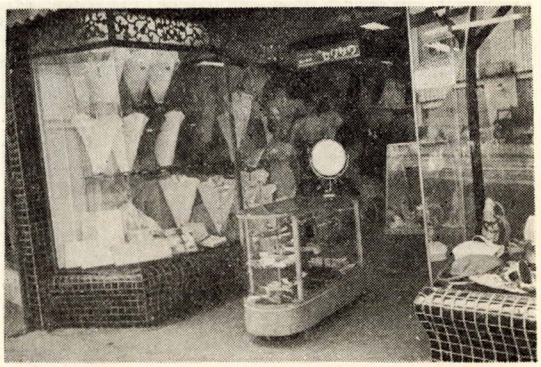
松田　交通量からみると，両方から引張ることになる。建築家にいいたいが，これから綜合店舗が多くなると思う。それには柱型が店舗のスペース上邪まになる。壁は少々大きくなつてもよいが。

增田　壁式構造があるが，商店には向かないと思う。

佐野　設備を近代化するためには，共同化しなければならない。共同化するには建築以外の事情がいろいろからむため，今のところ共同化は目標だが試作の段階を出ていない。

松田　柱をとるというのでなく，よく共同施設化されるとよいのだが。

蔭山　現状では共同化出来ない。先に建てた人ほど条件がよいという結果になつてしまう。今の店でも7尺と



用語解説

対面販売

ケースなりカウンターをはさんで，客と向いあつて物を売る場合。つまりデパートは専らこれであつて，これが販売のオーソドックスな方法になつている。お客も買い易いし，店員も売りやすい方法である。主として高級商品と買廻り品を売る場合に多い。

側面販売

別名，尾行販売ともいう。カウンターをはさまないで，客と立話の形式で物を売る場合。たとえば市場の食料品，八百屋，日常雑貨品などの単純な応待で販売のできる場合に用いられる。勿論，特例はある。



いう間隔をおいて建てている。一番端で2尺3寸であるが，商店街は間隔がないようにしてほしい。

增田　この点は技術的に解決がつくと思う。建築以前の問題になるのではないか。又，建築工事中は商売がとまるがこういつたことから片づけなければ，共同化は望めない。

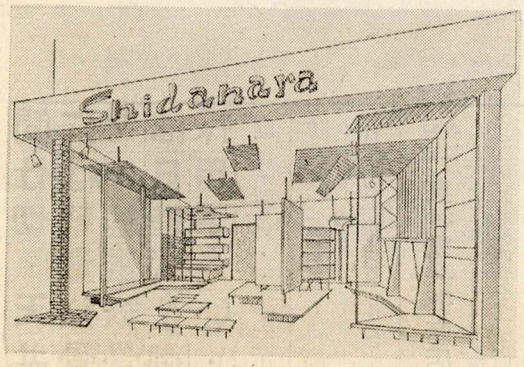
今後のあり方

遠藤　将来の傾向として対象を転化することだ。大阪の都心の調査で，特定販売業は2500人に対して1人の割合，飲食業では300人に1人，食品販売店では600人に1人，つまり毎日10万人が通つていても販売している個人の商店を考えると，2500人中2499人は買つていない。百貨店の場合はどういう比率になつているかをみると入場に対する販売系数は4～5割になる。従つて，客を横に流すより，集団経営の巾に入れた方がよいということで，これからの投資の対象としては当然近代化という方向へ進むべきだろう。小売店がいくら主体性を強調してもついてゆけないということになると思う。

增田　百貨店法でもやかましくいわれているが……。

遠藤　1棟建というか，共同店舗が必要になつてくる。

增田　政治的な問題だが，小売業者を啓蒙していくことから始めなければならない。百貨店法にしてもみんな知らないから。

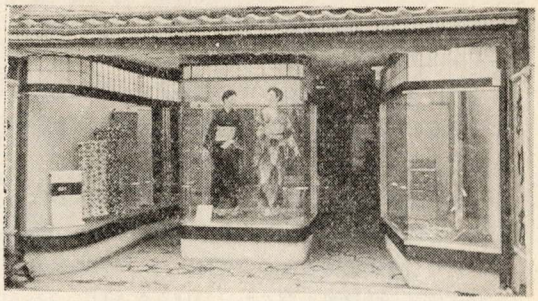


遠藤　90%が大資本におさえられているし，商うべき商品は決つている。だから，非常に回転の早い店舗ばかり出来つつある。

白羽　我々心斉橋人として，建築家さんに今の集団建築の問題，ひいては啓蒙の問題を考えていただくように願う。小売屋が殻にとじこもつていては困る。

增田　政治的に動かねばならぬので，建築家としてはなかなかむつかしい。

佐野　前提条件が複雑なことだ。法的援助も一緒に解決しなければならないし裏付けとなる商店設計に対する建築家の不勉強も問題になる。商店設計の体系的な構



成心理的検討が非常に大切である。現状では暗中模索しているだけで，これではいけないと思う。店舗専門家，建築家みんなの協力が何よりも必要だ。

遠藤　ぼう大な店舗を構えても仕方がない。5年という償却期間で，日掛け150円で5年間という場合，自己資金の50%は先に積んでおかなければ，商売によつては堪えられない店がある。先に積んでおけば負担が非常に楽である。

白羽　銀行は金を貸さないし，政府も中小企業者には貸してくれない。そこで私が思うには，建築家さんに建築会社のような組織を作つてもらつたらどうか。商人はそのような組織になれていないので，商人だけではできにくい。ぜひとも建築屋さんが住宅営団みたいな組織でもよい，このような組織をつくつて，店舗の集団化の建築にのりだせるようにしていただきたいと思う。

佐野　では，この辺で…。「建築と社会」が店舗を中心にした座談会をもつたのが始めての試みであるということは，そのまま店舗設計に対する建築の関心の程度をあらわしているともいえるのではないかと思う。いろいろ貴重なお話を承つてありがとうございました。今後も重ねて催をしたいのでよろしくお願いしたい。

（文責編集部）

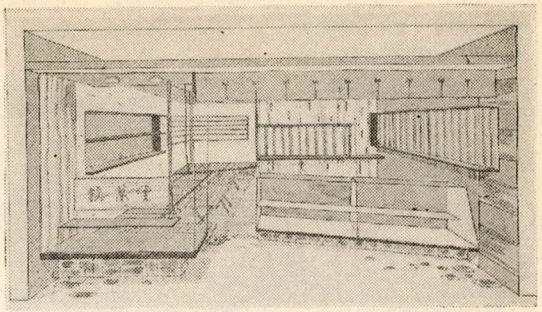
百貨店法について

全国150万の小売業者が結束したかいがあつて，百貨店法が6月16日から施行された。

百貨店の定義をみると「物品販売業（物品加工修理業を含む）であつて，これを営むための店舗のうちに同一の店舗の床面積の合計が六大都市で3000平方米，その他の地区で1500平方米以上あるもの」と規定している。また百貨店の店舗として計算される床面積は，物品販売業を営む部分で，事務所，演劇場，飲食店などは除かれるが，階段，道路，エレベーター，エスカレーター，客の休憩室，便所，屋上でも屋根があり物品を販売する部分，商品券売場，店内案内所などは床面積に計算される。

新規開店と，新増設について。「百貨店を営なもうとするものは，通産大臣の許可を受けなければならない」また「百貨店は店舗業者を新設し，床面積をふやすときは通産大臣の許可を受けなければならない」ことになつている。この条文が本法の中心である。ただしその際処置については中央に設けられる百貨店審議会の意見を聞かなければならない。また百貨店審議会が意見を定めようとするときはその店舗の所在地商工会議所の意見ならびに利害関係のある事業者または団体，参考人の意見をきかなければならない。それが中小小売業者の圧迫になるか，どうかの判断は，もつとも困難な点と思われるが，その判断の基礎として，次の諸事項がとりあげられることになつている。

店舗の所在地，周辺の消費人口，購買力，小売店数，売上額，新増設される床面積，売上予想額など。また開業，店舗の新増設がターミナル駅の構内である場合は，以上の要素のほかに，そのターミナル起点とする鉄道沿線の消費人口，購買力，小売店数，売上額など。



本会に寄贈いただいた図書

「軽量コンクリート構造」

浜田　稔著　丸善株式会社

「全国深井地質資料台帳」

中部及近畿Ⅱ　—国土調査—

以上，それぞれの著者より寄贈いただきましたことを厚くお礼申します。

杭

株式会社 武智工務所

取締役社長　福留並喜

大阪市西区西長堀北通四丁目一〇細野ビル三六号

電話新町㊿九九五〜九九八

間仕切・天井には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢

防錆完全・中空防音

合理的工法・責任施工

株式会社 奥村重兵衛商店

大阪市北区木幡町五六番地

電話北㉞四一三一〜四

会 合 便 り（6月分）

理 事 会

13日　4時——5時　於朝日ビル

出席者　竹腰会長　東畑副会長外4名　吉田兵庫支部長，鷲尾監事　事務局2名

議事　(1)朝日ビル借室料値上げに関する件　7月分から約1.2割弱の値上げ要求を審議の結果承認。なお現在借用中の書棚を，新会館へ移転の節に譲受けるよう交渉することにした。(2)委員追加委嘱の件　災害，住宅，会館設立の委員を各1名宛追加委嘱を決定。(3)事務局職員上期賞与支給の件　予算内より支給を決定。(4)入退会者詮衡の件　(5)その他　(イ)会勢審議会に関する件　事業委員会の検討案を承認決定。(ロ)支部報告承認の件　京都支部30年度事業報告，決算報告，31年度予算および中国支部30年度事業報告，決算報告を承認。(ハ)山陽技術振興会創立10周年式典に関する件　式典当日祝電を贈ることを決定。(6)報告事項　(イ)会館新設に関する件　建物買収手続完了したこと並に資金募集状況について報告　(ロ)5月会計報告　(ハ)5月事業報告並に6月予定事業報告。

編 集 委 員 会

9日　1時——4時半　於朝日ビル

出席者　佐野委員長外8名　事務局4名

議事　(1)9月設備特集号企画の件　小委員会の案を基に審議して掲載するものを具体的に決定した。(2)7月号経過報告。なお設備特集号について更に案を練るため，設備企画小委員会を開くことを決めた。

同設備企画小委員会

5日　4時——7時　於朝日ビル

出席者　佐野委員長外4名　事務局1名

9月設備特集号の企画について審議し，座談会その他本文記事などについての案を決定した。

14日　4時——6時半　於好文クラブ

出席者　石原委員外3名　事務局3名

座談会の実施方について具体的に審議決定した後本文記事に関しても更に審議を重ねた。

住 宅 委 員 会

11日　4時——5時半　於朝日ビル

出席者　逆瀬幹事外4名　事務局1名

議事　(1)逆瀬幹事から，前回討議された「都心団地計画の特質と問題点」について整理した資料を提出報告し，審議の上委員会の資料として編集委員会へ提出することを決めた。(2)石堂幹事から「都心団地計画の利点と希望事項」について報告説明があり，審議の上同じく委員会資料として編集委員会へ提出することにした。(3)欠席委員からの鉄筋アパートの都心建設に関する意見メモを報告して意見の交換を行つた。

法 規 委 員 会

7日　3時—5時　於大阪建設会館

出席者　中沢委員長外5名　府警交通課川畑係長　事務局1名

議事　(1)委員長選任の件　中沢委員を委員長に選任した。(2)大阪市の交通状況に関する件　特に府警交通課川畑係長の御出席を請うて，大阪市の交通状態の現状，将来の見透し，これに対する取締りの現状ならびに方針，駐車場設置に関する意見など詳細に亘つてお話を伺つた。その後各委員との間に質疑応答があつて，種々意見の交換を行つた。

事 業 委 員 会

11日　4時—5時半　於朝日ビル

出席者　鷲尾，岩崎正副委員長外9名　事務局2名

議事　(1)会勢審議会に関する件　過日の幹事会で決定したものを審議して，理事会に提出することとした。(2)7月の事業企画について　事務局より予定事業を報告し，審議の上実施することに決定。なお河村能舞台の見学は秋に延期することとした。(3)建築写真コンクール企画の件　具体案を政岡，村上両委員で検討願うこととした。(4)建築講演会の件　先般欧米を巡遊された森氏および生産性本部から派遣された建築関係者の方によつて講演会を開催することにした。(5)夏の見学と懇親の会の件　先の幹事会で決定した線でビールパーテイを開催することとし，事務局に於て具体的に進捗を計ることとした。(6)その他　見学会の会費徴収に関する問題，マナルス登山講演会開催の件などについて意見の交換をした。

同古建築見学小委員会

9日　2時—4時　於大阪建設会館

出席者　山本栄吾氏外2名　事務局2名

山本栄吾氏から古建築見学企画表作成について説明が

あつて，各自意見交換審議の上，大体本年に実施予定のもの，明年に実施するものなどを選定した。

建材審査委員会

サーモペン審査委員会

5日　3時——6時　於朝日ビル

出席者　若木主査外2名　事務局1名

出席の日本板硝子の担当者から更に詳細な説明を聴取し，必要資料の提供を受けて質疑応答の後，委員に於て意見交換審議の上，本委員会へ提出の報告書を作成した。

災害委員会

16日　4時——5時　於大阪建設会館

出席者　馬場委員外8名　事務局2名

地下掘鑿工法に関する災害防止座談会を終了後引き続いて委員会を開催し，座談会記事の処理方，会勢審議会委員の選任，次回委員会開催方法などに関して懇談を交わした。

請負工事約款委員会

5日　1時——5時　於朝日ビル

出席者　尾崎幹事外3名　事務局1名

連合委員会案の最後的検討をなすため開催。第1条から第17条迄を審議した。

11日　1時半——4時　於朝日ビル

出席者　尾崎幹事外5名　事務局1名

第10条より第20条迄を審議した。

18日　1時40分—4時半　於朝日ビル

出席者　尾崎幹事外4名　事務局1名

前回審議して修正した箇所の内一部を更に再修正した後，前回に引き続き第25条から最終条迄を審議し全文を完了した。修正案は直に連合委員会宛送付することにする。

教育委員会

設計コンクール合同協議会

14日　3時——5時　於朝日ビル

出席者　（小委員）益尾委員（審査員）足立委員長外6審査員　事務局2名

過日の工高生設計コンクール小委員会で審議したコンクール募集規定を，審査員を混じえて更に審議した上最終案を決定し，本委員会を提出することにした。

本委員会

21日　3時20分——5時　於朝日ビル

出席者　竹内委員長外7名　事務局2名

議事　(1)第2回工高生設計コンクール募集規定の件　小委員，審査員合同協議会で作成した募集規定案を審議してこれを決定した。なお希望事項として表彰式へ出席の入選者の旅費を半額補助するようにしたい旨を申し合わせた。又本年は募集範囲を関東，北陸にも拡げることを決めた。(2)工高生施工教育小委員会に関する件　犬束主査から小委員追加委嘱の希望申出があり3名を追加委嘱することに決定した。なお小委員会の進め方について，各委員の意見を求めた結果，現場実習の教育効果，実習に伴う傷害補償，手当などに関する問題，実習に関しての調査の問題などについて種々意見の交換が行われた。(3)造型に関する小委員会の件　委員長から浦辺氏に主査をお願いして，笹川委員と協同で企画を進めることになつた旨を報告　(4)その他　コンクリート技能講座に関する報告，施工技術教育小委員会の進め方についての意見交換などが行われた。

工高生施工教育小委員会

28日　3時——5時　於朝日ビル

出席者　犬束主査外5名　事務局2名

工高生の現場実習を効果的にさせるにはどうすればよいかということについて　(1)教育効果　(2)実施上の問題点　(イ)傷害補償の問題　(ロ)日当交通費など手当の問題　(ハ)現場選定の問題　(ニ)指導の問題　(3)実習に関する調査　などの諸点について意見の交換をして概要を取り纒めた。追て十日会の会合の席で本問題に関して同会会員と懇談協議することとし，犬束主査外2委員がこれに出席することとした。



座　談　会

編集委「住宅座談会」

22日　6時——9時　於天心楼

出席者　池辺陽氏（東京）外4名　佐野委員長　事務局3名

8月号企画の一として，東京から池辺陽氏を迎え，関西小住宅の特徴などについていろいろと話し合つた。

編集委「上野氏に関西小住宅の話を聞く会」

23日　3時半——6時半　於京都茶月

出席者　上野伊三郎氏，伊藤委員外1名，事務局1名

8月号企画のため，伊藤委員と増田友也氏が聞き役として，上野伊三郎氏から，関東と関西の小住宅の相異，ローカリティの問題など，色々と関西の小住宅についてのお話を伺つた。

編集委「店舗座談会」

29日　4時——6時半　於大阪建設会館

出席者　遠藤氏外5名，佐野委員長外1名，事務局3名

8月号企画の店舗建築に関する問題について，各種商品販売店の経営者の方々に御参集戴き，府能研の遠藤部長の司会で座談会を催した。色々な面からみた店舗のあり方，販売上からの店舗構造などについて種々有益なお話が沢山あつた。

災害委「地下掘鑿工法に関する座談会」

16日　1時15分——3時40分　於大阪建設会館

出席者　各建設業者より5名外に災害委員が横尾委員長外9名　事務局2名

災害防止の観点から地下掘鑿工法について，各建設業者から経験者の出席を請うて座談会を開催した。委員長の開催趣旨の挨拶に次いで，馬場委員の司会で開始した。軟弱地盤に於ける工事の難点，隣家に関する問題，湧水対策の問題など災害に関係ある問題のみでなく，一般基礎工事に関しても，経験に富む人々からの有益な事項が色々と語られた。

見　学　会

関西労災病院と灘公共職業安定所見学会

7日　1時半——5時　参加者50名

合憎の降雨であつたが，施工者提供のバスで先づ関西労災病院に向う。車中近畿地建の係員から大日本土木施工の労災病院の工事概要について説明を聞き，病院内を一巡見学する。歩行不能者の回復に資する設備など最新のものが採用されている。次いでバスは神戸に到り灘公共職業安定所の新築工事を見学した。同工事は砕石コンクリート打放し仕上げで，近畿地建が明るい建物で而もローコストであるよう，施工者浅沼組と共に研究を重ねて建設されたものである。見学後一同は，工事関係者を囲んで施工上の苦心を中心に色々と質疑応答を重ねたが当日は雨天に拘わらず仲々の盛会であつた。

毎日大阪会館見学会

15日　2時——4時　参加者150名

衆人の目を惹く建築で非常に多数の参加者を見た。岩崎事業副委員長の挨拶に次いで，日建設計工務山田部長の設計に関しての，また大林組藤本主任の施工についての概要説明があり，三班に分れて見学をした。地下8階地上9階塔屋3階延約4,000坪に近く，塔屋は全部ラヂオ放送用に使用されスタヂオも備えている。地下一階および地上一階は，店舗その他の特殊用途に，2階——9階が事務室となつている。三面総硝子で仲々明るい室々である。玄関ロビーの湾曲した階段が大変印象的であつた。竣功間際で突貫工事をしている箇所もあり，大勢の見学者で関係者には大変御迷惑のことであつたろうと恐縮の次第であつた。

米国建築士会訪日團歓迎晩餐会

5日　6時半——8時半　於大阪倶楽部

日系米人西本氏を団長とする米国建築士会訪日団の一行が来阪されたので，学会近畿支部と共催で歓迎晩餐会を開催した。お客様に夫人同伴者が多いので，当方も婦人会員を総動員した。定刻一行を迎えて控室で一同暫く歓談した後，食卓についてからも通訳を通じて或は直接に歓談が交わされた。デザートに入つて竹腰会長が英語で歓迎の挨拶をされ，これに応えて西本団長が日本語で謝辞と共に訪日の趣旨，米国建築士会の日本建築界に対する事業計画の一端などを述べられた。次いで賓客側，主人側と交々立つて所感を述べ談笑裡和気あいあいの中に会食を終つた。既に予定の時間も過ぎたが，一行はなお去りがてらに又暫く控室で一同と談笑，日米相互交歓の目的を充分果して散会した。当夜の出席者は米国側団長外23名，日本側竹腰会長，坂学会支部長外20名で，大変和やかな有意義な集会であつた。

強くて優雅な
リグノイド床
テックス
フローリング
気光式通風器
責任施工
田辺工業株式会社
大阪市西区江戸堀上通一丁目五　電話土佐堀㊹7437～9

関西建材協會(6月)會報

總務部会計部　4日　11時30分～1時30分　於朝日

室谷．金光理事外4名出席臨時総会開催につき協議5日全員に通知発送

宣伝部事業部　6日　11時30分～1時30分　於朝日

陳列場プランにつき検討

二葉屋裝備工業株式会社新社屋新築披露会　9日正午

本会より青木副会長出席代表祝詞を述べた外事務局長受付を応援した。

臨時総会　12日　11時30分～2時　於新道同和ビル

中村新会長，竹腰建築協会々長外顧問業界新聞社等71名出席中村新会長，戸田副会長，監事等新役員紹介後各位より夫々就任挨拶。会館建設に協力の件。旧展示場閉鎖に関する件。会則一部変更の件（役員半数改選）31年度収支予算更正の件各原案通承認諸報告修了した。

日建設計出品者総会　27日　2時～3時　於朝日

東日本化学外12名出席北浜3丁目に新設展示場開設につき発展的解散決議，決算並に備品一切建材協会に譲渡する事を可決した。

日　誌

9日　2時～3時　青木副会長，鈴木理事，大和事務局長は阪大入院中の向井会計副部長を見舞つた。

13日　5時～6時　青木会館連合委員と事務局長は東畑委員長，手島常務理事等と日建設計工務KKに榊氏を訪問進捗方を協議したが建材協会としての希望条項を附言した。

14日　11時～2時　船津会勢部長来会事務局長と大阪窯業KK庶務係長播本氏訪問入会の件につき依頼懇談，其他新会員募集方協議した。

20日　1時～3時　中山会計部長来会バランスシート伝票帳簿等関係書類検閲した。尚本日銀行並振替貯金用理事長印鑑を同部長に手交した。

25日　2時～4時　旭ガラス大阪支店は7月1日より毎日会館に移転するに当り，本日カクテルパーテイを催し披露あり，招待されたので事務局長代理参加祝意を表した。

すわらじ劇観劇会　**28日　正午～9時　於産経会館**

恒例によりKKケントク斡旋による観劇会は同社より500枚建材会に寄贈されたので，前年の例に従い，本会員全員に案内した外建築協会役員並建材協会に特に関心深い方面に案内し指定席券を送つた。当日11時～9時迄事務局長外事務局応援出張した。

日建展示場閉鎖解散につき　**30日　正午～6時**　本日日建展示場閉鎖解散につき出品物搬出開始鹿内主事立会夕方大半を搬出処理した。残りは7月7日午後完了予定。

近畿建築会館建設資金応募の件

予而日本建築協会並に本会より御願申上げた上記資金借入方の件は我々建材部門より別記の通り申込みを頂き所期の目的を達しました。茲に経過を記すると共に協力を頂いた各社に対し深甚の謝意を表します。尚この募集に当り多大の御苦労を煩わした委員各位に併せて御礼申上げます。　関西建材協会

近畿建築会館新設資金申込芳名

（50音敬称略）

	万円		万円		万円		
浅野スレート	5	関西ペイント	30	淡陶	10	不二化学工業	15
朝日石綿工業	3	亀井	5	ツバメ建材	2	福井外吉	3
朝日特殊合板	2	川上塗料	3	東洋陶器	30	藤森工業	5
朝日瀝青	5	川島織物	5	東洋々瓦	20	二葉屋裝備	10
旭化工板製造	5	河津裝飾	5	東洋リノリユーム	30	万年スレート	5
井上工材	5	久保商店	10	日新工業	10	マルエス工業	3
井上窯業	1	ケントク	20	日東商会	5	水島商店	10
石井建材	2	工英社	5	日東石膏	5	三舟窯業	3
石田建材	1	金剛商会	1	日本板硝子	50	明正社	3
浦谷商店	5	三友工業	5	日本金具製作所	1	室谷商店	10
梅本石油	3	新興建材	10	日本クロス工業	2	山木建材社	5
大阪建材社	10	田島応用化工	50	日本セメント防水剤	1	山崎産業	10
大阪コンベス	5	田中工業	1	浪速建材工業	10	矢橋大理店	15
大阪耐火ボード	10	田中風呂製作	5	浪速合板	5	安田レール	5
大阪生コンクリート	10	田辺工業	3	野沢石綿セメント	30	吉野石膏	10
大阪窯業セメント	50	田村商会	3	汎建製作所	3	淀川製鋼	10
近江屋興業	5	大和商会	2	東日本化学	20		
奥村重兵衛	5	竹林塗裝工業	5	平田タイル	5	73社	676万円
柏原瀝青	3	玉置産業	10	広瀬清三郎	2		

驚異的”製品

ライト L.B.S.型
ベネッシャンブラインド

株式會社ライト製作所

本社工場　大阪市城東区野江東之町三ノ七八　TEL(33)3638・1183・8592
東京営業所　東京都千代田区西神田一ノ八　TEL(29)8777・8487
梅田営業所　大阪市北区曾根崎中一丁目　TEL(35)3801
広島出張所　広島市稲荷大橋東詰　TEL(4)1506



通風日除、窓飾、暗幕と
三ツの目的に成功した　七ツのPATENTを持つ
ライトの素晴らしいベネシャンブラインドです

田中式 スカイライト

オペレーター　スチールサッシュ
ベンチレーター　設計施工

田中工業株式会社

本　社　東京都墨田区吾嬬町東4ノ122　電話城東(78)0870,0970
錦糸工場　東京都墨田区錦糸町1ノ25　電話本所(63)0790
小倉工場　小倉市鍛冶町1ノ1　電話小倉653　【出張所】川崎・名古屋・小倉・広島・札幌
大阪出張所　尼崎市南竹谷町2ノ89　電話大阪(48)545

信用ある技術と伝統の
アスファルト工事専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地
電話大阪(34)207～8・4836～7

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話豊崎㊲7575～7
京都市東山区大和大路大仏前・電話祇園⑥4945～6
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話元町④5892

電気・暖冷房・水道・衛生
設計施工

株式会社 大阪電気商会
会社 大阪暖房商会

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電話土佐堀㊹代表5231～6番
東京支店　東京都中央区銀座西二丁目一番地
電話京橋㊺6291～4番
名古屋支店　名古屋市中区南武平町二丁目一番地
電話中4491～5番
出張所　京都・神戸・岡山・広島・福岡・熊本
仙台・新潟・金沢・福井・札幌

水道・衛生・煖冷房・其他管工事
設計並施工
特許ルーフドレイン販売
（旧齋藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話本町局㉖代表4496～8番
本店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話28局6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢本局②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井2436
高松出張所　高松市中新町一〇六ノ三　電話高松5195

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 齋藤省三商店

東京店　東京駅前　丸ビル6階　676区
電話和田倉⑳3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話土佐堀㊹1568・1569・2594
札幌店　札幌・北四・西四（札幌駅前）
電話札幌②0010・0956　③4661

暖房・冷房・衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
電縫鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業株式会社大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁目壱番地・電話代表26局 2951 3076

本社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島
工場　川崎・鶴見・中津・六郷

煖房・冷房・水道・衛生工業設備
設計・施工

須賀工業株式会社

（旧稱　須賀商会）
大阪市福島区堂島浜通四丁目
電話代表福島㊺1171

東京支店　東京都港区芝田村町六丁目　電代表芝㊸7151
名古屋支店　名古屋市中区材木町一丁目　電本㉒2780
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル　電下⑤1989
神戸支店　神戸市生田区北長狭通二丁目　電三宮③5101
福岡支店　福岡市千代栄町　電東③1279

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社

西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通二丁目五一番地
電話福島㊺3416～3417番
東京事務所　東京都港区西芝浦三丁目一番地
電話三田㊺9371番

空気調和装置及衛生設備
設計施工

株式会社 建材社

大阪支店
大阪市北区中ノ島三丁目（朝日ビル九階）
電話北浜㉓1334～8
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区西万町二丁目一

煖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 栄興商会

取締役社長　中山俊人

本社　大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話福島㊺3391～4番
支店　東京都新宿区荒木町一九番地
電話四谷1324番
出張所　神戸市生田区下山手通八丁目三三
電話元町④5377番

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区堂島北町一四　㉞代表7031
出張所　東京都港区芝琴平町四〇　㊽8478・1470
名古屋市中区新栄町二丁目一　⑨1820～2
福井市宝永上町一〇五　②1596
広島市石見屋町五五　②1773
福岡市薬院大通一丁目一七　④1158

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
高砂熱学工業株式会社大阪支店
大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル7階）
電話北浜㉓1334～8・7359
本社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

各種電気工事設計施工
淺海電気株式会社
取締役社長　淺海正雄
大阪市東区北浜二丁目六九
電話北浜㉓5273－5275・4241
営業所　東京・神戸・岡山・小倉・札幌

電気工事設計施工
変圧器電動機電気冷蔵庫
電気洗濯機販売修理
工藤電気株式会社
大阪市北区太融寺町五四
電話・大阪㊱2891－5番
工場　大阪市西淀川区御幣島東一丁目二〇
電話淀川㊼3477・3478
営業所　東京・名古屋・神戸・岡山・広島

電気工事全般設計施工
中央電気工業株式会社
取締役社長　今村騰
本社　大阪市北区曾根崎上一丁目四一
電話　大阪㉔8131代表～4
営業所　東京・新宮・御坊

電気設備工事
設計・施工
朝陽電気株式会社
取締役社長　山本博三
本社　大阪市北区中之島三丁目三　朝日ビル6階
電話　大阪局㉖8851番㉓9531・1334・2351
工事部　大阪市西区土佐堀通二丁目八番地
電話大阪局㊹4595・7563

電気工事設計施工
株式会社野上工業所
取締役社長　野上清二郎
本社　大阪市東区北浜三丁目四七　電話北浜㉓770～3
支店　福岡市上東町十五　電話東③5010
支店　松阪市本町電話東13
出張所　東京・名古屋・神戸・直方・田川・大分

三菱電機製
NFノーヒユーズ分電盤　NFノーヒユーズ配電盤
螢光灯・モーター・変更器・冷暖房・エレベーター
三菱電機株式会社元扱店
株式会社立花商会
大阪市東区南本町二丁目四三番地
電話本町㉖0323・1575－9

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント特約販売店
樫野石灰工業株式会社
大阪支店
大阪市北区曾根崎新地三丁目五十三ノ一
（市電桜橋停留所前）電話大阪㉞1274～6
支店・徳島・神戸・姫路・東京

リグノイド床・床材料
製造・販売・施工
福屋工業株式会社
本店　大阪市西区南堀江上通一丁目卅一
電話新町㊸3426～7

HAYASHI PAINTING
CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL　大阪・船場㉕1756—7　東京・神田㉕1435

新案特許

強力壁体構築材

ハッポーラス

窓板不要　塗着安易
亀裂防止　耐震耐火
剝落皆無　価格低廉



営業所　大阪市南区周防町21（御津ビル内）
工　場　大阪市東住吉区加美福井戸町3ノ58

八保鋳鉄工業株式会社 建材部

電話東住吉㊼907番

カタログ進呈

特許　奥山式 熱工法 冷工法 綜合防水層

カッパー防水帯

C.F #38

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE・MARK

カッパーメッシュ
コーパータイト

耐酸耐油工事
アスファルト工事一般

製造元

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8丁目3　TEL 銀座 ㊼ 2703—4・2370・4064・0264

(NK) 浪建式

スチールサッシユ・ドアー
シヤッター・オペレーター
— 製造販売 —

日満ゴムタイル
全國総代理店
責任施工

大正十四年創業 浪速建材工業株式會社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地 電話城東㉝1171～3番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館607号室 電話東京㊺4611
福岡営業所・福岡市大名町二丁目98 電話西②4948番
出張所・大分市栄町下市三一七番地 電話大分1366番

A.K

アサヒのドアーサッシュ



大阪ビルデイング新館

スチールシヤッター オペレーター
普及型軽量サッシュドアー
軽便シヤッター

設計・製作・取付

旭鋼鈑工業株式会社

本社及工場 大阪市城東区野江西之町1丁目44番地
電話城東㉝3169・5927
営業所 岡山・高松
御一報次第参上、カタログ進呈（広告誌記入乞）

ＪＡＳ規格合格品

九德天井板

浮出式杢柾・印刷杢・塗装式杉柾・桐柾

日本楽器合板
ヤマハボード 関西総代理店
東洋プライウッド特約店

浪速合板 大阪浪速区幸町通3の20
電話大阪㊾2201(代)

吸音多孔合板
ベニヤトーン

日東の繊維板
ヤマハボード

瑞典のハードボード
エロナイト

ポリエステル化粧板
エステライト

高級接着剤
ポリゾール

中川式鉄筋ラス　営業種目　中川式親子ラス

鉄筋ラス　ワイヤラス　金網各種
親子ラス　メタルラス
亀の甲ラス　リブラス　設計者の方にカタログ進呈

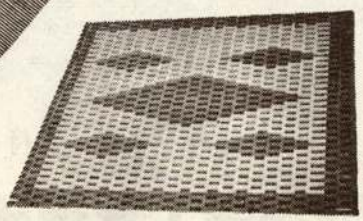
中川ラス製作所

大阪市南区鰻谷仲之町31　（十合百貨店北ノ辻東へ入ル南側）
電話大阪㉗5228－9番

満20才ニナリマシタ



1枚のマットを2枚に使つていたゞける
劃期的なゴムマットをミヅシマが創案発売しました
★両面模様 カラー・ラインマット★
●20周年記念発売品●



裏面ハ反対色又ハ全然異ツタ模様
現物ニ依ツテ是非御高評願マス

姉妹品——ユービ金属マット・ユービゴムマット
ラインゴムマット・ニューラインマット

信用と品質を誇る



OSAKA ミヅシマ KYOTO

大阪店・大阪市西区北堀江上通一丁目　京都店・京都市中京区蛸薬師烏丸西入

MIZUSHIMA CO., LTD.

廣告目次

(50音順)　建築と社会 Vol. 37 No. 8

浅海電気 kk …… 3
旭鋼板工業株式会社…… 5
伊奈製陶 kk ……中狭 1
泉石綿工業 kk ……14
kk 岩住鉄工所 …… 9
岩元工業 kk ……10
kk 栄興商会 …… 2
kk 荏原製作所 ……表紙 4
オリエンタルメタル製造 kk 中狭 4
大阪建材工業 kk ……16
kk 大阪城口研究所 …… 2
大阪耐火ボード kk …… 8
kk 大阪電気暖房商会 …… 2
大島応用化学工業 kk ……11
kk 奥村重兵衛商店 ……54
奥山化工業 kk …… 4
織本特殊構造研究所……13
樫野石灰工業 kk …… 3
kk 川岸窯業 ……12
関西ペイント kk ……表紙 3
関西三星タイル会……15
工藤電気 kk …… 3
kk 久保商店 …… 1
kk ケントク ……16
kk 建材社 …… 2
kk 金剛商会 ……12
kk 工英社 ……表紙 2
斎久工業 kk …… 2
kk 斎藤省三商店 …… 2
三機工業 kk …… 2
kk 三幸商会 ……14
kk 三晃商会 …… 2
彰国社……44
須賀工業 kk …… 2
kk 菅商店 ……36
kk 鈴木シャッタア商会 ……14
セメダイン kk ……前付 2
田島応用化工 kk ……表紙 4
田中工業 kk …… 1
田中風呂製作所……11
田辺工業 kk ……57
田村商会建材部……11
大正鉄筋コンクリート kk ……12
大日本硝子工業 kk ……10
大仏組……12
大和工業 kk ……11
高砂熱学工業 kk …… 3
kk 武智工務所 ……54
kk 立花商会 …… 3
玉置産業 kk ……14
中央電気工業 kk …… 3
朝陽電気 kk …… 3
東邦商会……12
東京鋼板工業 kk …… 8
東洋陶器 kk ……中狭 4
東洋リノリューム kk ……前付 1
ナニワ瓦 kk ……12
内外工業 kk ……14
内外土木建材社…… 9
浪速合板…… 6
浪速建材工業 kk …… 5
中川ラス製作所…… 6
日東石膏 kk …… 9
日本金具製作所……中狭 2
kk 日本シャッター製作所 ……10
日本ドアーチエック製造kk ……中狭 3
日本セメント防水剤製造所…表紙 3
kk 西原衛生工業所 …… 2
kk 野上工業所 …… 3
八保鋳鉄工業 kk …… 4
kk 林塗装店 …… 3
合資会社汎建製作所……13
kk 日立製作所 ……表紙 2
福昌 kk ……11
福屋工業 kk …… 3
藤森工業 kk ……中狭 2
豊国セメント kk ……10
kk 満点商会 …… 9
水谷ペイント kk ……56
kk 三高製作所 ……13
kk 三谷製作所 ……前付 1
三舟窯業大阪営業所……14
三菱セメント kk …… 8
水島商店…… 6
kk 室谷商店 ……12
kk 山本建材社 ……中狭 3
油脂化工社……表紙 3
kk 吉田芳雄商店 ……12
kk 淀川製鋼所 ……前付 2
kk ライト製作所 …… 1

特別広告　(順不同)

日本板硝子 kk ……アート紙10
東海興業 kk 大阪支店……同…11
kk 日本セメント防水剤製造所…同…13
kk 銭高組 ……同…14
浅海電気 kk ……同…15
稲田 kk ……同…15
大阪建材工業 kk ……同…15
田島応用化工 kk ……同…15
kk 栄興商会 ……同…16
竹林塗装 kk ……同…16
阪急園芸 kk ……同…16

◎七月号誤植訂正広告

○栗原工業株式会社　本社電話番号福島1225～1228・1548番は誤植に付，電話大阪㊱1234～1239に訂正いたします。また出張所は，広島の次に八幡が入ります。

○日本セメント株式会社　本社東京都千代田区大手町2丁目6番地は9番地の誤植に付，訂正いたします。包装所は青森の次に下板橋が入ります。

以上，謹んで訂正させていただきます。

T
K K

スチールサッシュ
スチールドアー
スチールシャッター

東京鋼板工業株式会社

大阪支店
大阪市東区十二軒町八番地　電話東㊾ 2674 7303
本社及工場
東京都荒川区尾久町5ノ1.000　電話荒川㊽8131-4

アサヒトーン
（吸音耐火ボード）



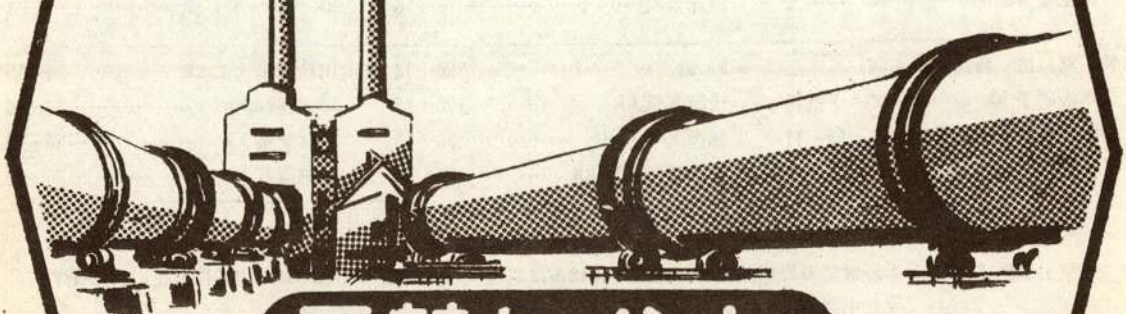
・吸音効果大　・燃えない　・美麗　・低廉

燃えない建築資材
アサヒ印 耐火ボード・石膏ラスボード

大阪耐火ボード株式会社

大阪市北区（堂ビル）電話大阪㉞4033・4034㉟1141　ボード工場　電話豊崎㊲1144

使って安心



三菱セメント

本店　東京都千代田区丸の内1の4（新丸ビル）　工場　八幡市黒崎　電八幡3750～2
電話　千代田㉗1341～9・1441～9　営業所　大阪・名古屋・広島・福岡

日東プラスターボード

吸音ボード
ラスボード

日東プラスター

クリームプラスター
ボード用プラスター
NHプラスター
キーンズセメント

日東石膏株式会社大阪営業所

大阪市南区順慶町四丁目六六番地　電話㉕0094・4848番

優秀機能ヲ誇ル

岩住式 シャッター

ドアー。サッシュ。メタルラス

(JIS 557)

最新ノ機械設備
最高ノ設計ト技術
不撓ノ研究ト改良

株式会社岩住鐵工所

大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地
TEL淀川(47)代表4351・4352・4353・0903・0904

満点の 金物

営業種目

建築金物　装飾金物
現場金物　別作金物

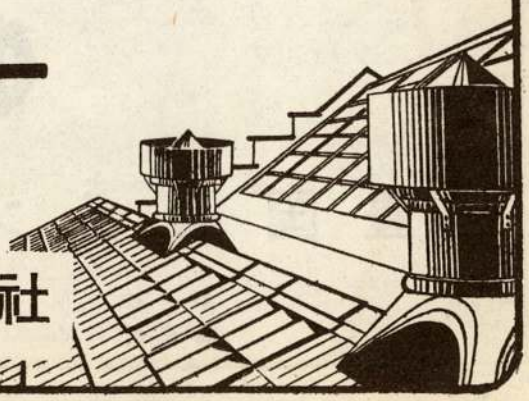
株式会社

満点商会

大阪市南区鰻谷仲之町三十一番地　電話 大阪 ㉗ 6767・6867

内外式スカイライト
内外式ベンチレーター

〔簡型並にコンチニアス〕



営業課目　内外式スカイライト・波型硝子屋根
内外式ベンチレーター・設計施工

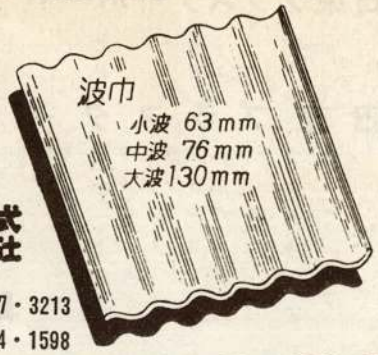
株式会社 内外土木建材社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）
電話土佐掘㊹3983番4396番

光り 波型ガラス

ワイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板
6尺×2尺4寸(波型)



製造元 **大日本硝子工業株式会社**

大阪営業所 大阪市北区玉江町2～4・(三菱倉庫ビル) 電話土佐堀㊹1597・3213
本　　社 東京都中央区銀座7～3 (朝 日 ビ ル) 電話銀 座㊲2324・1598



大阪府営堺宿院店舗付共同住宅

戸締ノ改革

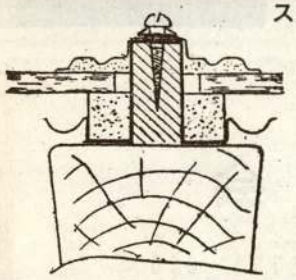
PATENTS No:414855 No:414856 No:35528

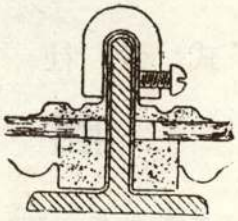
店舗、倉庫、ガレージ等ニ最適デス　開閉ハ
片手ニテ軽ク揚ゲ降シ致シマス　価格ハ至極
低廉デス　御一報係員参上、カタログ進呈

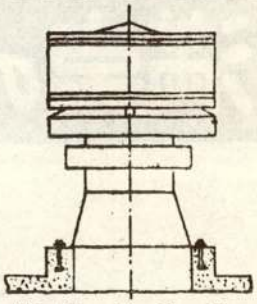
専門製作
株式会社 日本シャッター製作所
大阪市東淀川区田川通6丁目38
電話豊崎㊱439

特許岩元式 **スカイライト・並ニベンチレーター**

スチール サツシユ・ドアー・オペレーター其他修理
設　計
並
施　行
カタログ進呈







岩元工業株式会社

本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話東㊾8870・9350
倉庫 大阪市天王寺区堂ケ芝町5
電話天王寺㊼6980

豊国セメント株式会社

本　社　福　岡　県　苅　田　町
事務所　小　倉・大　阪・東　京

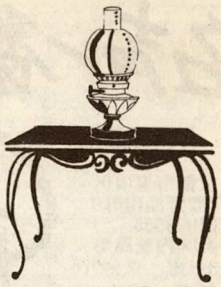


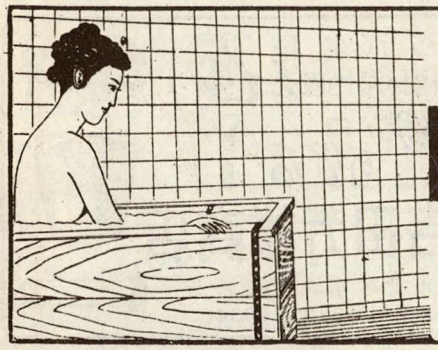
家具と装飾

大和工業株式会社

大阪市城東区野江東3

TEL (33) 4475~7





清

各種鋼鐵風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・ガス風呂

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町一丁目七四二　但シ賑橋電停前

田中風呂発売元

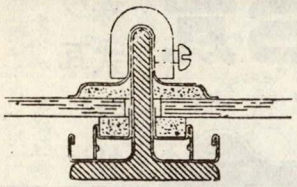
電話　戎 ㊹ 5313・8128

坂本式スカイライト

営業種目

坂本式　スカイライト　坂本式　ベンチレーター
OK式　工場用　サッシュ　一般建築錺工場

坂本式ベンチレーター

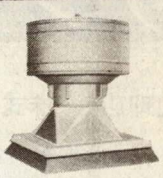


関西総発売元

福昌株式会社

大阪市北区中之島三ノ三（朝日ビル）

電 ㉓ 3934～5
電 ㉟ 7588（作業所）



ヨツメアコスボード

日本楽器製 高級合板

タムテキス
ヤハズラス
フローリング

田村商會 建材部

神戸市生田区栄町通2ノ39（安田火災ビル）

電話 神戸 ③ 0591～3番

エバーブライト

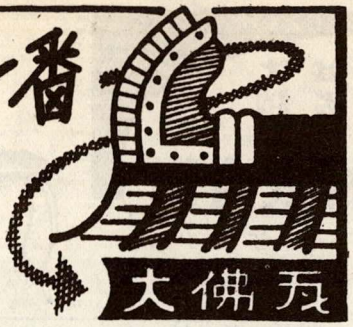
アルミニウム ルーフイング

EVER BRIGHT

大島応用化学工業株式会社

本社・大阪市城東区野江東之町4丁目 電話 城東(33) 4481　支店・新居浜・出張所・広島四日市

名声一番



大仏瓦

大仏組

本店　京都市東山区
今熊野池田町9
電　祇園⑥3555
大阪　東区内淡路町
1の13　電　東㊹975
製造販売・工事一式

木毛セメント板



東邦商会

本　社　大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話天王寺㊼1296
出張所　和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山298番

タイル　衛生陶器

販売と施工
奉仕感謝の店

株式会社　川岸窯業

大阪市西区靱北通一の五（市電京町橋電停前）
電話土佐堀㊹2571番

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売



建築陶器の百貨店

株式会社　吉田芳雄商店

大阪市北区南森町交叉点
電話堀川㉟3402・9034

特許植物性　型枠離剥塗料

サンヒット

関西代理店　株式会社　金剛商會

大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道電車　野里電停前
製造元　東京　坂巻サンヒット商会　電　淀川㊼0417・4091



台風に強い

ナニワS瓦

赤褐・黒・緑・青緑色

真空処理された
優秀瓦

大阪市浪速区元町一丁目七四二
市電賑橋（ナンバ）電停西側

ナニワ瓦株式会社

電話戎（六四）五〇六五番

Acoustic Tex

吸音テックス



株式会社　室谷商店

本　社　神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL三宮③0881～3
支　店　大阪市北区絹笠町五〇　堂ビル5階
TEL大阪㊱2021・3486・1141



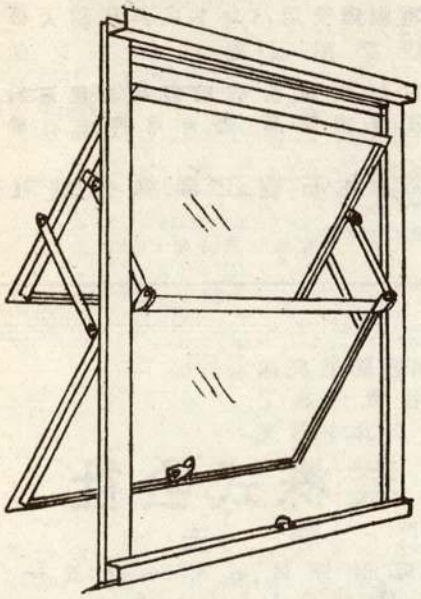
大正鉄筋コンクリート株式会社

大阪市北区絹笠町50（堂ビル4階）
電話大阪㊱0923番1141番

三高式　ドアーハンガー　　スチールサツシュ
三高式　オペレーター　　スチールドアー
三高式　重量戸車　　スチールシヤッター

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社　三高製作所
本社工場　大阪市東区谷町五丁目二八　電話東㊾2969・0444



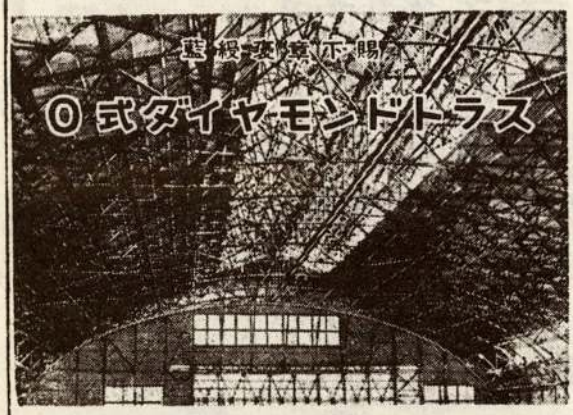
一般製品　スチール　サツシユ
スチール　シヤツター
スチール　ドアー

独特製品　汎建型上下げ窓
双脚の四面が摺り合され自然に気密度が高い。
神高型竪形辷出し窓
両開きや片開きに代る堅牢で耐久な構造。
連動突出し辷出し窓
辷出しと上釣りとが完全に平衡連結され操作軽快、開閉確実、体裁優秀な新型。
遞増減分銅付きシヤツター
大型シヤツターも軽くはやく開閉出来る。

新規製品　普及型上吊り引違い窓
質実堅牢で最も廉価・校舎宿舎などに最適

合資会社　汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町十一番地　電話　此花㊻2903・4461

鉄材が少くてすみ施工簡易な格納庫・工場・体育館の建築には
"ORIMOTO" DIAMOND TRUSS

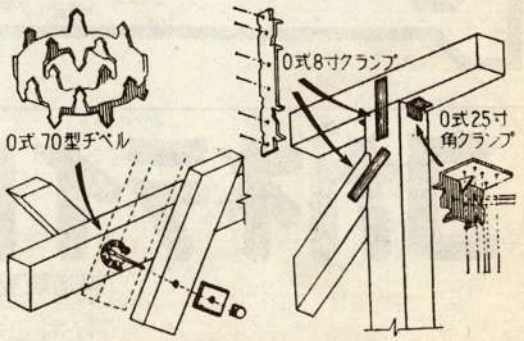


設計の御依頼に応じます（施工は御自由です）
カタログ及び設計参考資料贈呈

考案　織本建築設計計算事務所

官公庁御採用　耐震耐風木材接合金具
住宅、工場、学校、集会場、体育館にまた2階梁に

PAT O式ヂベル
PAT O式クランプ



販売　織本特殊構造研究所
東京都中央区日本橋蠣殻町3～2（水天宮交叉点角）TPL（67）6443・7007・7062

陶管・ベンチレーター

株式会社 三幸商会

大阪市北区曽根崎上一ノ四一

電話 大阪 ㉞ 3145

ヒューム管

鈴木式防火シヤタア

鈴木シヤタア工業株式会社大阪出張所

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町三十三番地

電話 豊崎 ㊲ 98・5837・8729

石綿質

ウォール　建物内外壁、天井、扉、ブラインド等

防音板　吸音

ミルボード　保温、耐熱、耐火、パッキング

特製煙突用バンド金具及防火板
煙突用石綿パッキング

石綿原料及石綿製品岩綿原料及岩綿製品、瀝青用再生石綿

製造販売 泉石綿工業株式会社

呈カタログ　大阪市天王寺区上綿屋町一八
電話 天王寺 ㉗ 8612

N.G.C式

セルコンインシュライト断熱材関西総販売店
メタリヤンミツシユD.M38番責任施工
米国パブココンパウンドアスファルト販売

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルトモルタル工事

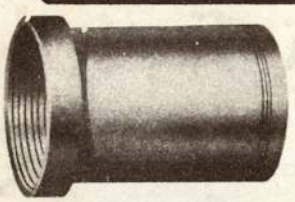
内外工業株式会社

脇山静夫

大阪市阿倍野区旭町一ノ五一

電話 ㊹ 3434～6

特許アサヒ印陶器製ベンチレーター　一手販売特約店・特許三和かまど　大阪　和歌山一手販売特約店



陶管・大正便所・衛生陶器・ヒューム管

金剛パイプ・ルーフドレン・マンホール・流司・洗濯槽

三舟窯業大阪営業所

大阪市阿倍野区北畠東一丁目三二　電話天下茶屋㊻9321～2番

コガネライト

蛭石焼成品

断熱・耐火・軽量・防音・美麗

製造販売 玉置産業株式会社

本社　大阪市南区心斎橋筋南詰東入 電話㉗5675・5676・5677番
神戸支店　神戸市東灘区御影町上東847の3　電話御影㊽3016番
工場　大阪市大正区三軒家浜通2丁目36 電話泉尾㊺1719番

Color Conditioning for Flooring

三星アスファルトタイル

責任施行代理店（順不同）

近畿

三友工業株式会社
大阪営業所
大阪市東成区大今里町655 大阪セルロイド会館内
電話 ㉕ 8031～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20
（道頓堀電停前）
電話 ㉕ 471～2

利倉幸商店
京都営業所
京都市中京区河原町夷川下ル指物町3373
電話 ③ 3299

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話土佐堀 ㊹ 5408・5486

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5
電話大阪㊹207～8・4836（代表）

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話壬生 ㊹4468

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話湊川 ⑤2697・1372

中国・九州

青盛建材株式会社
広島市鉄砲町108
電話中 ② 2281～3

青盛建材岡山営業所
岡山市東田町3
電話 7911・8169

青盛建材福岡営業所
福岡市万行寺前町14
電話東 ③1225～6

東海

株式会社 名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話中㉔1329・2106・2817

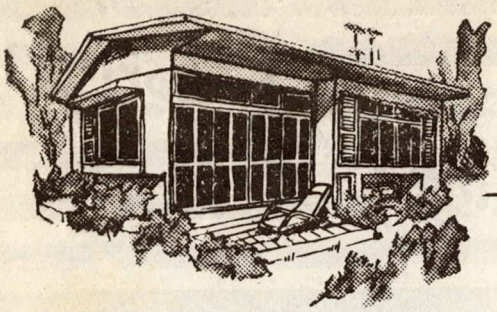
合資会社 岡田建材店
名古屋市西区菊井町2ノ12
電話西 ㊸ 0121

専属・職人養成並指導

和泉産業
加藤・小谷
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話戎 ㊹ 3286

カタログ・見本御申込次第お送り致します

関西三星タイル会



家を建てたら・・
ツヤ出しケントク

——板の間・廊下に——→

新築に
水拭きではすぐに黒ずみニス・ラッカは白木の味をなくし、はげると見苦しくなりますが、すべらぬ白木艶出ケントクを月に一～二回ぬりこめば毎日はカラ拭きで新築そのまゝの美しさを保ちます。



板の間廊下のすべらぬ白木ツヤ出し

ケントク

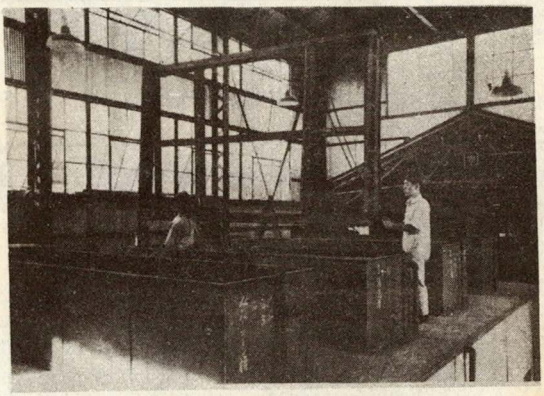


白木液体ケントク一升罐四九〇円で約十五坪、丸罐半ボンド二九〇円で約五坪みがけます

大阪市北区桜橋産経ビル前　KKケントク　㉞ 1536・3507

サッシュ

ドアー
シャッター
オペレーター



当社パーカーライジング工場の一部

大阪建材工業株式會社

営業所　大阪市南区九郎右衛門町二一　電話南（75）507・3137・3138
堺工場　堺市松屋町一丁六番地　電話堺(102) 1586・4800・4801
泉尾工場　大阪市大正区泉尾浜通り四ノ六一番地　電話泉尾（55）223
出張所　名古屋・金沢

紫綬褒章に輝く

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

新日本メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍太郎

本　　社　東京都品川区二葉町1—441　電話住原㉘1715

大阪営業所　大阪市城東区中本町529　電話　東　㊹4765

Zola-Coat

米国特許 No.2591904

日本特許（申請） No.3734—52



新しい塗料から生まれる新しい環境

コンクリート・モルタル・プラスター・木材・金属・紙・繊維・皮革・その他あらゆる材料に深さと魅力を与える高分子多彩塗料

ゾラコート

関西ペイント

カタログ御希望の方は大阪市東区代見町5丁目　当社宣伝課へ

日本建築協会優良證明

セメント 増強防水剤

ウォータイトB号

優証第四十五号

優　良　証　明　書

品　　名　セメント防水剤　ウオータイトB号

製品会社名　株式会社　日本セメント防水剤製造所

昭和31年5月18日提出された資料につき本会建材審査委員会に於て審査の結果別記特徴により優良と認める。

本証明書の有効期間は1ケ年間とする。

昭和31年6月20日

社団法人　日本建築協会

会長　竹腰健造　㊞

日本建築協会　建材審査委員会

委員長　置塩章　㊞

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

JIS合格品

御一報次第型録並仕様書進呈

ウオータイト式防水工事代行店

高山工業株式会社

東京都千代田区神田小川町1—8

電話 東京神田㉙0161～3

安藤工事有限会社

福岡市大浜一丁目新町94

電話 福岡（東）㉙5765

御一報次第型録並仕様書進呈

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28—1　電話 宝塚 2153

工　　場　尼崎市難波本町1—34　電話大阪㊽1526

東京出張所　東京都港区芝金杉浜町18　電話三田㊺4637

名古屋出張所　名古屋市中区春日町19（安藤ビル）　電話 南 ㉜1331

仙台出張所　仙台市北五番町8　電話 ③ 0721

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十一年八月二十日印刷
昭和三十一年八月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

売価一部金百円（送料共）

エハラ・ターボ冷凍機
ねのくちポンプ



株式會社
荏原製作所

三星印
ビニリウム

新材・キレイで丈夫・安価な床敷材・出現！



プラスチックス層と石綿アスファルトフエルト層の二層を特殊接着剤で圧着した長尺物の簡易材。
安価で**腐蝕**や**伸縮**が少ない。**簡易**に貼れる。**美しい色彩**で**明るい**。**掃除**が楽で、**耐摩耗**、**耐燃性**である

三星印ルーフィング・アスファルトタイルの
田島應用化工 K.K.

東京・足立区小台町633
TEL 王子㈹代表5171
大阪・西区京町堀上通1 14
TEL 土佐堀㈹代表0810